# はじめに

このたびは東芝Pocket PCをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。

・本書の「安全上のご注意」には、安全確保に必要な重要事項が記載されていますので、必ずお読みください。
・お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。
・オプション（別売部品）をご使用される場合は、その取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。

## ■著作権

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

## ■商標

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。
Intel、Pentium、i486 はアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。Microsoft 、Windows、Windowsロゴ、Officeロゴ、ActiveSync、MSN 、Outlook 、Windows Media、Hotmail、Power Pointは、米国Microsoft Corporationの米国及び他の国における商標または登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。ATI、ImageonはATI Technologies Inc.の登録商標です。IA Album、 IA Presenter、IA Screen Mirror、Information In ActionはIA Style, Inc.社の商標または登録商標です。Adobe、Adobe Acrobat はAdobe Systems Incorporated （アドビシステムズ社)の商標です。JRトラベルナビゲータは株式会社JR東日本企画の日本国における登録商標です。ナビゲーターは日本ビクター株式会社の登録商標です。T-Time ならびにbookドットブックは株式会社ボイジャーの登録商標です。辞スパは、株式会社学習研究社の商標です。コンパクトフラッシュはサンディスク社の商標です。Ethernet は富士ゼロックス社の商標です。Macromedia、Flashは、Macromedia,Inc.の商標または、登録商標です。XGAは、米国IBM Corpの登録商標です。SDロゴは商標です。Bluetoothはその商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。

# はじめに

## ■電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## ■輸出規制

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社窓口にお問い合わせください。
なお、この装置に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。

## ■用途制限について

● 本製品は人の生命に直接関わる装置等(*1)を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではありませんので、それらの用途に使用しないでください。
● 本製品を、人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響をおよぼす装置等を含むシステム(*2)に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮(*3)が必要ですので、当社窓口にご相談してください。配慮せずに据え付けをすると重大な事故を起こす原因となります。
  *1 人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものをさします。
  ・生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
  ・有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
  ・消防法、建築基準法などの各種法令を遵守して設置しなければならない装置など
  *2 人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響をおよぼす装置等を含むシステムとは、以下のものをさします。
  ・原子力発電所の主制御システム、
  ・原子力施設の安全保護系システム
  ・その他安全上重要な系統およびシステム
  *3 特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フール・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することをさします。

## ■お知らせ

・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一不可解な点や記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、当社へご連絡ください。
・本書に乱丁、落丁があればお取り替えいたします。
・本書に掲載している画面は表示例であり、お使いの使用環境により異なる画面となることがあります。

# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、お買い求めいただいた製品を安全にお使いいただくために、重要な事項を記載しています。
- 次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 表示の説明

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | “ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと ” を示します。 |
| ⚠警告 | “ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること ” を示します。 |
| ⚠注意 | “ 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること ” を示します。 |

## 図記号の説明

| | |
|---|---|
| 禁止 | ⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。<br>具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |
| 指示 | ●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。<br>具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |
| 注意 | △は、注意を示します。<br>具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |

＊１：重傷は失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

## 免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる他の損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、逸失利益、事業の中断、通信機会の消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 記憶装置（内部メモリ、メモリカードなど）に記憶された内容は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねます。記憶内容の消失に伴う損害を最小限にするために、定期的にバックアップをお取りください。

## 本体の取扱いについて

### ⚠警告

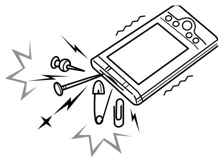
**禁止**

**自動車などを運転中、および歩行中に使用しない**
交通事故や、けがの原因になります。

---

**禁止**

**ステープルやクリップなどの金属類を内部に入れない**
**端子（金属部分）を金属で接続しない**
発熱、発火する原因になります。



---

**指示**

**異常な臭いがしたり、異常音がしたり、発煙したときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、バッテリスイッチを停止側にする**
そのまま使用すると、火災の原因になります。お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。

---

**禁止**

**つぎの場所では使用、保管しない**
・浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所
・雨、霧などが直接入り込むような場所
・火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
・直射日光が当たる場所
・炎天下の閉めきった車内
バッテリパックが液もれ、発火、破裂する原因となります。

---

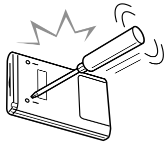
**禁止**

**落としたり、強い衝撃を与えたりしない**
バッテリパックが液もれ、発火、破裂する原因になります。

---

**分解禁止**

**分解・改造・修理をしない**
けがの原因になります。
修理は、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。



本体の取扱いについて（つづき）

# ⚠注意

禁 止

**イヤホン（市販品）を接続してご使用になるときは、音量を上げすぎない**

聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

接触禁止

**画面が破損し、液晶（液体）がもれたときは、液晶にふれない**

皮膚がかぶれるおそれがあります。もし、皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。



禁 止

**幼児の手の届く場所には置かない**

スタイラスなど、先のとがったもので、思わぬけがなどの原因になります。



禁 止

**近くにコップ、花びんなど、液体の入った容器を置かない**

液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データが消えるなどの原因になります。万一本体内部に入った場合は、電源プラグを抜き、バッテリパックも本体から抜き、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。

禁 止

**ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かない**

落ちたり、たおれたりしてけがの原因になります。

指 示

**本製品を持ち運ぶ場合は、ＡＣアダプタを取りはずす**

ＡＣアダプタを取り付けたまま持ち運ぶと、コネクタ部分に無理な力が加わり、発火、故障の原因になります。

指 示

**かばんなどのケースに入れて本体を持ち運ぶ場合は、電源スイッチをOFFにする**

放熱不良による温度上昇で、本体の故障、損傷やかばんなどのケース損傷の原因になります。

指 示

**皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、専門医へ相談する**

製品に使用している材料、表面処理により、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

## バッテリパックの取扱いについて

### ⚠危険

禁止

**製品付属のバッテリパックは、本製品以外で使わない**
バッテリパックの性能や寿命が低下したり、発熱、破裂、発火する原因になります。

指示

**バッテリパックの充電は、製品付属のＡＣアダプタ、クレードルを使用する**
バッテリパックが発熱、破裂、発火する原因になります。
（参照 8ページ）

分解禁止

**分解したり、改造しない**
バッテリパックには、安全装置や保護装置が組み込まれています。これらを損なうとバッテリパックが発熱、破裂、発火する原因になります。

指示

**バッテリパックを使用時、次のことを守る**
・水や海水などにつけたり、ぬらさない
・火のそばなどの高温の場所で使用したり、放置しない
・火の中に投入したり、加熱しない
・（＋）（－）を逆にして使用しない
・（＋）（－）を針金などの金属で接続しない。また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない
・強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
・釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない
・直接ハンダ付けしない
・乾電池などの一次電池や、容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わない
バッテリパックが発熱、破裂、発火する原因になります。

禁止

**火のそばや、炎天下などでの充電はしない**
バッテリパックが発熱、破裂、発火する原因になります。

### ⚠警告

指示

**バッテリパックから漏れた液が目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受ける**
目に傷害が起きる原因になります。

バッテリパックの取扱いについて（つづき）

## ⚠警告

指示

**バッテリパックから漏液したり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざける**
漏液した溶解液に引火し、発火、破裂の原因になります。

指示

**バッテリパックの使用中、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**
**また、安全を確認してからバッテリパックを本体からはずす**
漏液、発熱、破裂、発火の原因になります。

## ⚠注意

指示

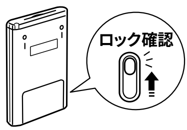
**バッテリパック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流す**
皮膚に傷害を起こす原因になります。

禁止

**所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電しない**
漏液、発熱、破裂、発火の原因になります。

指示

**バッテリパックを本体に取り付けるときは、しっかりと取り付けられているかどうか確認する**
正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリパックがはずれ落ちて、けがの原因になります。




禁止

**一般のゴミと一緒に捨てない**
発火、環境破壊の原因になることがあります。
不要となったバッテリパックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからリサイクル協力店にお持ちいただくか、回収を行なっている市町村の指示に従ってください。

## ACアダプタ・電源コード・クレードルの取扱いについて

### ⚠警告

指示

**付属のACアダプタ、電源コード、クレードルを使用する**

付属以外のものを使用すると、発煙・発火の原因になります。

指示

**電源プラグは、家庭用交流100Vコンセントに接続する**

それ以外のコンセントに接続すると、火災、故障の原因になります。

ぬれ手禁止

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電の原因になります。

指示

**電源プラグの差刃や差刃付近にほこりがついているときは、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などでほこりをとる**

電源プラグにほこりがたまると絶縁低下により、火災の原因になります。

指示

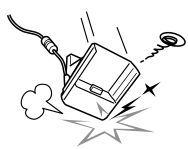
**電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む**

確実に差し込んでいないと、火災、感電の原因になります。

禁止

**落としたり、強い衝撃を与えたりしない**

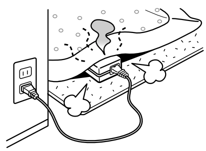
破損し、発火、感電の原因になります。



禁止

**ACアダプタにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かない**

内部の温度が上がり、火災、故障の原因になります。



禁止

**ACアダプタの近くに、コップなどの液体の入った容器を置かない**

液体がこぼれて内部に入ると、発火、感電の原因になります。

## ACアダプタ・電源コード・クレードルの取扱いについて（つづき）

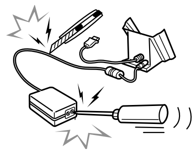
## ⚠警告

水ぬれ
禁　止

**浴室など、水がかかる場所で使用しない**
ぬれると発火、感電の原因になります。

分解禁止

**分解・改造・修理をしない**
火災、感電、けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店へご依頼ください。



## ⚠注意

プラグ
を抜く

**電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く**
コードを引っ張って抜くと、コードが破損し、発火、感電の原因になります。

指　示

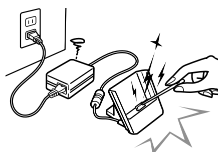
**電源コードを取り扱うときは、次の内容を守る**
・傷つけない　・加工しない　・ねじらない・無理に曲げない
・引っ張らない・物を載せない
・加熱しない　・熱器具に近づけない
守らないと、火災・感電の原因になります。もし、電源コードが破損したときは、お買い上げの販売店にご相談の上、新しい電源コードを購入してください。

禁　止

**コンセントや配線器具の定格をこえる使い方をしない**
タコ足配線などで定格をこえると、火災、感電の原因になります。

禁　止

**端子（金属部分）を針金などの金属類で接続しない**
発熱し、やけどの原因になります。



禁　止

**幼児の手の届く場所には置かない**
けがなどの原因になります。

## 無線通信について

### ⚠警告

指示

**植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されているかたが、付近にいる可能性がある場所では本製品の電源スイッチをOFFにする**

電波によりペースメーカおよび除細動器の動作に影響を与える原因になります。

指示

**植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器装着部から本製品を22cm以上離す**

電波によりペースメーカおよび除細動器の動作に影響を与える原因になります。

指示

**病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは本製品の電源スイッチをOFFにする、また、医療用電気機器を近づけない**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。

指示

**自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは本製品の電源スイッチをOFFにする**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。

指示

**航空機内および周辺に電波障害などが発生する場所では、本製品の電源スイッチをOFFにする**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。

指示

**本製品使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は本製品の電源スイッチをOFFにする**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。

指示

**自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があるため、自動車内で使用する際は、十分な対電磁波保護がされているか自動車販売店へ確認する**

安全走行を損なう原因になります。

# お願い

## 使用場所

**■ 次の周囲環境条件の場所でご使用ください。**

温度が０℃～４０℃、周囲湿度が３０～８０％ＲＨ

**■次の場所では使用、保管しないでください。**

- 極端な高温、低温の場所
- ほこりの多い場所
- 振動の強い場所
- 電気的ノイズが発生しやすい場所
- 磁石・スピーカなど磁気を発するものの近く
- 腐食性の薬品のそば

故障、誤動作、記憶データの消失の原因になります。

**■本体とパソコンなどの外部機器を接続して作業する場合は、静電気が発生しやすい環境で行わないでください。乾燥した季節やカーペットの上などでは静電気を帯びやすくなっていますので、手近にある金属製のものに軽く指を触れて、静電気を逃がしてからご使用ください。**

**■急激な温度変化を与えないでください。**

- 結露が生じ、故障、誤動作、記憶データが消える原因になります。
- 結露が生じたときは、自然乾燥させてからご使用ください。

**■ 雷が鳴っているときは、使用したり、充電しないでください。**

故障、誤動作、記憶データが消える原因になります。

## 使用・保管中

**■ＡＣアダプタは、温度の影響を受けやすいものの上に置いて使用しないでください。**

あとがつくことがあります。

**■通電中、ＡＣアダプタの表面温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。**

持ち運ぶときは、電源コードを抜き、温度が下がってから行ってください。

**■ご使用にならないときやお手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

**■ズボンのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。**

破損、故障の原因になります。

**■上に物を乗せたり、物を落としたりしないでください。**

荷物の詰まったカバンなどに入れるときは、重い物の下にならないようにしてください。
破損、故障の原因になります。

**■本体に接続しているカードに強い衝撃を与えないでください。破損、故障の原因となります。**

**■本体にカードを接続したまま持ち運びしないでください。落下によりカードが本体からはずれ、紛失するおそれがあります。**

**■メモリカードへ書き込み・読み出し中は、電源ボタンをOFFにしたり、メモリカードを取り出したりしないでください。**

メモリカードや記憶データが、破壊されるおそれがあります。

## お手入れ

**■端子（金属部分）をときどき乾いた綿棒などで清掃してください。**

汚れていると接触不良・充電不良の原因になります。

**■お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。**

色や形が変わる原因になります。
汚れはやわらかい乾いた布でふいてください。

**■ぬれた布で画面をふかないでください。ぬれた手で触れないでください。**

故障、誤動作の原因になります。
画面の汚れはやわらかい乾いた布でふいてください。

## オプション（別売品）

**■東芝純正品以外の周辺機器やアプリケーションソフトを使用する場合は、本製品で使用可能かどうかを、取り扱い元に確認してください。**

東芝純正品以外の周辺機器やアプリケーションソフトが原因で発生した損害については、当社では責任を負いません。あらかじめご承知おきください。

## 記憶データの保存

**■重要な本体内の記憶データは、定期的にメモを取ったり、メモリカードやパソコンに保存して、控えを取っておくことをお勧めします。**

次のようなときに記憶データが消える原因になります。

- バッテリスイッチを停止側にしたとき
- 電源が入ったままバッテリを交換したとき
- バッテリの充電量がなくなった（放電しきった）とき
- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障したり、修理に出したとき

**お願い**

## バッテリパック

**■バッテリパックは、本体を使用しなくても少しずつ自然放電しています。本体を長時間放置しておいた場合、バッテリパックが放電しきる場合があります。たえずバッテリパックの充電量をチェックして、充電を行ってください。**

**■本体のバッテリパックは、リチウムイオン充電池を使用しています。**

**■充電機能が著しく低下した場合や、バッテリのなくなったことによる警告メッセージが表示された場合は使い続けないでください。**

そのまま使い続けると、本体内の記憶データがこわされるおそれがあります。手順に従いバッテリパックの交換をしてください。

## 電波（無線LANモデルのみ）

**■次の場所では使用しないでください。**

電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生する場所
環境により、電波が届かない場合があります。

**■本製品には、小電力データ通信システムが内蔵されており、その使用周波数帯は、2,400MHz～2,483.5MHzです。この周波数帯は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置（移動体識別用の構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz～2,470.75MHzと重複しています。**

**■同じ周波数帯のBluetoothとは干渉することがあります。そのときは干渉しない距離まで離れるか、どちらかを切断してください。**

**■電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信容量が異なります。**

**■無線区間では故意に第三者によりデータ傍受がされることがあります。留意してご利用ください。**

**■本製品の使用周波数帯（2.4GHz帯）では、電子レンジ等の産業･科学･医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。**

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、電波の発射を停止した上で、当社窓口へご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社窓口へご相談ください。

**■本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術基準適合証明を受けています。**

本製品の分解・改造や、裏面の証明ラベルをはがすと、法律により罰せられることがあります。

## 使用環境と姿勢

### ■照明について

- 日光や照明が画面に反射しないように保持してください。
- 薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。
- 明るい照明や日光が直接眼に入るような場所での使用はさけてください。
- なるべく、柔らかい間接照明などを使用してください。
- 書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が画面や眼に直接反射しない位置に置いてください。

### ■健康のために

- 長時間画面を見続けないようにしてください。
- 15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。

## 廃棄について

### ■バッテリパックについて

不要になったバッテリパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のため電極に絶縁テープを貼ってください。

バッテリパックの回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

社団法人電池工業会

TEL:03-3434-0261　　ホームページhttp://www.baj.or.jp

### ■Pocket PC本体について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合せください。

(本製品の、プリント基板の製造で使用するはんだには鉛が含まれています。)

### ●企業でPocket PCをご使用のお客様へ

本製品を破棄するときは、産業廃棄物として扱われます。

東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有償で実施しています。使用済みになった東芝製品については、東芝の回収・処理システムをご利用いただきますようお願いいたします。

**【お問い合わせ先】東芝パソコンリサイクルセンター**
**〒230-0034神奈川県鶴見区寛政町20-1株式会社テルム内**
**電話番号045-510-0255**
**受付時間:9:00〜17:00(土・日・祝日、当社指定の休日を除く)**
**FAX:045-506-7983(受付時間:24時間)**

# もくじ

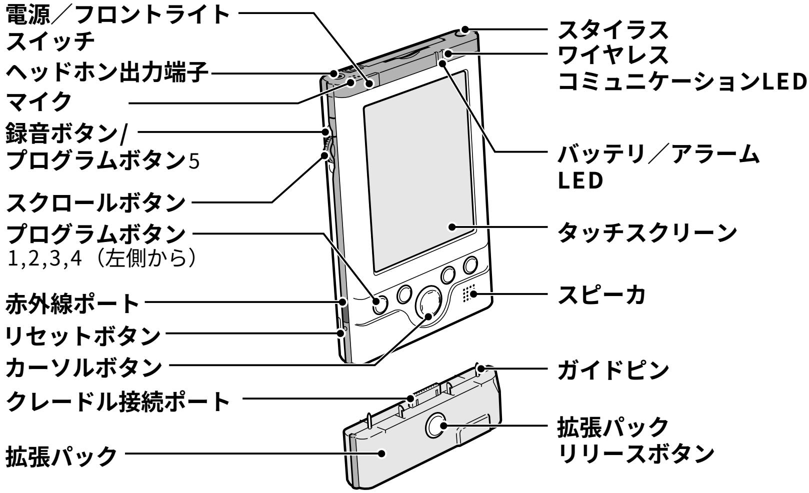
# もくじ

# 第1章
# ご利用いただく前に

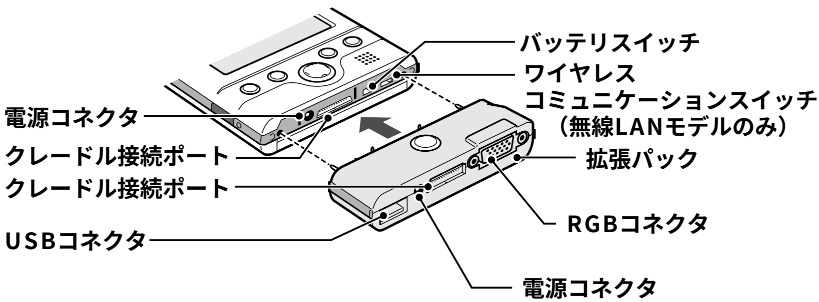
# 1. 各部のなまえと機能

## 本体・拡張パック

### ■前面・左側面

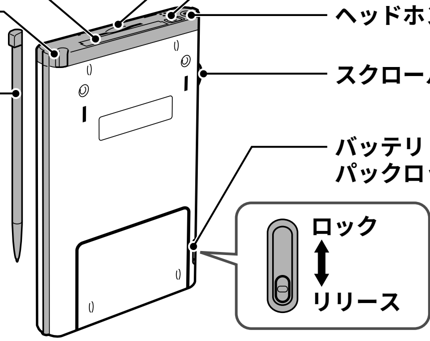



### ■底面



## 本体・拡張パック

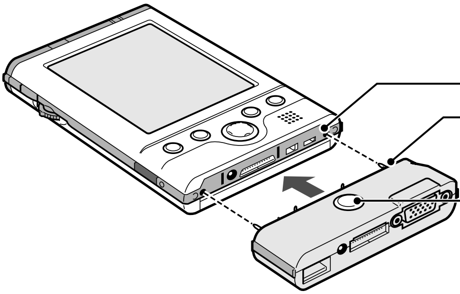
**■背面**




### 本体と拡張パックの接続のしかた

**1** **ガイドピンをPocket PC側のガイドピンホールに差し込む。**

**2** **カチッと音のするまで押し込む。**

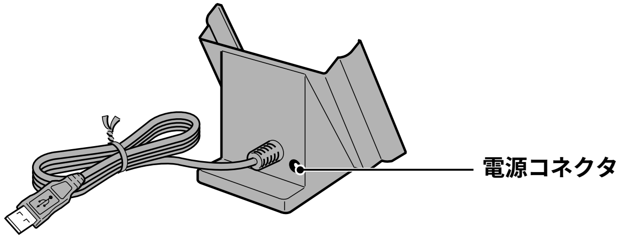



はずすときは拡張パックの中央の拡張パックリリースボタンを押し、はずしてください。

各部のなまえと機能（つづき）

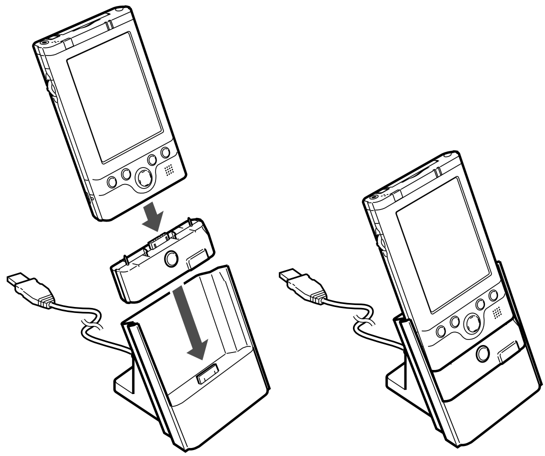
# クレードル

## クレードル

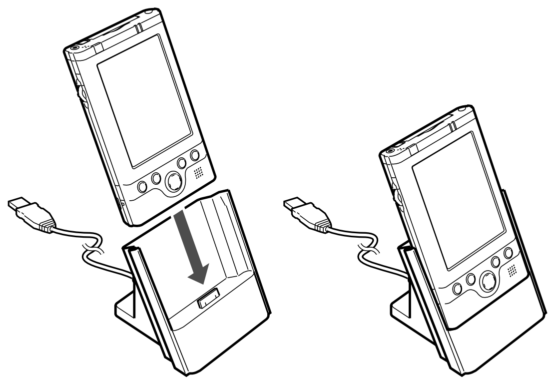



### ■本体とクレードルの接続のしかた

拡張パックありの場合



拡張パックなしの場合



奥までしっかり差し込んでください。

## 電源/フロントライトスイッチ

電源のON/OFFとフロントライトのON/OFFを行います。

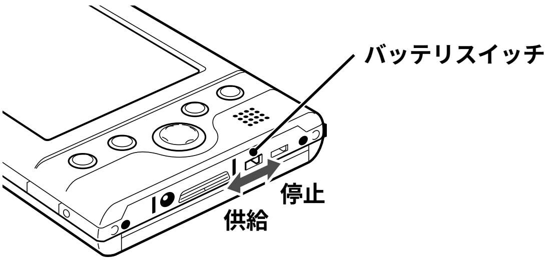
| 電源/フロントライトスイッチ | 電源OFFのとき | 電源ONのとき |
|---|---|---|
| 長く押す | 電源がONする | フロントライトがON/OFFする |
| 短く押す | 電源がONする | 電源がOFFする |

## バッテリスイッチ

バッテリパックからの電源を供給／停止します。
バッテリスイッチは、工場出荷時は「停止側」になっています。お買い上げ後、初めてお使いになるとき、スタイラスのペン先などで「供給側」に移動してください。通常は「供給側」にしておきます。

**ご注意**

● バッテリスイッチを「停止側」にしますと、保存したデータが消失します。




## バッテリ/アラームLED

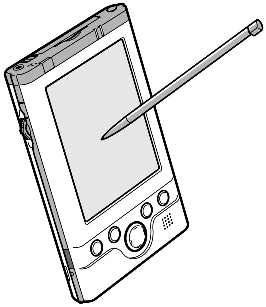
本体の状態をお知らせします。

● オレンジ色の点滅 ............. 「予定表」や「仕事」で設定したアラーム時刻になると点滅します。
● オレンジ色の点灯 ............. バッテリパックの充電中です。
● 黄色の点滅......................... 周囲温度が低すぎる、または高すぎるため、バッテリパックの充電を一時停止しました。周囲温度が約5～35℃の環境で充電を行ってください。
● 緑色の点灯......................... バッテリパックの充電が完了しました。

各部のなまえと機能（つづき）

## スタイラスの使いかた

スタイラスは本体のタッチスクリーン上で、メニューの選択やデータを入力するときに使用します。



**スタイラスは次のような使いかたをします。**

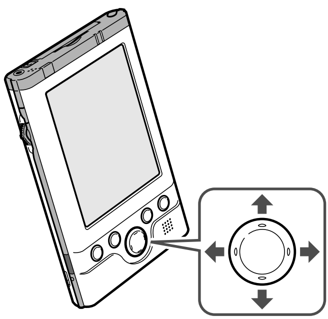
- **タップ**：タッチスクリーンを軽く１回タッチする操作です。画面上のメニュー、アイコン、ボタンなどを選択するときに使います。
- **タップアンドホールド**：タッチスクリーンをタップして押し続ける操作です。画面上のアイコンや項目を「タップアンドホールド」すると赤の円マークが表示されポップアップメニューが表示されます。
- **ドラッグ**：タッチスクリーン上をスタイラスを使って引きずる（ドラッグ）操作です。画面上のアイコンなどの移動や手書き入力、描画するときにこの操作をします。

**ご注意**

- 本体のタッチスクリーンの操作には付属のスタイラスをご使用ください。
- スタイラスの先が破損した場合はご使用にならないでください。先が破損したスタイラスやボールペンの先でタッチスクリーンの操作をするとタッチスクリーンを傷つけることがあります。
- スタイラスは消耗品です。破損したら新しいスタイラスをお買い求めください。

## カーソルボタンについて

カーソルボタンの各上、下、左、右部を押すことによって、画面上のカーソル（選択表示）を移動できます。
カーソルボタンの中央を押すことによって、選択したプログラムなどを起動できます。

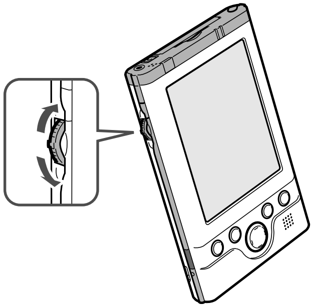


**ご注意**

- 画面によって、カーソルの移動のしかたは変わります。左、右部では、カーソルが移動しない場合があります。

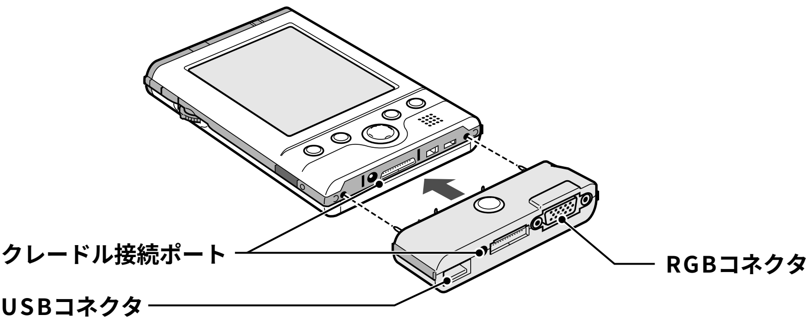
## スクロールボタン

スクロールボタンを上方または下方に回すことによって、画面を上下にスクロールすることができます。



## 拡張パックの機能

- RGBコネクタは15Pinの標準RGBコネクタで外部RGBディスプレイを接続することができます。
- USBコネクタはUSB接続の外部キーボードを接続することができます。
- クレードル接続ポートは、拡張パックをPocket PC本体に取りつけたまま、クレードルへ接続できます。



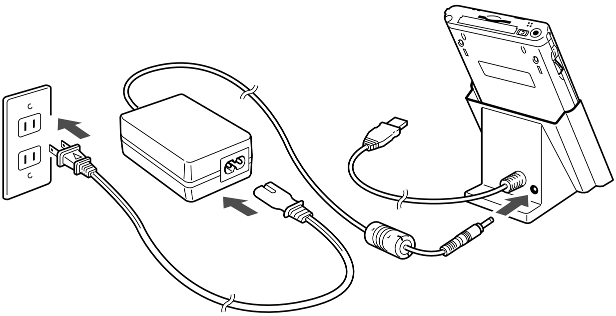
# 2. バッテリパックの充電

初めて使うときは、バッテリスイッチを「供給」にしてから（参照 5ページ）充電を行ってください。

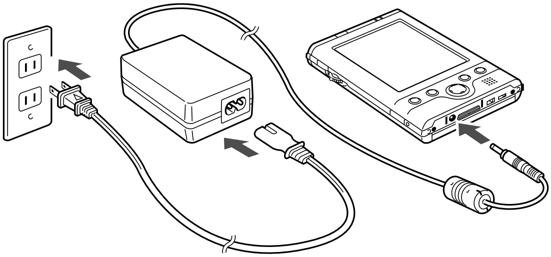
## 充電のしかた

接続には二つの方法があります。

### 付属のACアダプタとクレードルを接続し、本体をクレードルに差し込む。



### 付属のACアダプタと本体を図のように接続する。



**お知らせ**

- 充電は、周辺温度が約5～35℃の環境で行ってください。周辺温度が低すぎても、高すぎても充電を一時停止します。動作状況によっては、35℃以下でも充電を停止することがあります。バッテリ/アラームLEDの黄色の点滅は、充電の一時停止を示します。
- 充電中は、バッテリ/アラームLEDがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、バッテリ/アラームLEDが緑色に点灯します。
- 本体電源がOFFの状態で充電を行った場合、フル充電に約4時間かかります。充電時間は周辺温度などによって変わります。

## バッテリパックの使用時間を長持ちさせるには

- ACアダプタを接続して本体を使用してください。
  特に次のような動作をするときは電力の消費が大きいので、ACアダプタを使用してください。
  - ・本体とパソコンを接続して動作するとき。
  - ・本体にメモリカードや、その他のオプション機器を接続して動作するとき。
- 本体の操作を行わないと自動的に電源がOFFするまでの時間を短く設定する。（参照 51ページ）
- 画面の明るさの設定を省電力にする。また消灯するまでの時間を短くする。（参照 50ページ）
- 周辺温度が15～25℃の環境でお使いください。バッテリパックの性能が最も発揮できる温度です。
  - ・高温・低温の場所では、バッテリパックの充電容量が低下して使用できる時間が短くなります。

## バッテリパックの寿命

バッテリパックには寿命があります。充電・放電を繰り返すうちに使用できる時間は徐々に短くなります。極端に使用時間が短くなってきたら交換時期です。なおバッテリパックの寿命は使用状態などによっても変わります。

- 本体を、炎天下の閉め切った車の中や冬の屋外など、高温・低温の場所に放置しないでください。バッテリパックの寿命が短くなります。

**お知らせ**

- Pocket PCを数日間使用しなかった場合、バッテリ充電レベル表示が正しく表示されなくなることがあります。ご使用前に2～3時間充電をおこなってください。

## 充電残量と記憶データの保護

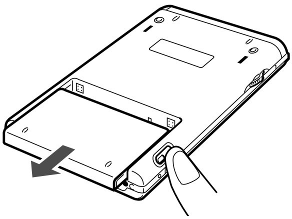
バッテリの充電量がなくなる（放電しきる）と本体内の記憶データが消えてしまいます。
バッテリの充電量が残り少なくなったことを示す、警告メッセージやステータスアイコン（参照 21ページ）が表示されたら、ただちにACアダプタを接続して充電を行ってください。

- バッテリは、本体を使用しなくても少しずつ自然放電していきます。本体を長時間放置しておいた場合、バッテリが放電しきることがあります。
- 本体内の記憶データは、定期的にメモリカードやパソコンに保存しておいてください。（参照 37ページ、65ページ）
- バッテリが放電しきったことによって、記憶データが変化・消失しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

## バッテリパックの交換

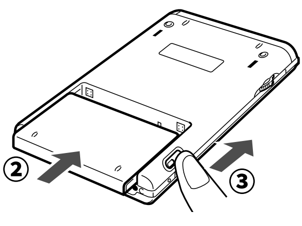
**1** **ACアダプタをはずし、電源スイッチで電源をOFFにする。（参照 5ページ）**

**2** **バッテリパックロックを指先で下へ押してロックをはずし、バッテリパックをはずす。**



**3** **新しいバッテリパックをガイドに合わせて挿入し、奥までしっかり押し込む。**

**4** **バッテリパックロックを指先で上へ押してロックする。**



ご注意

- バッテリパック（または大容量パック）はすばやく交換し、バッテリパックロックをロックしてください。本体内にメモリ保持用に充電可能なバックアップバッテリを持っていますが、容量が小さいためにメモリ保持時間に限りがあります。
- バッテリパックロックがロックされていないと、本体の電源がONできません。

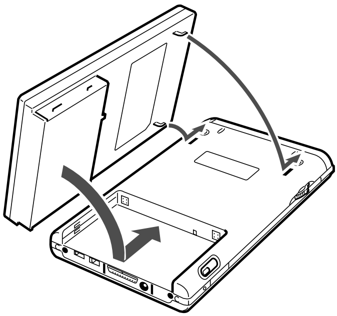
## 大容量バッテリ（オプション）への交換

**1 ACアダプタをはずし、電源スイッチで電源をOFFにする。（参照 5ページ）**

**2 バッテリパックをはずす。**

**3 オプションの大容量バッテリパックの上部のストッパーをPocket PC裏面のスロットに入れ、下部はガイドに合わせて上方に押して挿入する。**

奥までしっかり押し込んでください。



**4 バッテリパックロックを指先で上へ押してロックする。**

お知らせ

- オプションの大容量バッテリパックはバッテリパックと同じ様にロックをはずす事でPocket PCよりはずせます。

# 3. 初期セットアップ

本体を初めて使うときは、バッテリパックの充電が終わりましたら、以下の操作に従って初期セットアップを行ってください。

### 1 電源スイッチを押して電源をONにする

「ようこそ」という画面が表示されます。
画面をタップして以降のセットアップをはじめてください。

### 2 「タッチスクリーンの補正」を行う

「タッチスクリーンの補正」画面が表示されたら、スタイラスでターゲット（十字）の中心をタップします。ターゲットはタップするごとに動きます。5回タップすると補正が完了し、次の「スタイラス」の画面に移ります。



**ご注意**

- 指などが画面に触れたりすると、補正できません。そのときは補正が完了しませんので、もう一度補正を行ってください。

### 3 「スタイラス」の使いかたの説明を読む

スタイラスの使いかたが表示されます。
説明をお読みになり、「次へ」ボタンをタップしてください。

**お知らせ**

- スタイラスの詳しい使いかたについては、（参照 6ページ）をご覧ください。

## ④ ポップアップメニューの操作を練習する

画面の説明をお読みになりましたら、実際に操作してみましょう。
説明に沿って「ポップアップメニュー」を開く操作と「切り取り」、「貼り付け」を行います。
「貼り付け」をしたら練習は終了です。「次へ」ボタンをタップしてください。



## ⑤ 場所を設定する

タイムゾーンのボックスの右端にある▼をタップすると、一覧が表示されます。本商品を使用する「タイムゾーン」をタップして選んでください。
設定が終了したら、「次へ」ボタンをタップしてください。




## ⑥ 初期セットアップを完了する

「完了」の画面が表示されたら、初期セットアップは終了です。
画面をタップすると本体を使用開始できます。

**お知らせ**

- 初期セットアップが終了して「完了」の画面をタップすると、「Today」画面が表示されます。「Today」画面については（参照 20ページ）をご覧ください。

# 4. 外部機器の接続のしかた

## CFカードスロットにカードをセットする方法

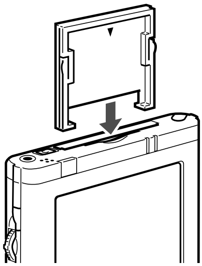
### カードの取り付けかた

**1 本体の電源をOFFにする**

**2 ダミーカードがある場合は抜く**

**3 CFカードスロットの凸部の大きさと、カード側面の凹部の大きさが合うように、向きを確認して差し込む**

カードは、静かに奥まで確実に差し込んでください。
カードが差し込まれると、電源が入ります。



### カードの取り出しかた

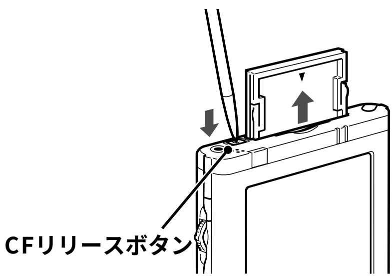
**1 本体の電源をOFFにする**

**2 スタイラスでCFリリースボタンを押し、本体より飛び出させる**

**3 飛び出したCFリリースボタンを軽く押す**

カードが少し上に出ます。

**4 カードを抜く**



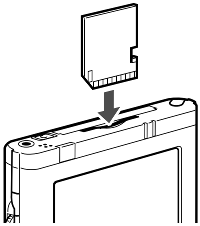
## SDカードスロットにカードをセットする方法

### カードの取り付けかた

1 本体の電源をOFFにする

2 ダミーカードがある場合は抜く

3 カードの接点面（金属の部分）を本体背面側に向けて、カチッと音がするまで差し込む

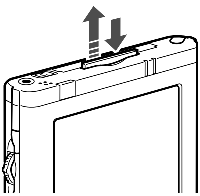


### カードの取り出しかた

1 本体の電源をOFFにする

2 カードを指で軽く、カチッと音がするまで押し込み、指を離す

3 カードが少し飛び出してきたら、静かに引き抜く



**ご注意**

- CFカードスロットとSDカードスロットの両方にメモリカードを挿入しても、アプリケーションや「設定」の操作では、片方（基本的には最初に挿入した方）のメモリカードしか、アクセスできない場合があります。
  代表例
  ・Pocket Outlookの「メモ」の「ツール」メニューの「オプション…」で保存先選択
  ・Pocket Wordの「ツール」メニューの「オプション…」で保存先選択
- 本体へのホコリやゴミの侵入を防止するため、長時間使用しないときは、ダミーカードをスロットに挿入することをおすすめします。

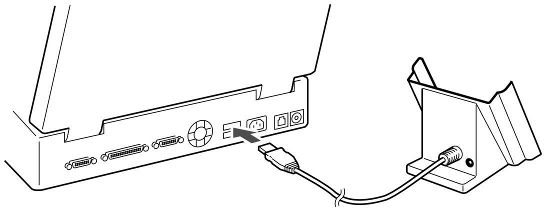
## パソコンとの接続のしかた

本体とパソコンを接続する前に以下の確認を行ってください。

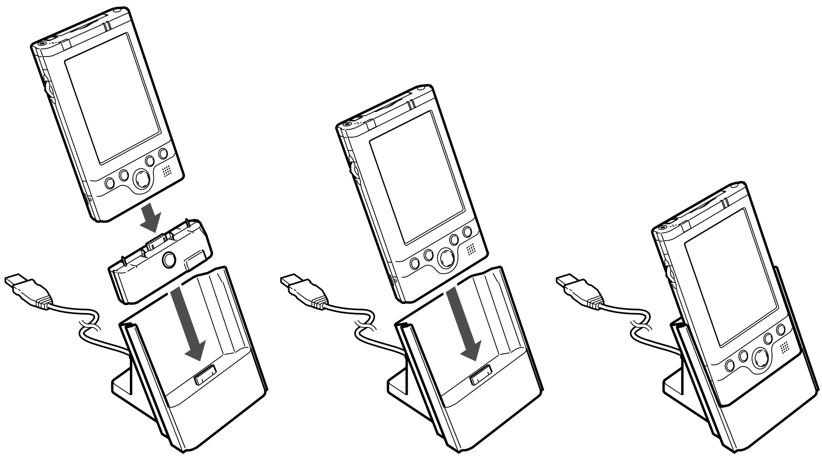
- 「接続できるパソコンについて」（参照 36ページ）をご覧になり、接続が可能なパソコンかどうかをご確認ください。
- 本体とパソコンを接続して、データの送受信を行うためには、パソコン側に「ActiveSync」のインストールが必要です。パソコンに「ActiveSync」をインストールしてください。（参照 37ページ）
- パソコン側の接続ポートの位置などがパソコンによって異なる場合がありますので、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

### 付属のクレードルを使って接続する

**1 クレードルをパソコンのUSBコネクタに接続する**



**2 本体をクレードルに接続する**



奥までしっかり差し込んでください。

**お知らせ**

- 静電気が発生しやすい場所や、電気的ノイズが大きい場所での使用時には、ご注意ください。
  外来ノイズの影響により、転送データが一部欠落する場合があります。万一、パソコンの故障や、静電気・電気的ノイズの影響により、再生データや記録データの変化、消失が起きた場合、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。

### 赤外線を使って接続する

#### 1 パソコンの赤外線接続を設定する

お使いのパソコンの赤外線ポートを設定します。パソコンの取扱説明書をご覧になり、設定してください。

#### 2 本体とパソコンの赤外線ポートの位置を合わせる

ポート間に障害物がないように、また2つのポートが十分近くなるようにします。

#### 3 本体の「スタート」から「ActiveSync」をタップし、「ツール」メニューから「赤外線から接続」をタップする

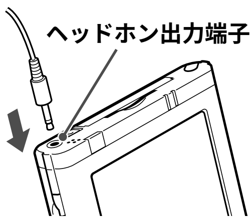
本体とパソコンが赤外線接続されます。

**お知らせ**

- 赤外線を使用したActiveSyncの接続の詳細については、ActiveSyncのヘルプをご覧ください。

## ヘッドホンの接続

市販のヘッドホンを本体に接続して、本体の出力音声を聞くことができます。
ヘッドホンは、下図のようにヘッドホン出力端子に接続してください。



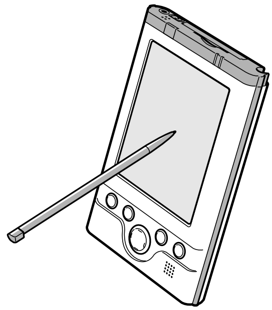

**ご注意**

- 接続できるヘッドホンはφ3.5mmミニプラグのタイプです。

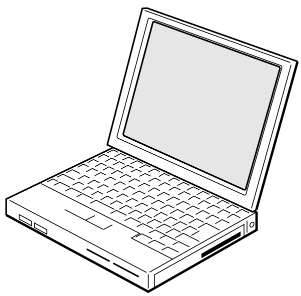
# 第2章 基本操作と環境設定

**使用環境設定をお好みに設定したり、パソコンやメモリカードを利用して、本体をより便利に使うことができます。**

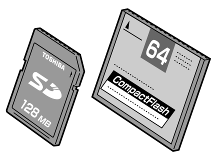
「Today」画面、「ホーム」画面、プログラムボタンなどをお好みに設定できます。



パソコンと接続して、作成したデータの同期ができます。



SDメモリカード、CFメモリカードを使って、データのバックアップができます。

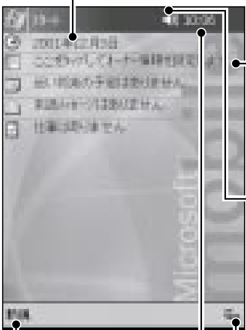


# 1. 基本的な使いかた

## 「Today」画面の見かた

### 「Today」画面について

最初に本体の電源を入れると、下図の「Today」画面が表示されます。また、「スタート」メニューから「Today」をタップしても表示されます。「Today」画面には、その日の「予定表」「受信トレイ」「仕事」が表示されます。



タップすると日付・時刻が設定できます。（参照 49ページ）

**ナビゲーションバー（参照 25ページ）**

タップすると「オーナー情報」が設定できます。（参照 45ページ）

タップすると「予定表」「受信トレイ」「仕事」のプログラムが起動します。（参照 92ページ、83ページ、98ページ）

**音量調整アイコン**
タップすると、音量の調整やスピーカー出力のオン、オフができます。

**コマンドバー（参照 25ページ）**

**ステータスアイコン（参照 21ページ）**

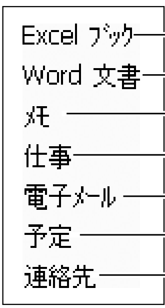
タップすると、「新規」メニューが表示されます。

**お知らせ**

- 「Today」画面の詳しい設定は、（参照 44ページ）をご覧ください。

### 「新規」メニューについて

画面左下の「新規」ボタンをタップすると次のメニューが表示されます。
メニューに表示するプログラムは変えられます。（参照 48ページ）
各メニューをタップすると、それぞれの新規入力画面が表示されます。




参照 **113ページ**

参照 **104ページ**

参照 **100ページ**

参照 **98ページ**

「送信メール」の作成画面が表示されます。
参照 **83ページ**

参照 **92ページ**

参照 **96ページ**

## ステータスアイコンについて

「Today」画面のとき、画面上のナビゲーションバーや画面下のコマンドバーに次のステータスアイコンが表示されます。

 ...... スピーカの出力（画面のタップ音やアラーム音など）が、オンになっています。アイコンをタップすると音量調節とスピーカ出力のオン、オフが設定できます。

 ...... スピーカの出力がオフになっています。

 ...... バッテリがフルに充電されています。（ナビゲーションバーの時刻をタップするとPopup表示されます。）

 ...... バッテリの充電量が残り少なくなっています。

 ...... バッテリの充電量が残りわずかになっています。

 ...... ダイアルアップ接続中です。

 ...... パソコンに接続中です。

 ...... 無線LAN省電力ユーティリティ（無線LANモデルのみ）

 ...... Active Sync でパソコンと同期中です。（Active Sync 画面にて表示されます。

 ...... 新着のMSN インスタントメッセージがあります。

 ...... 新着メールがあります。

# プログラムの起動と切り替え

## 「スタート」メニューから起動する

### 1 画面左上の「スタート」をタップする

「スタート」メニューが表示され、その中から各プログラムを選択して起動や切り替えをします。




最近起動したプログラムのアイコンが順番に5つまで表示されます。

タップすると各プログラムが起動します。
ここに表示するプログラムは設定で変えられます。
（参照 48ページ）

タップするとそれぞれの画面が表示されます。

**お知らせ**

- 「ホーム」を使ってプログラムを起動させることもできます。
（参照 54ページ）

## 「スタート」メニューに表示されていないプログラムを起動する

### 1 「スタート」メニューの「プログラム」をタップする

「プログラム」の画面が表示され、その中から各プログラムを選択して起動や切り替えをします。



## 内蔵プログラムについて

本体には以下のプログラムが内蔵されています。

| アイコン | プログラム名 | 説　明 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| | Pocket Internet Explorer | Webページを表示するためのブラウザソフトです。 | 77 |
| | ActiveSync | 本体とパソコンまたはサーバー間で情報交換できます。 | 37 |
| | Windows Media Player | 音楽の再生と、動画の再生が行えます。 | 119 |
| | メモ | 手書きメモ、図、文字入力が行えます。 | 100 |
| | 仕事 | 仕事の管理ができます。 | 98 |
| | 受信トレイ | 電子メールの送受信や受信したメールの整理が行えます。 | 83 |
| | 予定表 | スケジュールの管理ができます。 | 92 |
| | 連絡先 | アドレスの管理ができます。 | 96 |
| | Pocket Word | Pocket PC用ワープロソフトです。 | 104 |
| | Pocket Excel | Pocket PC用表計算ソフトです。 | 113 |
| | ファイルエクスプローラ | ファイルを管理できます | 39 |
| | MSN Messenger | チャットの環境を提供するソフトです。詳しくはMSN Messengerのヘルプをご覧ください。 | 124 |
| | データバックアップ | 本体メインメモリ上のすべてのデータをメモリカードにバックアップできます。 | 65 |
| | 赤外線受信 | 本体同士、または本体と他のPocket PCとの間でデータ転送が行えます。 | 42 |
| | 電卓 | 9桁の計算ができます。 | 128 |
| | ソリティア | カードゲームです。 | 129 |
| | ホーム | プログラムやファイルを登録して簡単に起動できます。 | 54 |

プログラムの起動と切り替え（つづき）

## プログラムの切り替えについて

表示されているプログラムとは別のプログラムに切り替えることができます。

- 「メモリ」の「実行中のプログラム」タブで切り替える。（参照 53ページ）
- 「ホーム」の「実行中」タブで切り替える。（参照 55ページ）

## プログラムの画面終了について

起動中の画面を消すことができます。




**タップすると、表示されている起動中の画面が消えます。**

## プログラムの終了について

実行中のプログラムを終了することができます。

- 「メモリ」の「実行中のプログラム」タブで終了する。（参照 53ページ）
- 「ホーム」の「実行中」タブで終了する。（参照 55ページ）

## プログラムの追加と削除

本体に、Pocket PC用のプログラムを追加インストールして、利用することができます。付属品のコンパニオンCDに入っているプログラムも、インストールして使用してください。

### プログラムのインストール

プログラムを本体にインストールするには、事前にお使いになるパソコンにMicrosoft ActiveSyncをインストールして、本体とパソコンが接続できるように準備をしておいてください。（参照 37ページ）
インストールの方法は、プログラム（CD-ROMやダウンロード元）に付随している説明に従ってください。

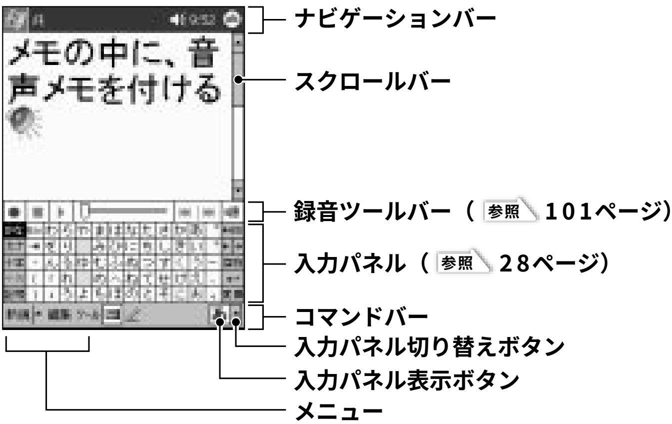
### プログラムを削除する

削除の方法は、プログラム（CD-ROMやダウンロード元）に付随している説明に従ってください。

## プログラムの基本操作

### プログラムの画面構成について

「メモ」の入力画面を使って、主な画面構成の説明をします。




**■ナビゲーションバーについて**

画面の最上段にあり、現在使用中のプログラム名と現在時刻の表示、プログラムの切り替え（ スタートメニュー）、スピーカーの音量調整、画面の終了（ok OKボタン）ができます。

**■コマンドバーについて**

画面の最下段にあり、現在使用中のプログラムのメニューとボタン、および入力パネルボタン（表示／切り替え）が表示されます。

プログラムの基本操作（つづき）

### ポップアップメニューについて

画面上に表示されている項目などをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されます。



**ポップアップメニュー**
ポップアップメニューの枠の外をタップすると、ポップアップメニューは消えます。

## オンラインヘルプの使いかた

### 1 「スタート」から「ヘルプ」をタップする

「ヘルプの目次」の画面が表示されます。
現在プログラムを実行中のときは、プログラムに応じた「ヘルプ」の画面が表示されます。

### 2 見たい項目をタップする



アンダーライン付の項目をタップするとその項目が開きます。

「表示」をタップすると、「目次」（現在表示中のヘルプの目次）と「すべてのトピック」（すべてのヘルプの目次）が選択できます。

「⇨」をタップすると、先に進んだヘルプ画面まで再び進んで表示します。

「⇦」をタップすると、もとのヘルプ画面まで戻って表示します。

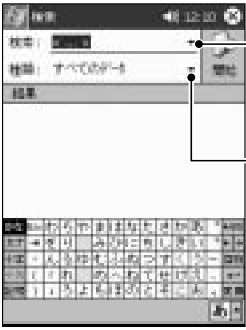
検索、次ページ参照。

## 検索のしかた

### 1 「スタート」から「検索」をタップする

「検索」の画面が表示されます。

### 2 「検索」欄に検索語句を入力する



以前に検索した項目を検索するときは、▼をタップして表示された一覧から選びます。
一覧には最近検索した6項目まで表示されます。

データの種類を絞り込んで検索するときは、▼をタップして表示された一覧から種類を選びます。

### 3 「開始」をタップする

「種類」で選択されたデータが検索され、検索結果が表示されます。

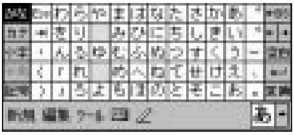
# 2. 文字入力のしかた

## 文字入力の概要について

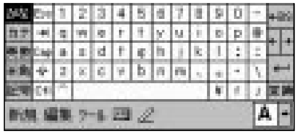
「文字入力モード」は、入力パネルを使って文字を入力します。入力パネルは、以下の4つのタイプがあります。

**●キーボードタイプ入力パネル**

「ひらがな／カタカナ」

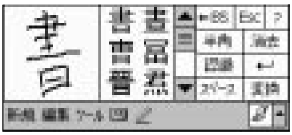


「ローマ字／かな」

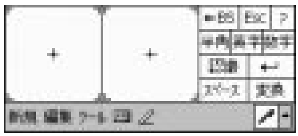


**●手書きタイプ入力パネル**

「手書き検索」

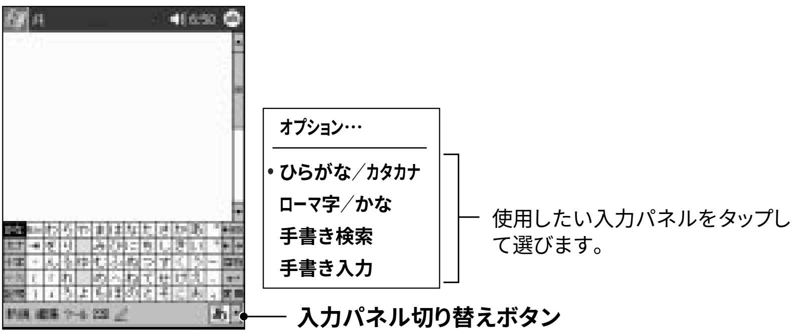


「手書き入力」



## 入力パネルの切り替えについて

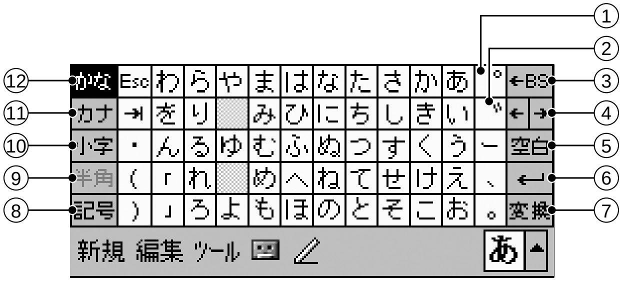
画面右下の入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、使用したい入力パネルを選択すると画面下部に入力パネルが表示されます。



# キーボードタイプの入力パネル

## 「ひらがな／カタカナ」キーボードについて

キーボードのキーは以下のようなはたらきがあります。




①………………「ぱ」行を入力するときには、「は」行のキーをタップしてからタップします。

②………………「が」、「ざ」、「だ」、「ば」行を入力するときには、「か」、「さ」、「た」、「は」行のキーをタップしてからをタップします。

③………………カーソルの前にある文字を、タップするごとに1文字ずつ削除します。
変換中にタップすると、変換を解除します。

④………………カーソルを前後に移動します。

⑤………………空白を入力します。

⑥………………「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。

⑦………………ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択してタップすると、再変換します。

⑧………………記号キーボードに切り替わります。（参照 30ページ）

⑨………………タップして「半角」を反転させると半角入力できます。ひらがなの半角入力はできません。

⑩………………タップして「小字」を反転させると、「つ」、「や」、「ゆ」、「よ」などの文字が小文字入力になります。小文字入力は、1文字入力すると解除されます。

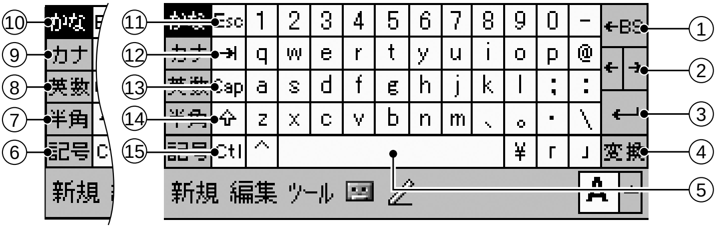
⑪………………「カタカナ」キーボードに切り替わります。

⑫………………「ひらがな」キーボードに切り替わります。

キーボードタイプの入力パネル（つづき）

## 「ローマ字／かな」キーボードについて

キーボードのキーは以下のようなはたらきがあります。




①～④の各キーのはたらきは「ひらがな／カタカナ」キーボードの③④⑥⑦のキーと同じです。

⑤ ................「スペース」キーです。空白を入力します。

⑥ ....................記号キーボードに切り替わります。（参照 30ページ）

⑦ ....................タップして「半角」を反転させると半角入力できます。ひらがなの半角入力はできません。

⑧ ....................英数字入力します。

⑨ ....................ローマ字入力で、カタカナを入力します。

⑩ ....................ローマ字入力で、ひらがなを入力します。

⑪ ....................「エスケープ」キーです。カナ、かなで入力した変換前の文字を一括して消去します。

⑫ ....................「タブ」キーです。タブを入力します。

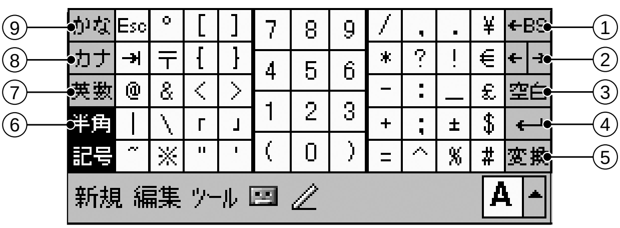
⑬ ....................「キャプスロック」キーです。英数字入力のときに、タップして を反転させると大文字入力ができます。

⑭ ....................「シフト」キーです。タップして を反転させると、大文字および記号（！“＃＄％＆‘（　）＿＝…など）の入力ができます。1文字入力すると、シフトキーが解除されて元に戻ります。

⑮ ....................「コントロール」キーです。

## 「記号」キーボードについて

「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」キーボード左下の「記号」をタップすると、「記号」キーボードが表示されます。

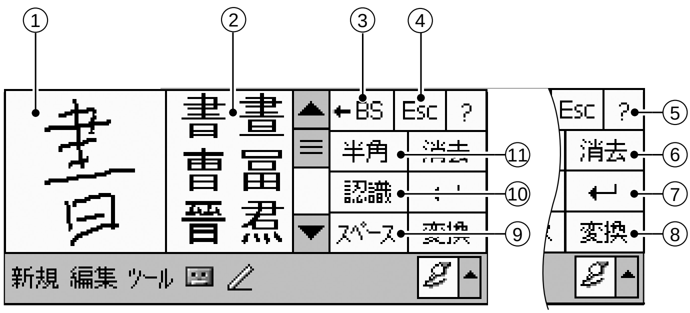


①〜⑤...................各キーのはたらきは「ひらがな／カタカナ」キーボードの③〜⑦のキーと同じです。
⑥ ....................タップして「半角」を反転させると、半角入力ができます。
⑦ ....................「英数字」入力モードに戻ります。
⑧ ....................「カタカナ」入力モードに戻ります。
⑨ ....................「ひらがな」入力モードに戻ります。



# 手書きタイプの入力パネル

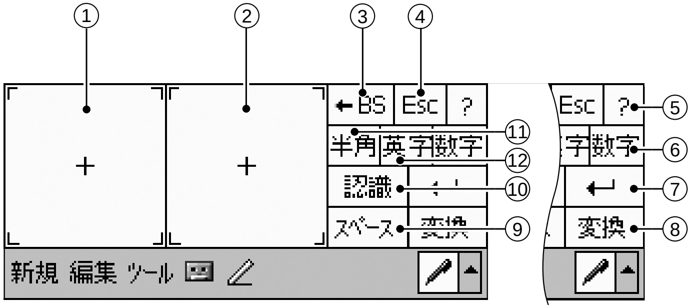
## 「手書き検索」の入力パネルについて




①（手書き入力欄）............手書き入力します。
②（認識候補一覧）............①で入力された文字の認識候補が一覧表示されます。入力したい文字を選択します。
③ ...................①で手書き中に をタップすると、最後の１画が消去されます。文字列では、カーソルの前にある文字を1文字ずつ削除します。また、変換中にタップすると、変換を解除します。
④ ....................「エスケープ」キーです。カナ、かなで入力した変換前の文字を一括して消去します。
⑤ ...................タップすると、キーのヘルプ画面が表示されます。
⑥ .................①と②の欄内の文字が消去されます。
⑦ .................「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。
⑧ .................ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して をタップすると、再変換します。
⑨ .................文字列にスペースを挿入します。
⑩ .................①に手書き中に をタップして画数を減らしたときに、②の候補リストを更新します。
⑪ .................タップして反転させると、英数字とカタカナの半角入力ができます。

手書きタイプの入力パネル（つづき）

### 「手書き入力」の入力パネルについて




①②（手書き入力欄）........2つの欄に手書きした文字が順に認識され、連続的に入力されます。

③〜⑤、および⑦〜⑪ ......各キーのはたらきは、「手書き検索」の入力パネルと同じです。

⑥数字................................数字および記号を書き込むモードに切り替わります。

⑫英字................................英字を書き込むモードに切り替わります。

## 文字入力する

ここでは、Pocket Wordを使って文字入力のしかたを説明します。
Pocket Wordの新規文書を開くには、「Today」画面の「新規」から、「Word文書」をタップします。
「スタート」の「プログラム」から「Pocket Word」をタップしても開けます。

### 「ひらがな／カタカナ」入力パネルを使って入力する

（例）「かんじ」と入力して、「漢字」に変換してみます。

**1 画面右下の入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「ひらがな／カタカナ」入力パネルを選択する**

「ひらがな／カタカナ」入力パネルが表示されます。

**2 キーボードから「かんじ」と入力する**

画面に「かんじ」と入力されます。

**3 「変換」をタップする**

「かんじ」が「漢字」（反転）に変換されます。
変換が違うときはもう一度「変換」をタップして候補リストを表示します。
リストの中から「漢字」を選択します。

**4 をタップする**

反転が解除されて、確定します。

## 「ローマ字／かな」入力パネルを使って入力する

（例）「kanji」と入力して、「漢字」に変換してみます。

**1 入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「ローマ字／かな」入力パネルを選択する**

「ローマ字／かな」入力パネルが表示されます。

**2 入力パネルの「かな」をタップする**

**3 キーボードから「kanji」と入力する**

画面に「かんじ」と表示されます。

**4 「変換」をタップする**

「かんじ」が「漢字」（反転）に変換されます。
変換が違うときはもう一度「変換」をタップして候補リストを表示します。
リストの中から「漢字」を選択します。

**5 をタップする**

反転が解除されて、確定します。

## 「手書き検索」入力パネルを使って入力する

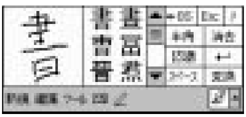
（例）「書」と手書きして変換してみます。

**1 入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「手書き検索」入力パネルを選択する**

「手書き検索」入力パネルが表示されます。

**2 手書き入力欄に「書」と手書き入力する**

右側に認識候補一覧が表示されます。
一覧から「書」を選択すると、画面上部に「書」が表示されます。



**3 をタップする**

「書」が確定されます。

文字入力する（つづき）

### 「手書き入力」入力パネルを使って入力する

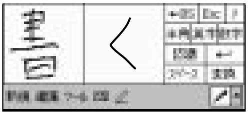
（例）「書く」と手書きして変換してみます。

**1 入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「手書き入力」入力パネルを選択する**

「手書き入力」入力パネルが表示されます。

**2 2つの手書き入力欄に「書」、「く」と手書き入力する**

自動的にテキスト変換して、「書く」と表示されます。



**3 をタップする**

「書く」が確定されます。

## 文字の編集について（追加、削除、変更、コピー、移動）

### 文字を追加するには

**1 文字を追加したい位置をタップする**

カーソルが点滅表示されます。
ひらがな/カタカナ、ローマ字/かな入力パネルの場合、カーソルの位置を移動するときは、「←」または「→」キーをタップします。

**2 追加したい文字を入力する**

カーソル位置に入力文字が追加されます。

### 文字を削除するには

**1 削除したい文字の直後をタップする**

カーソルが点滅表示されます。
ひらがな/カタカナ、ローマ字/かな入力パネルの場合、カーソルの位置を移動するときは、「←」または「→」キーをタップします。

**2 カーソルの位置を確認して をタップする**

カーソルの位置から前へ順に削除されます。
削除したい範囲をドラッグして、 または編集メニューからクリアをタップすると、複数の文字を一度に削除できます。

### 文字を変更するには

1. **変更したい範囲をドラッグして、新しい文字を入力する**

### 文字をコピーするには

1. **コピーしたい範囲をドラッグして、「編集」メニューの「コピー」をタップする**
2. **貼り付け（挿入）したい位置をタップし、カーソルを点滅させる**
3. **「編集」メニューの「貼り付け」をタップする**

### 文字を移動するには

1. **移動したい範囲をドラッグして、「編集」メニューの「切り取り」をタップする**
2. **貼り付け（挿入）したい位置をタップし、カーソルを点滅させる**
3. **「編集」メニューの「貼り付け」をタップする**

### 文字を編集前に戻すには

直前の編集操作を取り消して、ひとつ前の状態に戻すことができます。

1. **「編集」メニューの「元に戻す」をタップする**

**お知らせ**

- 「元に戻す」の操作をした直後、編集メニューの「やり直し」をタップすると、元に戻した操作をやり直すことができます。

# 3. パソコンと接続する

## 接続できるパソコンについて

本体と接続するパソコンは、以下のようなシステムが必要です。

- Microsoft® Windows® XP、Microsoft® Windows® 2000、Microsoft® Windows® Me またはMicrosoft® Windows® 98の各日本語版。
- Microsoft Outlook® 98 かそれ以降で、デスクトップまたはポータブルコンピュータの受信トレイ、予定表、連絡先、仕事、メモと同期ができるメールソフト（付属のOutlook® 2002 を推奨します）
- Windows® 2000の場合は、Pentium®プロセッサを搭載したパソコン（Pentium® 166MHz以上）。
- Windows® XPの場合は、クロック速度300MHz以上のプロセッサを搭載したパソコン。
- Windows® Meの場合は、Pentium®プロセッサを搭載したパソコン（Pentium® 150MHz以上）。
- Windows® 98の場合は、486/66DX以上のプロセッサ（Pentium® 90MHz以上を推奨）を搭載したパソコン。
- Windows® 98の場合はメモリ容量16MB以上、Windows® XPの場合は128MB以上のメモリ容量を推奨。
- 10～50MBの使用可能なハードディスク空き容量（実際に必要な容量は、選択する機能と使用されるシステム構成によって異なります)。
- 赤外線ポート、USBコネクタのいずれかの通信ポートが必要です。
- CD-ROMドライブ。
- 256色以上のVGAグラフィックスカードまたは互換のビデオグラフィックスアダプタ。
- キーボード。
- Microsoft® マウス、または互換のあるポインティングデバイス。

### ■ Windows® XP、Windows® 2000、Windows® Me、Windows® 98用の各オプション

- サウンド用のオーディオカード／スピーカ。
- Microsoft® Office 97、Microsoft® Office 2000またはMicrosoft® Office XP。
- リモート同期用モデム。
- リモート同期用イーサネットLAN接続。

### ■ モバイルチャンネル／モバイルのお気に入りサポート用に必要なシステム

- Microsoft® Internet Explorer5.0以降のバージョン。Internet Explorer5.0には、56～98MBの空きディスク容量が必要です。

## ActiveSync® 3.5について

本体とパソコンの間で、データ交換をするためのパソコン用のプログラムです。

**お知らせ**

- ActiveSync® 3.5は付属のコンパニオンCDに収録されています。
- ActiveSync® 3.5の使いかたの詳細については、ActiveSync® 3.5をパソコンにインストールしてから、ActiveSync® 3.5のヘルプをご覧ください。



### ■ ActiveSync® 3.5の働きについて

ActiveSync® 3.5を使用して本体とパソコンの間で、以下のようなことが行えます。

- 「連絡先」、「予定」、「仕事」の同期
- 受信トレイの同期
- ファイルのコピーまたは移動
- ファイル形式の変換
- ファイルの同期
- アプリケーションの追加、削除
- データのバックアップと復元

### ■ ActiveSync® 3.5のインストールについて

インストールする前に、本体とパソコンの間で情報を同期するには、パソコン上にMicrosoft® OutlookまたはMicrosoft® Schedule+が用意されている必要があります。（「クイックスタートガイド」も併せて参照下さい。）

**1 コンパニオンCDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する**

セットアッププログラム起動の画面が表示されます。
CD-ROMを挿入してもセットアッププログラムが起動しない場合は、CD-ROMの中のsetupをダブルクリックします。

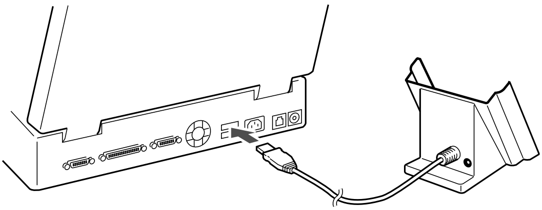
**2 「開始ページ」を選んで、「Microsoft Outlook 2002」をインストールする**

- Microsoft® Outlook® 2002のフルインストールには、230MBの空きディスク容量が必要、64MB以上のメモリを推奨します。
- パソコンにMicrosoft® Outlook® がインストールされているときは、次の操作に進んでください。

**3 次に、「ActiveSync 3.5」をインストールする**

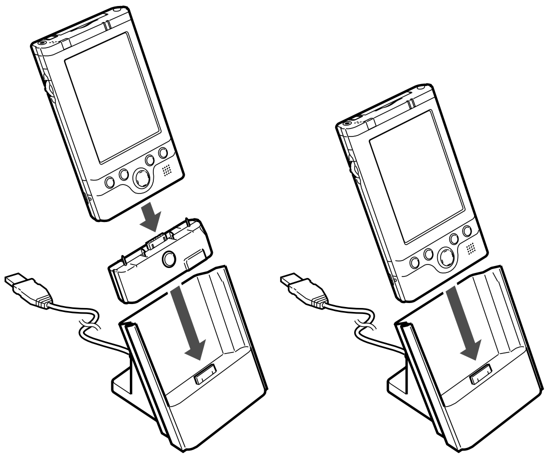
インストールが完了すると、接続のウィザードが起動します。

### 4 クレードルをパソコンのUSBコネクタに接続する



このときはクレードルに本体を差し込まないでください。

### 5 本体の電源OFFの状態で、本体をクレードルに接続する



奥までしっかり差し込んでください。
本体の電源がONになります。

### 6 画面の指示に従ってセットアップを進める

「ハードウェア検索ウィザード」または「ハードウェア追加ウィザード」が表示されたら、画面の指示に従ってコンパニオンCDからデバイスドライバのインストールを行います。

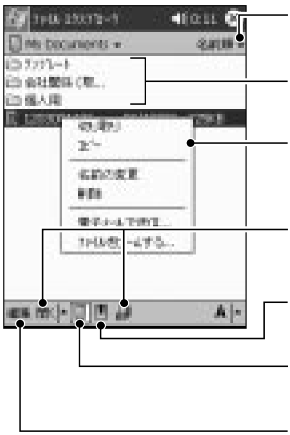
# 4. ファイルの管理

ファイルエクスプローラを使うと、フォルダを参照したり、ファイルをフォルダに整理したりなど、ファイルの管理ができます。

## ファイルエクスプローラの使いかた

**1 「スタート」の「プログラム」から「ファイルエクスプローラ」をタップする**

「ファイルエクスプローラ」の画面が表示され、My Documentsのファイルとフォルダの一覧が表示されます。
「My Documents ▼」をタップすると、現在表示中の階層より上の階層が表示されます。




ファイルをタップすると、関連付けられたアプリケーションが起動してファイルを開きます。実行ファイル形式の場合は、そのファイルが実行されます。

## 新規フォルダを作成する

**1 フォルダを作成したい階層を表示する**

上の階層にフォルダを作成するには「My Documents ▼」をタップして、フォルダを選んでください。

**2 「編集」メニューから「新しいフォルダ」をタップする**

新しいフォルダが作成され、フォルダ名の入力状態になります。

**3 フォルダ名を入力して をタップする**

## ファイルやフォルダをコピーする

**1 コピーしたいファイルやフォルダをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

**2 ポップアップメニューから「コピー」をタップする**

**3 コピー先にしたい階層を表示する**

上の階層にコピーするには「My Documents ▼」をタップして、フォルダを選んでください。

**4 「編集」メニューから「貼り付け」をタップする**

現在表示中の階層にコピーされます。

**お知らせ**

- 「コピー」元と同じ階層に「貼り付け」をすると、ファイルやフォルダ名に「コピー～」が追加されて、同じ階層にコピーされます。

## ファイルやフォルダを移動する

**1 移動したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

**2 ポップアップメニューから「切り取り」をタップする**

**3 移動先にしたい階層を表示する**

**4 「編集」メニューから「貼り付け」をタップする**

現在表示中の階層に移動されます。

**お知らせ**

- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルやフォルダがすべて移動されます。

## ファイルやフォルダを削除する

**1 「削除」したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

**2 ポップアップメニューから「削除」をタップする**

「ファイルの削除の確認」の画面が表示されます。

**3 「はい」をタップする**

**ご注意**

- フォルダを削除すると、フォルダ内のファイルやフォルダがすべて削除されます。
- ファイルやフォルダの削除を実行すると、削除の取り消しはできません。ご注意ください。

## ファイル名やフォルダ名を変更する

**1 名前を変更したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

**2 ポップアップメニューから「名前の変更」をタップする**

名前の入力状態になります。

**3 新しい名前を入力して ↵ をタップする**

## ファイルを電子メールで送信する

**1 電子メールで送信したいファイルをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

**2 ポップアップメニューから「電子メールで送信」をタップする**

受信トレイが起動し、選んだファイルが添付された送信メッセージの新規作成画面が表示されます。
受信トレイを使って送信するには、第3章の「メールを送受信する」（参照 83ページ）をご覧ください。

**お知らせ**

- 電子メールを利用するときは、あらかじめメールの設定が必要です。詳しくは（参照 75ページ）をご覧ください。

# ファイルをビームする

本体同士、または赤外線ポートを備えたパソコン（参照 17ページ）との間で、赤外線通信によるデータ転送が行えます。

## データを送受信する

**1 本体と他のPocket PCの赤外線ポートの位置を合わせる**

ポート間に障害物がないように、また2つのポートが十分近くなるようにします。

**2 送信側の本体のファイルエクスプローラで、送信したいファイルまたは項目をタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

**3 ポップアップメニューから「ファイルをビームする」をタップする**

**4 受信側のPocket PCに、「データを受信中」が表示されます。「はい」か「いいえ」をタップする**



「はい」をタップするとデータの受信が行われます。

上記画面が表示されないときは、下記の操作を行ってください。
受信側のPocket PCで、「スタート」の「プログラム」から「赤外線受信」をタップします。
データの送信/受信が行われます。

# 5. 使用環境設定

## 設定項目について

「スタート」から「設定」をタップし、「個人用」、「システム」または「接続」タブをタップすると次の項目が設定できます。

| タブ | 項　目 | 説　明 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 個人用 | Today | 「Today」画面に表示したい情報を設定します。 | 44 |
| | 入力 | 手書き入力または録音時のオプション設定をします。 | — |
| | 音と通知 | 音量、音を鳴らす場面、アラームなどを設定します。 | — |
| | オーナー情報 | 自分の連絡先個人情報を入力します。 | 45 |
| | パスワード | 電源をONにしたときにパスワードを入力しないと本体のデータにアクセスできないように設定します。 | 46 |
| | ボタン | プログラムボタンを押したとき、何のプログラムが起動するかを設定します。 | 47 |
| | メニュー | スタートメニューに表示するプログラム、および「Today」画面上の新規メニューを設定します。 | 48 |
| システム | 地域 | 数値、通貨、時刻および日付の表示方法を設定します。 | — |
| | 時計 | 時刻を変更またはアラームを設定します。訪問先を指定すると訪問先の時刻も表示できます。 | 49 |
| | 無線LANユーティリティ | 無線LANの設定をします。（無線LANモデルのみ） | 147 |
| | 画面 | 画面のタップ表示位置と実際のタップ位置がずれているときに画面を調整します。 | — |
| | バージョン情報 | システムのバージョン情報などを表示します。また、デバイスIDを設定できます。 | — |
| | パワー<br>マネージメント | バッテリの残量を表示します。<br>パワーオフまでの時間を設定します。 | 51 |
| | フロントライト | 画面の明るさ、およびフロントライトを消灯とするまでの時間を設定します。 | 50 |
| | プログラムの削除 | 追加したプログラムを削除します | — |
| | マイクロフォン | マイクロフォンのオート・ゲイン・コントロールを設定します。 | — |
| | メモリ | データ記憶用メモリとプログラム実行用メモリのメモリの割り当てを変更できます。また、メモリカードの使用状況も確認できます。 | 52 |
| 接続 | 接続 | インターネットの接続を設定します。 | 70 |
| | ネットワークアダプタ | ネットワークアダプタを使ったネットワーク接続の設定をします。 | — |
| | ビーム | ビームの設定をします。 | — |

※参照ページが記載されていない項目はオンラインヘルプを参照してください。

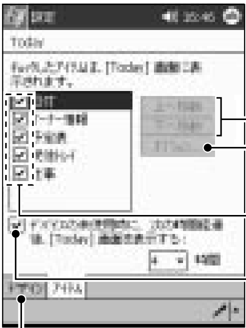
## 「Today」画面を設定する

「Today」画面の背景や「Today」画面に表示される項目を設定や変更できます。

**1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「Today」をタップする**

「Today」の設定画面が表示されます。

**2 「アイテム」タブをタップして設定をする**



順番を変更したい項目をタップして「上へ移動」または「下へ移動」をタップします。

「予定表」と「仕事」はオプションで更に詳しく設定できます。

「Today」画面に表示したい項目のボックスをチェックします。

本体が使用されなくなってからどれくらいで「Today」画面を表示するかを設定します。設定するときはここをチェックして、時間を選びます。

「デザイン」タブは「Today」画面の背景などを設定できます。

**3 設定を終えたら ok をタップする**

「個人用」タブの画面に戻ります。

**お知らせ**

- 「日付」は移動できません。
  「Today」画面の詳しい説明は（ 参照 20ページ）をご覧ください。

## 「オーナー情報」を設定する

住所、名前、電話番号、電子メールアドレスなど、持ち主の情報を設定できます。



**1** **「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「オーナー情報」をタップする**

「オーナー情報」の設定画面が表示されます。

**2** **「オーナー情報」を入力する**



各項目をタップして文字を入力します。

このボックスをチェックすると、電源をONにしたときに「オーナー情報」を「マイ　インフォ」画面で表示します。

タップするとメモの入力画面が表示されます。

**3** **設定を終えたら ok をタップする**

「個人用」タブの画面に戻ります。

## 「パスワード」を設定する

パスワードを設定する事により、第三者からデータや設定を守ることができます。

**1** **「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「パスワード」をタップする**

「パスワード」の設定画面が表示されます。

**2** **「シンプルな4桁のパスワード」または「強力な英数字のパスワード」をタップして「パスワード」を設定する**

ここでは「シンプルな4桁のパスワード」にパスワードを入力します。



「強力な英数字のパスワード」を選んだときは、パスワードは7文字以上で、半角英数字(大文字と小文字)と区切り記号の組み合わせが必要です。

パスワードを入力し直すときは、ここをタップします。「パスワードなし」が選ばれているときは表示されません。

**3** **設定を終えたら ok または「ENTR」をタップする**

「変更を保存しますか」が表示されますので、パスワードを保存するときは、「Yes」をタップします。「個人用」タブの画面に戻ります。

**ご注意**

- パスワードを入力して ok をタップし、パスワードを保存すると、「パスワード」設定画面を表示するのにもパスワードの入力が必要になります。
- パスワードを忘れてしまったときは、本体の初期化を行わなければなりません。初期化を実行すると、本体に保存していたデータや設定がすべて失われてしまいますのでご注意ください。初期化の方法は（参照 163ページ）をご覧ください。

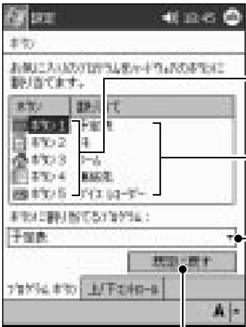
## 「ボタン」を設定する

本体のプログラムボタン1、2、3、4、5によく使うプログラムをお好みで割り当てられます。

### 1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「ボタン」をタップする

「ボタン」の設定画面が表示されます。

### 2 設定したいボタンを指定してプログラムを選択する




プログラムボタンの初期設定
　プログラムボタン1…「予定表」　　プログラムボタン2…「仕事」
　プログラムボタン3…「ホーム」　　プログラムボタン4…「連絡先」
　プログラムボタン5…「ボイスレコーダー」

### 3 設定を終えたら ok をタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

## 「メニュー」を設定する

「スタート」をタップしたときに表示する、メニューのプログラムを設定できます。

### 1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「メニュー」をタップする

「メニュー」の設定画面が表示されます。

### 2 「メニュー」を設定する



プログラム横のボックスをチェックすると、チェックしたアイテムを「スタート」のメニューに9個まで追加できます。

タップすると「新規メニュー」の設定に移ります。

「新規メニュー」では、「Today」画面の新規メニュータブをタップしたときに表示される項目を設定できます。



ここをチェックすると、「予定表」、「連絡先」、「メモ」、「仕事」、「受信トレイ」、「Pocket Word」、「Pocket Excel」の各プログラムの「新規▲」から、他プログラムの情報を新規作成できます。

プログラム横のボックスをチェックすると、チェックした項目を「新規メニュー」に表示できます。

### 3 設定を終えたら ok をタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

**お知らせ**

- チェックされたプログラム以外は、「スタート」の「プログラム」をタップすると表示されます。
- 「Today」、「プログラム」、「設定」、「検索」、「ヘルプ」は、「スタート」メニューから外せません。



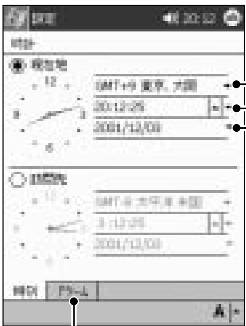
## 日付や場所を設定する

現在地や時刻の設定だけでなく、出かける先の場所と時刻も同時に表示できます。

### 1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「時計」をタップする

「時計」の設定画面が表示されます。

### 2 「時計」を設定する



タップして一覧から地域を選びます。

時と分と秒をそれぞれタップし反転させて時間を設定します。時間は▲もしくは▼をタップして入力します。▲で数字を上げ、▼で数字を下げられます。

タップするとカレンダーが表示されます。設定したい日付を選びます。

タップすると毎週決まった曜日の時刻にアラームを最大4つまで設定できます。

### 3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

**お知らせ**

- 時刻設定は、時計の針をドラッグすることでも設定できます。
- パソコンと同期させると、現在時刻や場所がパソコン側の設定と同一の設定になります。

## 「フロントライト」を設定する

画面の明るさをお使いの場所に合わせて、見やすく設定できます。また未使用時間に応じてフロントライトを消灯する時間を設定できます。

### 1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「フロントライト」をタップする

「フロントライト」の設定画面が表示されます。

### 2 バッテリ電源での設定

「バッテリ電源」タブをタップする。



ここをチェックすると、バッテリ電源使用時に、設定された時間以上本体が未使用の場合に、自動的にフロントライトを消灯します。

自動的にフロントライトを消灯する時間を設定します。

ここをチェックすると、ボタンを押すかタップしたときフロントライトが点灯します。

設定を終え、ok をタップすると「システム」タブの画面に戻ります。

### 3 外部電源での設定

「外部電源」タブをタップする



ここをチェックすると、ACアダプタ（外部電源）使用時に、設定された時間以上に本体が未使用の場合に、自動的にフロントライトを消灯します。

自動的にフロントライトを消灯する時間を設定します。

ここをチェックすると、ボタンを押すかタップしたとき、フロントライトが点灯します。

設定を終え、ok をタップすると「システム」タブの画面に戻ります。

## ④ 明るさの設定

「設定」タブをタップする。




## ⑤ 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

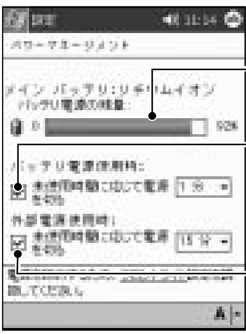
# 「パワーマネージメント」を設定する

バッテリの充電残量の確認や、未使用時間に応じて電源をOFFにする時間をを設定できます。

## ① 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「パワーマネージメント」をタップする

「パワーマネージメント」の設定画面が表示されます。

## ② 「パワーマネージメント」を設定する




## ③ 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

# 「メモリ」を設定する

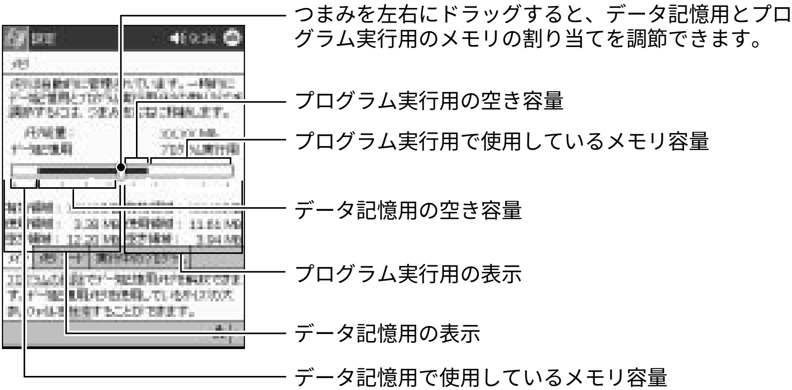
データ記憶用メモリとプログラム実行用のメモリを調節したり、メモリカード等の空き容量を確認できます。

## メモリの割り当てを変更する

**1** **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「メモリ」をタップする**

「メモリ」の設定画面が表示されます。

**2** **メモリの割り当てを変更する**



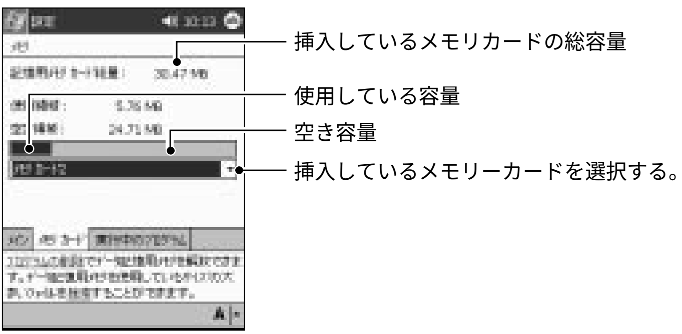

**3** **設定を終えたら ok をタップする**

「システム」タブの画面に戻ります。

## メモリカードの使用状況を確認する（メモリカード挿入時）

**1** **「メモリ」の設定画面で「メモリカード」タブをタップする**

「メモリ」設定の「メモリカード」タブ画面が表示されます。



### 2 確認を終えたら ok をタップする

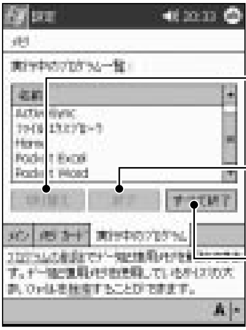
「システム」タブの画面に戻ります。

## 実行中のプログラムを終了する

### 1 「メモリ」の設定画面で「実行中のプログラム」タブをタップする

「メモリ」設定の「実行中のプログラム」タブ画面が表示されます。

### 2 実行中のプログラムを終了する



表示されているプログラムを選んで「切り替え」をタップすると、選ばれたプログラムに切り替わります。

表示されているプログラムを選んで「終了」をタップすると、選ばれたプログラムのみが終了します。

「すべて終了」をタップすると画面に表示されているプログラムがすべて終了します。

### 3 ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

**お知らせ**

- 「終了」を実行したときに、プログラムが入力待ち状態などの場合には、「このプログラムから応答がありません」というメッセージが表示されるときがあります。この場合は画面に従って操作してください。

## メモリを解放する

エラーメッセージが表示されるなどでメモリが足りない場合は、メモリの解放を行ってください。メモリを解放する方法として、以下の方法があげられます。

- メモリカード等にデータを移して、本体メモリからデータを削除する。
- 不要なファイルを削除する。
- 実行中のプログラムを終了する。
- 使用しないプログラムを削除する。

**お知らせ**

- 詳しい操作方法や、これ以外にメモリを解放する方法は、オンラインヘルプをご覧ください。

# 6. ホームについて

「ホーム」では内蔵もしくはインストールされているアプリケーションや実行中のプログラムの切換と終了が簡単に行えます。
「ホーム」の画面に表示されているアイコンや実行中のプログラムの名前をタップするとそのアプリケーションやファイルを簡単に起動できます。また、画面の背景にお好みのビットマップ画像を表示することもできます。

## 「ホーム」からアプリケーションを起動する

### 1 「スタート」の「プログラム」から「ホーム」をタップする

「ホーム」の画面が表示されます。
本体のホームボタンを押しても起動します。



初期状態では、「メイン」、「プログラム」、「ゲーム」のタブをタップすると、アプリケーションのアイコンが登録されています。「実行中」のタブをタップすると、現在実行しているアプリケーション名が表示されます。

タブをタップすると切り替わります。

### 2 タブを切り替えて、起動したいアプリケーションのアイコンをタップする

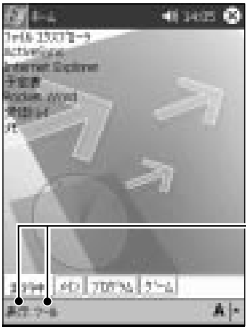
タップしたアプリケーションが起動します。

**お知らせ**

- アプリケーションは、カーソルボタンで選んでカーソルボタンの中央を押しても起動します。
- タブは最大10種類、アイコンは一つのタブにつき18個まで増やせます。

## 「実行中」タブについて

「実行中」タブには、現在実行しているアプリケーション名が表示されます。アイコンは表示されません。

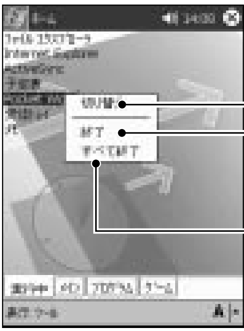


実行中のアプリケーション

「実行中」タブの画面では、表示メニューとツールメニューが選べます。表示メニューからは「表示色」が、ツールメニューからは「タブの設定」と「バージョン情報」がそれぞれ選べます。
表示色の設定については（参照 64ページ）をご覧ください。

### アプリケーションの切り替え／終了

切り替えたいアプリケーション名をタップします。
切り替えたいアプリケーション名をタップアンドホールドして、表示されたポップアップメニューからも切り替えられます。



ここをタップすると選んだアプリケーションに切り替わります。

ここをタップするとアプリケーションは終了し、画面上からアプリケーション名が消えます。

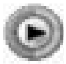
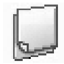
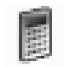
ここをタップすると画面上に表示されているすべてのアプリケーションが終了します。

**お知らせ**

- 「実行中」タブ内のアプリケーション名以外のところをタップアンドホールドしてもポップアップメニューが表示されます。このときは「すべて終了」だけが選べます。

## 表示アイコン一覧

以下の表は、初期状態のタブとアイコン一覧です。

| タブ名 | アイコン | アプリケーション名 | タブ名 | アイコン | アプリケーション名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実行中 | | | プログラム |  | ファイル<br>エクスプローラ |
| メイン |  | Internet<br>Explorer | |  | データ<br>バックアップ |
| |  | Windows Media<br>Player | |  | 赤外線受信 |
| |  | メモ | |  | フロントライト |
| |  | 仕事 | |  | パワー<br>マネージメント |
| |  | 受信トレイ | |  | MSN Messenger |
| |  | 予定表 | ゲーム |  | ソリティア |
| |  | 連絡先 | | | |
| |  | Pocket Word | | | |
| |  | Pocket Excel | | | |
| |  | 電卓 | | | |

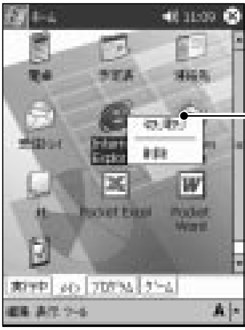
## アイコンの移動

### ポップアップメニューを使って移動する

**1 移動したいアイコンをタップアンドホールドする**

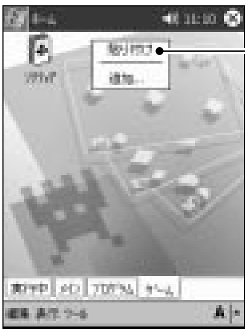
ポップアップメニューが表示されます。

**2 ポップアップメニューから「切り取り」をタップする**



タップする。

**3 移動先にしたいタブをタップし、タップアンドホールドし、「貼り付け」をタップする**



タップすると画面上にアイコンが貼り付けられます。

**お知らせ**

- 移動したアイコンは、タブ内の最後に配置されます。
- 既に18個のアイコンが存在するタブに、アイコンを移動することはできません。

アイコンの移動（つづき）

### ドラッグアンドドロップを使って移動する

**1 アイコンをタップしたまま移動させたいタブまでドラッグし、アイコンをドロップする**

アイコンが移動し元のタブからアイコンが削除されます。

**お知らせ**

- 移動可能なアイコンは、タップしたときに反転します。
- 同じタブ内にドラッグアンドドロップをしたときは、移動は行われずに元の位置に戻ります。
- 移動したアイコンは、タブ内の最後に配置されます。
- 既に18個のアイコンが存在するタブに、アイコンを移動することはできません。

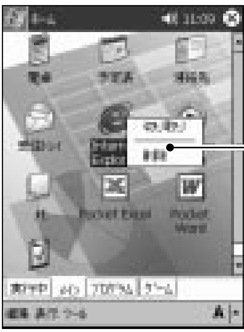
## アイコンの削除

**削除したいアイコンをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

**ポップアップメニューから「削除」をタップする**

アイコンが削除され、自動的に削除されたアイコンより後のものが一つずつ前に移動します。




タップするとアイコンが削除されます。

## アイコンの追加

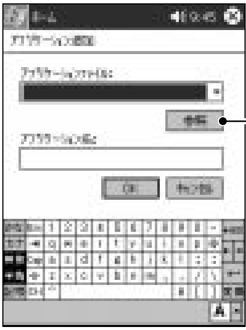
ホームのアイコンには、アプリケーションの他に、作成したファイルなども指定できます。

### 1 編集メニューから「追加」をタップする

「アプリケーション追加」の画面が表示されます。
「追加」は、アイコン以外の画面上をタップアンドホールドして表示されたポップアップメニューからも選べます。

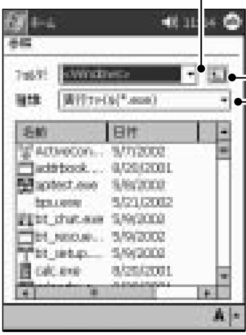
### 2 アプリケーションファイルを指定する

「アプリケーションファイル」の▼をタップすると、ファイルの一覧が表示されます。一覧にファイルがない場合は、「参照」で探してください。
ファイルを選ぶと、アプリケーションファイルボックスに選んだ名前が表示されます。



「参照」ボタンをタップすると、参照画面が表示され、すべてのフォルダやファイルが選べます。
後からインストールされたアプリケーションの多くはProgram Filesフォルダの下の階層にインストールされます。

### 参照画面について



タップすると参照するフォルダの指定ができます。メモリカードが差し込まれているとき、一番上の階層から、メモリカード内のファイルやフォルダを表示できます。

タップすると現在表示しているフォルダの上の階層に移動します。

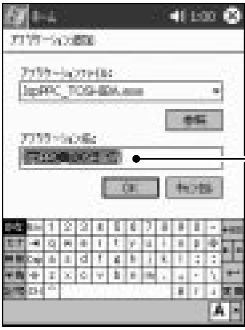
タップすると参照するアプリケーションやファイルなどの種類を選べます。

一覧から指定したいアプリケーションやファイルをタップすると、「アプリケーション追加」の画面に戻ります。

アイコンの追加（つづき）

### 3 アイコン名を入力する

ホームに表示するアイコン名を「アプリケーション名」に入力します。



必要に応じ、タップして名前を入力します。
アプリケーション名は、32文字まで入力できます。

### 4 「OK」をタップする

「アプリケーション追加」の画面が閉じ、アイコンが追加されます。

**お知らせ**

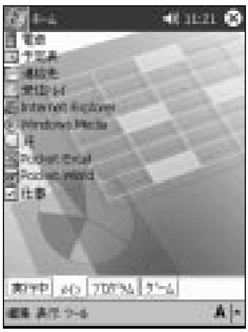
- 「アプリケーションファイル」を指定していないとアイコンを追加できません。また、アプリケーション名を入力していないときも、アイコンを追加できません。
- メモリカードから追加したアイコンは、同じメモリカードが差し込まれていないと起動することができません。

## アイコンの表示切り替え

アイコンの表示は、「表示」メニューから切り替えられます。
「大きいアイコン」と「小さいアイコン」を、お好みに合わせて選べます。



（例）大きいアイコン



（例）小さいアイコン

# タブの設定

タブの設定では、タブの追加、削除、タブ名の変更などが設定できます。また、タブの背景にお好みのビットマップ画像を設定することもできます。

## タブの切り替え

タブをタップすると、タブ画面が切り替わります。
初期状態では、「実行中」を含む、「メイン」、「プログラム」、「ゲーム」の4つのタブが登録されています。
ホームを割り当てたプログラムボタンを押しても、タブ画面を切り替えられます。

## タブの追加

### 1 「ツール」メニューから「タブの設定」をタップする



タップすると「タブの設定」の画面が表示されます。

タップすると「ホーム」のバージョン情報が表示されます。

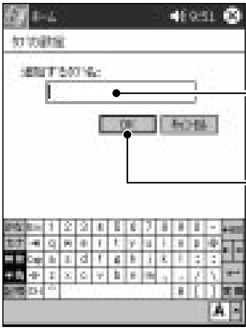
### 2 「タブの設定」の画面から「追加」をタップする



タップすると、新しいタブ名の入力画面が表示されます。

タブの設定（つづき）

### 3 新しいタブ名を入力し、「OK」をタップする



新しいタブ名を入力します。
● 入力できる文字数は10文字までです。

タップすると「タブの設定」の画面に戻ります。

### 4 「タブの設定」の画面で ok をタップする

「ホーム」の画面に戻ります。

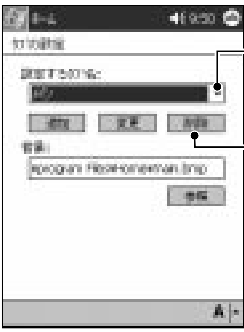
**お知らせ**

- タブは最大10個まで増やすことができます。

## タブの削除

### 1 「ツール」メニューから「タブの設定」をタップする

### 2 「タブの設定」の画面からタブ名を選び、「削除」をタップする



タップして削除したいタブを選びます。
●「実行中」タブは削除できません。

タップすると、削除確認の画面が表示されます。
● タブを削除するときはタブに含まれるアイコンもすべて削除されますので、ご注意ください。

### 3 削除確認のダイアログから「はい」をタップする

タブが削除され、「タブの設定」の画面に戻ります。

### 4 「タブの設定」の画面で ok をタップする

「ホーム」の画面に戻ります。

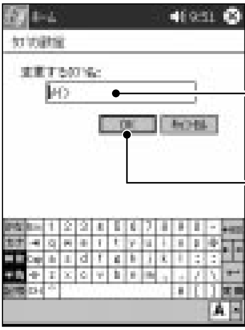
## タブ名の変更

**1 「ツール」メニューから「タブの設定」をタップする**

「タブの設定」の画面が表示されます。

**2 変更したいタブ名を選び、「変更」をタップする**

**3 新しいタブ名を入力し、「OK」をタップする**



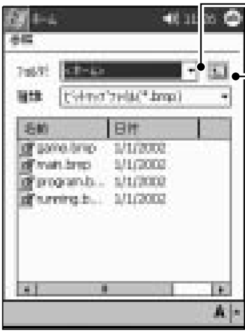

**4 「タブの設定」の画面で ok をタップする**

「ホーム」の画面に戻ります。

## 背景の設定

**1 「タブの設定」の画面から背景を設定するタブを選び、「参照」をタップする**

参照画面が表示されます。



タブの設定（つづき）

### 2 一覧から背景にしたいビットマップファイルをタップする

「タブの設定」の画面に戻ります。

### 3 「タブの設定」の画面でⓞⓚをタップする

「ホーム」の画面に戻ります。

**お知らせ**

- 選択したファイルの種類がビットマップではないものは、背景に設定できません。
- 背景に設定したビットマップ画像が、ホーム画面上に表示される範囲は、横240×縦246ドットです。

## 表示色の設定

「表示色」を使って、アプリケーション名の文字色をタブごとに設定できます。

### 1 色を設定したいタブをタップする

タブ画面が表示されます。

### 2 「表示」メニューから「表示色」をタップする

表示色の一覧が表示されます。



タップすると、お好みに合わせて色を設定できます。

### 3 設定したい色をタップする

タブ上のアプリケーション名の文字色が変わります。

# 7. データのバックアップ

SDメモリカードまたはCFメモリカードに、本体のデータをバックアップできます。バックアップしたデータは本体にリストア（復元）できます。また、メモリカード上のバックアップされたデータを削除することもできます。
重要なデータは、定期的にバックアップしておくことをお勧めします。

バックアップされるデータは、以下の3種類です。

- ファイル
  Pocket Word、Pocket Excel、メモなどで作成したファイルや追加インストールしたプログラムなど
- レジストリ
  OS (Pocket PC 2002)や内蔵プログラムの設定情報
- データベース
  Microsoft Pocket Outlookのデータベース情報

**ご注意**

- 「設定」のパスワードなど、復元されないデータがあります。リストアした後再度設定してください。
- バックアップやリストア、またはバックアップファイルを削除するときは、他の実行中のプログラムを終了させてください。また、バッテリの充電量が十分であることを確認するか、あるいは本体にAC アダプタを接続してから行ってください。
- バックアップ中やリストア中、またはバックアップファイルを削除しているときは、絶対に本体の電源を切ったりメモリカードを抜いたりしないでください。メモリカードや本体が破損し、使えなくなる場合があります。
- バックアップやリストアを行うときは、本体またはメモリカードの空き容量を確認してください。
- メモリカードがライトプロテクトされた状態（書込み禁止）になっていると、バックアップデータを書き込むことができません。書込み可能な状態にしてから、バックアップを行ってください。

これらの操作を誤ったときは、本体やメモリカードのデータが消失する場合があります。

## バックアップをとる

**1 メモリカードを入れる**

（参照 14、15ページ）

**2 「スタート」の「プログラム」から「データバックアップ」をタップする**

「データバックアップ」の画面が表示されます。

バックアップをとる（つづき）

## 3 バックアップの設定



ファイル名を入力します。

カード（CFカード）又はカード2（SDカード）を選択しタップします。

ここをタップするとバックアップを開始します。

## 4 「バックアップ」をタップする

バックアップが終了すると「バックアップ終了」のメッセージが表示されます。

## 5 ok をタップする

データバックアップの画面に戻ります。

## リストアをする

リストアをすると、メモリカードにバックアップしたデータを、本体メモリに復元（上書きコピー）します。
本体メモリにある新しいデータを消失する場合があるのでリストアをするときには十分に注意してください。

- 本体メモリに同じファイル名がある場合、バックアップファイルのデータに上書きされます。
- 本体メモリにあるファイルで、バックアップファイルにないものは、そのまま残ります。

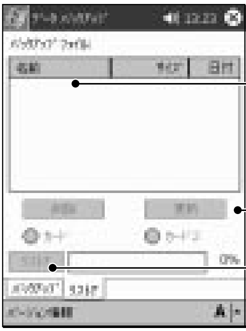


### 1 バックアップファイルが保存されているメモリカードを本体に入れる

### 2 「スタート」の「プログラム」から「データバックアップ」をタップする

「データバックアップ」の画面が表示されます。

### 3 「リストア」タブをタップする



リストアファイルリスト

カード（CFカード）またはカード2（SDカード）を選択しタップする

ここをタップするとリストアを開始

### 4 バックアップファイルリストよりリストアするファイルを選択する

### 5 「リストア」をタップする

リストアが終了するとリストア終了のメッセージが表示されます。

### 6 ok をタップする

Pocket PCはリセットされ自動的に再スタートします

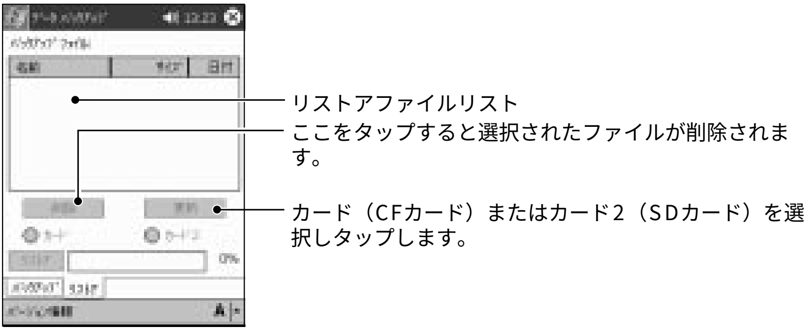
## バックアップファイルを削除または更新する

**1 削除または更新したいバックアップファイルが保存されているメモリカードを入れる**

**2 「スタート」の「プログラム」から「データバックアップ」をタップする**

「バックアップ」の画面が表示されます。

**3 「リストア」タブをタップする**




**4 リストアファイルリストより削除または更新するファイルを選択する**

**5 「削除」または「更新」をタップする**

削除または更新が実行されます。

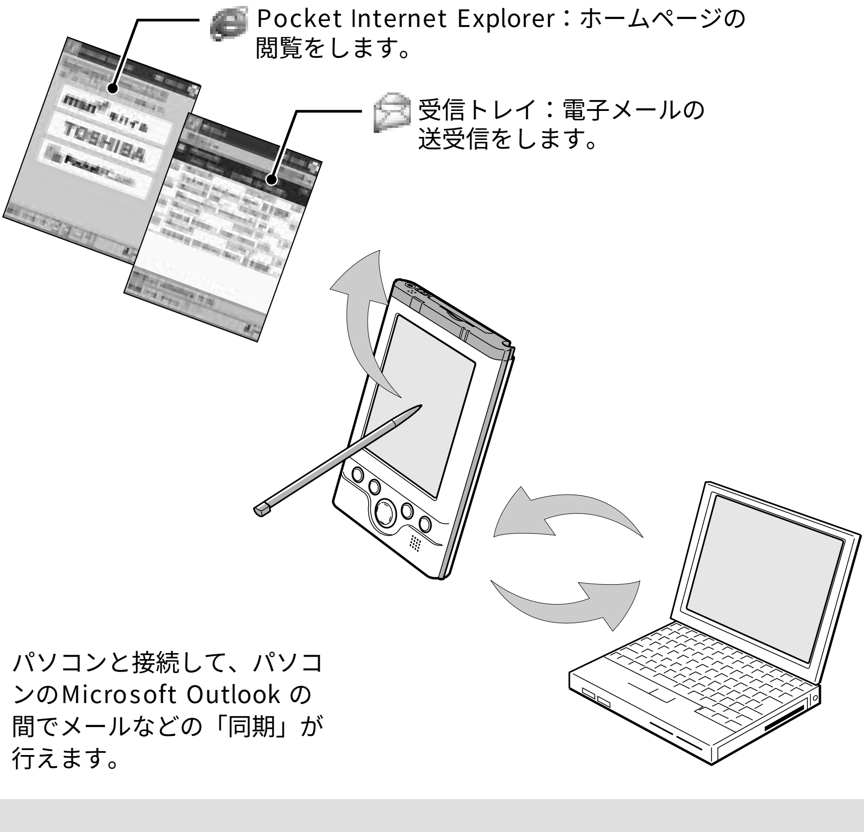
**6 ok をタップする（「削除」を行った場合のみ）**

データバックアップの画面に戻ります。

# 第3章

# インターネットの利用

**市販のモデムカードなどを接続して、移動先からでも
ホームページの閲覧、電子メールの送受信が可能になります。**



# 1. 設定

インターネットやメールを始めるには、市販のCFカードタイプの通信機器（モデムカードなど）、またはパソコンが必要です。また、ご加入のプロバイダの情報やネットワークの情報を本体に設定する必要があります。
市販の通信機器をお使いになる場合は、通信機器に添付されている説明書もご覧ください。
社内ネットワークをご利用になる場合は、ネットワーク管理者の指示にしたがってください。

## インターネットや電子メールの接続設定前の準備

**1 CFカードタイプの通信機器を使用する場合は、通信機器を本体にセットする**

**社内ネットワークを使用する場合は、パソコンと本体を接続する**

（参照 14、36ページ）をご覧ください。

## インターネットの接続設定(ダイヤルアップの場合)

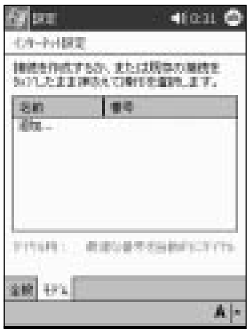
**1 「スタート」の「設定」から、「接続」タブの「接続」をタップする**

「接続」の画面が表示されます。



「変更」をタップして「インターネット設定」の画面を表示させます。

ダイヤルに関する詳細設定ができます。
使用する電話の種類を設定します。
詳しくは、ヘルプをご覧ください。



## ❷「インターネット設定」画面の、「追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。



この接続設定に内容がわかるような名前をつけます。

接続しているCFカード（接続）モデム等に合わせてモデムを選びます。

モデムの通信速度を設定します。

## ❸「詳細設定」をタップし、「ネームサーバー」タブをタップする



「指定されたサーバーアドレス」をタップします。

プロバイダからの指定により設定します。

「ポートの設定」タブ、「TCP/IP」タブの内容は、通常は変更の必要はありません。

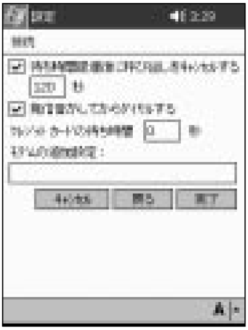
入力がすんだら、ⓞⓚをタップすると「新しい接続」画面に戻ります。

## ❹「次へ」をタップし、接続先の電話番号を入力する



接続先プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力します。

## 5 「次へ」をタップする



必要に応じて設定を変更します。

## 6 「完了」をタップする

「インターネット設定」の画面が表示されます。



作成した接続名の項目が追加されます。

## 7 ⓞⓚ をタップする

「接続」の画面が表示されます。



## 8 ⓞⓚ をタップする

「接続」の画面が閉じます。

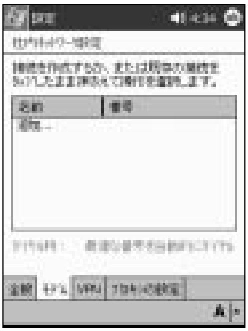
## インターネットの接続設定（社内ネットワークを利用する場合）

### 1 「スタート」の「設定」から、「接続」タブの「接続」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

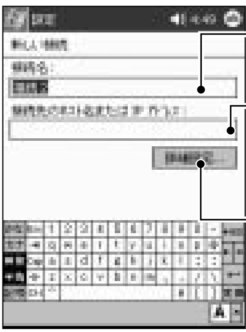


「変更」をタップして「社内ネットワーク設定」の画面を表示させます。



### 2 「VPN」タブをタップし、「追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。



この接続設定に内容がわかるような名前をつけます。

ホスト名またはIPアドレスを入力します。

特定のIPアドレスを入力するときタップします。

インターネット接続設定（社内ネットワークを利用する場合）（つづき）

## 3 設定を終えたら ok をタップする



作成した接続名の項目が追加されます。

必要に応じて「プロキシの設定」を行います。

## 4 設定を終えたら ok をタップする

「接続」の画面に戻ります。設定が終わったら、 ok をタップします。

**お知らせ**

- 設定内容を削除する場合は、名前をタップアンドホールドして、削除します。

## 受信トレイの接続設定

**1 「スタート」の「受信トレイ」をタップし、受信トレイを起動させる**

**2 「サービス」をタップして、「新しいサービス」をタップする**

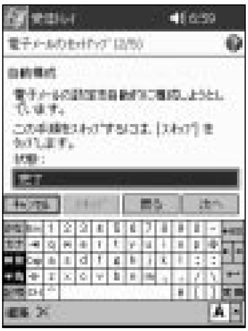
「電子メールのセットアップ」の画面が表示されます。



詳しくは、ヘルプをご覧ください。

メールアドレスを入力します。

**3 「次へ」をタップし、「完了」が出たら、「次へ」をタップする**



**4 「次へ」をタップし、ユーザー情報を入力する**



名前、ユーザー名、パスワードを入力します。

受信トレイの接続設定（つづき）

## 5 「次へ」をタップする



詳しくは、ヘルプをご覧ください。

POP3またはIMAP4のいずれかのサービスを選択します。

サービス名を入力します。

## 6 「次へ」をタップする



プロバイダから指定された、受信メールサーバーの名前を入力します。

プロバイダから指定された、送信メールサーバーの名前を入力します。

ネットワーク接続を使用している場合、指定されたドメイン名を入力します。

必要によりオプションを設定します。

## 7 「完了」をタップする

「受信トレイ」の画面に戻ります。

# 2. ホームページを見る

Pocket Internet Explorerを使ってホームページを閲覧できます。
ホームページを見るためにはインターネットの接続設定が必要です。設定していない場合は（参照 70ページ）をご覧になり、設定してください。

## インターネットに接続し、ホームページを見る

**1 通信機器を本体にセットするか、またはパソコンと本体を接続する**

**2 「スタート」から「Internet Explorer」をタップする**

Internet Explorerが起動します。




**3 「表示」メニューから「アドレスバー」をタップしアドレスバーを表示させ、ＵＲＬを入力して「移動」ボタンをタップする**



インターネットに接続し、ホームページを見る（つづき）

## 4 初めてインターネットに接続するときは、「ネットワークへのログオン」の画面が表示される

接続の設定が済んでいるときは、接続中の画面が表示されます。



プロバイダに接続するためのユーザ名とパスワードを入力します。

パスワードを保存するときは、ここをチェックします。

## 5 接続を切断するには

- ダイヤルアップまたはVPNを使用して接続しているときは、ナビゲーションバーの をタップし、「終了」をタップします。
- ケーブルまたはクレードルで接続しているときは、本体をケーブルまたはクレードルから取り外すか、画面下のコマンドバーの をタップして、「切断」をタップします。
- 赤外線で接続しているときは、本体をPCから離します。
- ネットワーク(Ethernet)カードで接続しているときは、カードを本体から取り外します。
- 内蔵無線LANで接続されているときは、ワイヤレスコミュニケーションスイッチをOFFにします。（無線LANモデルのみ）

## Pocket Internet Explorerについて




アドレスバー

「移動」ボタン

「表示」メニューを開きます。

「ツール」メニューを開きます。

 直前に表示していたページに戻ります。

 読み込み中の場合は読み込みを中止します。読み込み中でない場合は最新の状態に更新します。

 「ホームページ」（「ツール」メニューの「オプション」で設定したホームページ）に移動します。

 「お気に入り」に登録した、リンク先一覧が、表示されます。移動したいリンク先をタップすると、そのページに移動します。

 ページの画像を表示／非表示に切り替えられます。

### 「表示」メニュー

各項目をタップすると以下のようになります。

「次へ」.......................... 前に表示していたページを再び表示します。
「画面に合わせる」....... 本体の画面の幅に合わせてページを表示します。
「アドレスバー」........... タップすると、アドレスバーの表示／非表示を切り替えられます。
「文字のサイズ」........... 表示する文字の大きさを設定します。
「履歴」.......................... 過去に表示したリンク先の一覧画面を表示します。
「プロパティ」............... 表示しているページの情報を表示します。

Pocket Internet Explorerについて（つづき）

## 「ツール」メニュー

各項目をタップすると以下のようになります。

「電子メールからリンクを送る」...受信トレイが起動し、表示しているページのURLを載せたメッセージ作成画面が表示されます。受信トレイの使いかたは(参照 83ページ)をご覧ください。

「すべてのテキストを選択」...........すべてのテキスト文字を選択します。

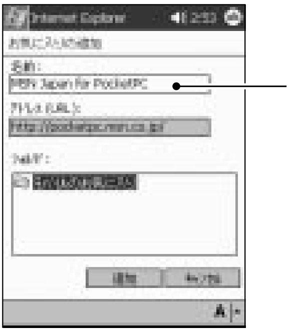
「オプション」.................................オプション設定画面を表示します。（参照 81ページ）をご覧ください。

## 「お気に入り」に追加するには

**1 お気に入りに追加したいページを表示中に、 をタップする**

**2 「追加／削除」タブをタップし、「追加」をタップする**

「お気に入りの追加」の画面が表示されます。




**3 ok をタップする**

「お気に入り」に追加され、操作１の画面に戻ります。

**お知らせ**

- 「お気に入り」から削除するには、「お気に入り」の一覧画面で「追加／削除」タブをタップして、削除したいリンク先を選んで「削除」をタップし、「はい」をタップします。

## 「オプション」設定について

「ツール」メニューから「オプション」を選択すると、下記の設定ができます。設定が終わったら ok をタップしてください。

「全般」タブ



現在表示中のページが ボタンをタップしたときに表示されるホームページとして設定されます。

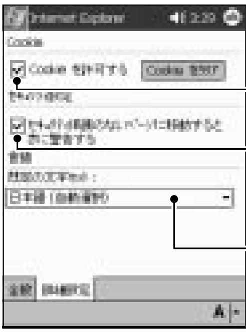
ホームページを初期設定に戻します。

履歴を消去します。

履歴を何日間保存するかを設定します。

インターネット一時ファイルを削除すると、メモリ残量を増やせます。

「詳細設定」タブ



Cookieを許可しない場合はチェックを外します。

セキュリティ保護のため、チェックを外さないことをお勧めします。

表示言語を選択できます。通常は「日本語（自動選択）」にしておいてください。

Pocket Internet Explorerについて（つづき）

### 閲覧できるホームページ

● Pocket Internet Explorerは、次の機能に対応しています。
　・HTML（Hyper Text Markup Language）レベル3.2に準拠
　・SSL 2.0/3.0
● Pocket Internet Explorerは、パソコン用のブラウザと比べると、機能が制限されています。
　・パソコン用のブラウザで閲覧することを前提に作られたホームページで、一部のホームページは表示できない場合があります。
　・プラグインを必要とするホームページは、利用できない場合があります。
　・ホームトレードページは、利用できない場合があります。

## パソコンのInternet Explorerとの同期について

### 「お気に入り」の同期について

パソコンでInternet Explorer 4.0以上を使用している場合は、本体をパソコンと接続して、パソコン上の「お気に入り」を同期することができます。

### 「モバイルのお気に入り」の同期について

本体とパソコンを接続して同期すると、パソコンのInternet Explorer 5.0（以上）で作成した「モバイルのお気に入り」がダウンロードされ、そのWebページを本体で見ることができます。

### 「モバイルチャンネル」の同期について

本体とパソコンを接続して同期すると、パソコンのInternet Explorer 5.0（以上）を使って購読した「モバイルチャンネル」がダウンロードされ、そのWebページを本体で見ることができます。

**お知らせ**

● 本体とパソコンの接続のしかたは（ 参照 36ページ）をご覧ください。
● 本体とパソコンとの各種データの同期について、詳しくはActiveSyncのヘルプをご覧ください。
●「お気に入り」、「モバイルのお気に入り」、「モバイルチャンネル」について、詳しくはPocket Internet Explorerのヘルプをご覧ください。

# 3. メールを送受信する

メールを送受信するには、Microsoft Pocket Outlookの「受信トレイ」を使います。メールの送受信には、メールの接続設定が必要です。設定していない場合は（参照 75ページ）をご覧になり、設定してください。

## 新規にメールを作成し、送信する

### 1 「スタート」から「受信トレイ」をタップする

「受信トレイ」の一覧画面が表示されます。

### 2 メールの送信に利用するサービスを選ぶ



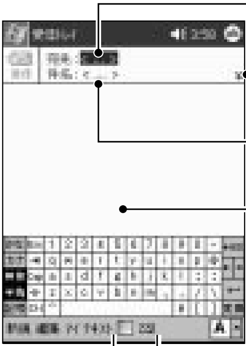

ここをタップし、利用するサービスを選びます。

### 3 「新規」をタップする

メッセージの作成画面が表示されます。

新規にメールを作成し、送信する（つづき）

## 4 「宛先」、「件名」を入力し、本文を入力する




 ..............「宛先」または「CC」、「BCC」が入力できる状態でこのボタンをタップすると、電子メールのアドレス一覧が表示されます。送信先にしたいアドレスをタップすると、宛先に選んだアドレスが入力されます。
ここで表示されるアドレス一覧は、「連絡先」で登録した電子メールアドレスの一覧です。

 .............. このボタンをタップすると、録音ツールバーが表示され音声を添付ファイルとして送信できます。

## 5 「送信」をタップする

作成したメッセージは保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。
「送信」をタップしないでを ok タップすると、「下書き」フォルダに保存されます。このメッセージを送信するには、一度メッセージを表示させてから「送信」をタップしてください。

## 6 メールサーバーに接続する

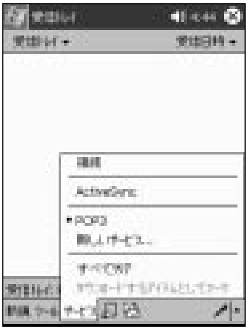
メールサーバーへの接続のしかたは次ページをご覧ください。
「送信トレイ」フォルダにあるメッセージが送信されます。

## メールサーバーに接続する

メールサーバーに接続すると、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信し、メールサーバーにある未読メールが「受信トレイ」フォルダに入ります。

### 1 通信機器を本体にセットするか、またはパソコンと本体を接続する

### 2 「サービス」メニューから接続に使うサービス名をタップする




ここに登録したサービス名が表示されます。
(参照 75ページ)
お使いになるサービスをタップして選びます。

### 3 「接続」をタップする

接続するためのパスワード入力画面が表示されます。

### 4 接続のパスワードを入力し、「接続開始」をタップする

接続が開始されます。
メールサーバーへの接続が完了すると、「送信トレイ」フォルダに入っているメールが送信され、メールサーバーにある未読メールが「受信トレイ」フォルダに入ります。

### 5 メールの送受信が完了したら、「サービス」メニューから「切断」をタップする

メールサーバーへの接続が切断されます。

**お知らせ**

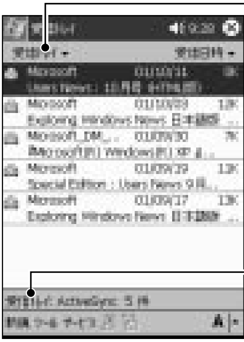
- 切断できていない場合は、「スタート」から「Today」をタップして「Today」画面を表示させ、接続アイコンをタップし、表示したダイアログの「切断」をタップします。

# メールを見る／返信する／転送する

## メールを見る

### 1 「スタート」から「受信トレイ」をタップする

「受信トレイ」の一覧画面が表示されます。



別のサービスの受信メールを見る場合は、ここをタップして、見たいサービスの「受信トレイ」フォルダを選びます。

現在選択している「受信トレイ」フォルダのサービス名が表示されます。

### 2 見たいメールをタップする

メッセージの内容が表示されます。



受信トレイの一覧画面に戻るには、ⓞⓚをタップします。

### メールを返信／転送する

**1 「メールを見る」の操作1、2に従って、メッセージの内容を表示する**

**2 をタップし、「返信」、「全員に返信」または「転送」をタップする**



- ●「転送」をタップしたときは、転送先（宛先）を入力してください。
- ●「全員へ返信」をタップすると、差出人だけでなく同じメールを受信した全員を宛先にできます。（CCに指定されます。）
- ●「返信」をタップすると、差出人を宛先にしたメッセージ作成画面になります。

**3 返信または転送のメッセージを入力する**

**4 「送信」をタップする**

作成したメッセージは保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。
送信するには、メールサーバーへ接続してください。

**お知らせ**

- ● 受信トレイの一覧画面で、返信または転送したいメールをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、「返信」、「全員に返信」、「転送」が選べます。

## メールを整理する

### 新規フォルダを作成する

メールを整理して保存するために、新規にフォルダを作成することができます。

### 1 「ツール」メニューから「フォルダの管理」をタップし、その下にフォルダを作成したいフォルダをタップする



ここをタップして、新しいフォルダを作成します。

### 2 「新規」をタップする

フォルダ名を入力する画面が表示されます。

### 3 フォルダ名を入力し、ok をタップする

フォルダが作成され、元の画面に戻ります。

**お知らせ**

- 作成したフォルダは「名前の変更」をタップすると名前の変更ができます。「 」をタップすると、削除ができます。

## メールを削除する

### 1 受信トレイの一覧画面で、削除したいメールをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 「削除」をタップする

選んだメールは、「削除済みアイテム（ローカル）」フォルダに移動します。

**お知らせ**

- 「削除済みアイテム（ローカル）」フォルダ内のメールを完全に削除するには、「ツール」メニューの「削除済みアイテムを空にする」をタップします。また、「削除済みアイテム（ローカル）」フォルダ内のメールは、「受信トレイ」が終了すると自動的に削除されます。

### メールを移動する

**1 受信トレイの一覧画面で、移動したいメールをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

**2 「フォルダへ移動」をタップする**

移動先またはコピー先のフォルダを指定する画面になります。

**3 移動先のフォルダをタップし、ok をタップする**

指定したフォルダにメールが移動されます。

**お知らせ**

- 別のサービスのフォルダには移動できません。

## パソコンの「受信トレイ」と同期する

パソコンの「受信トレイ」との同期について
本体をパソコンと接続して、パソコン上のOutlookの「受信トレイ」と同期することができます。具体的には次のようになります。

- パソコン側に新着メールがある場合は、本体の「受信トレイ」フォルダにその新着メールがコピーされます。
- 本体側で削除したメールは、パソコン側でも削除されます。
- 本体のActiveSyncサービスの「送信トレイ」フォルダに入れた新規作成メールは、パソコン側の「送信トレイ」フォルダにコピーされます。

**お知らせ**

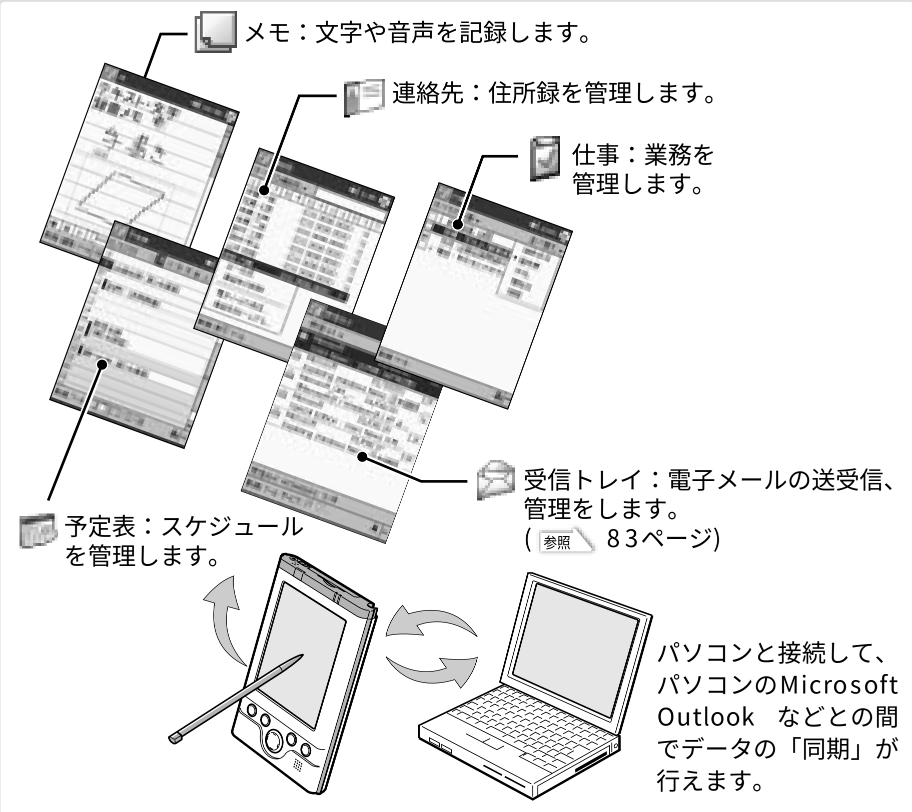
- 本体とパソコンの接続のしかたは（36ページ）をご覧ください。
  本体とパソコンとの各種データの同期について、詳しくはActiveSyncのヘルプをご覧ください。パソコン上のMicrosoft Outlookのヘルプもあわせてご覧ください。

# 第4章

# 個人情報の管理

## Microsoft Pocket Outlook

**Microsoft Pocket Outlook の「予定表」、「連絡先」、「仕事」、「メモ」、「受信トレイ」を使用して個人情報を管理します。**



# 1.「予定表」の作成と使いかた

予定や会議などのスケジュールを管理します。日、週、月、年単位の表示や、アラーム機能などが使えます。

## 新規に予定を入力する

### 1 「スタート」から「予定表」をタップする

「予定表」の一覧画面が表示されます。

### 2 画面左下の「新規」をタップする

予定の入力画面が表示されます。



件名欄をタップして件名を入力します。
▼をタップしてプルダウンメニューを開くと、登録してある件名の一覧から選べます。

▼をタップすると、今までに入力した場所の一覧が表示されます。

予定時刻のどれぐらい前にアラームを鳴らすかを設定します。

### 3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネル（キーボードパネルなど）で入力項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンの「A」（または「あ」）をタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップすると、メモ入力や音声入力ができます。入力のしかたは（参照 28ページ、100ページ）をご覧ください。

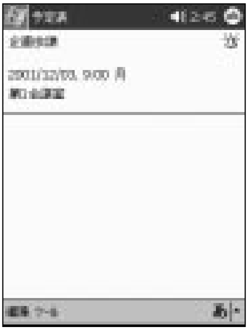
### 4 ok をタップする

入力した予定が保存され、「予定表」の一覧画面に戻ります。

## 入力済みの予定を変更する

**1 予定の表示画面（計画表表示／日単位表示）で、変更したい予定をタップする**

予定の概要画面が表示されます。



**2 「編集」をタップする**

項目内容の変更ができます。



メモを変更するときはここをタップします。
メモの入力画面が表示され､内容の変更ができます。

**3 ok をタップする**

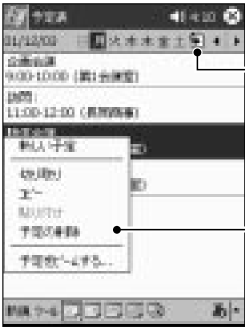
予定が保存され、もとの画面（計画表表示／日単位表示）に戻ります。

# 予定表の表示画面を切り替える

各種予定表の表示は、画面下のコマンドバーのボタンをタップして切り替えます。


**画面下のコマンドバーのボタン**

## 計画表表示



をタップすると今日の予定が表示されます。
予定項目をタップすると予定の概要画面が表示されます。

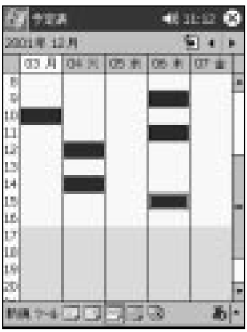
予定項目をタップアンドホールドするとポップアップメニューが表示され、コピー削除などの操作ができます。

## 日単位表示

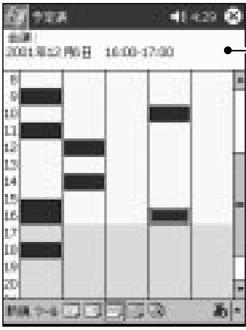


予定項目をタップすると予定の概要画面が表示されます。

## 週単位表示

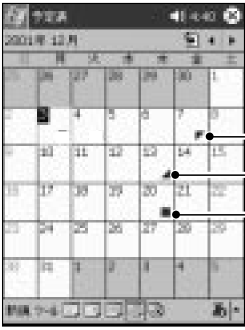


予定項目をタップすると、画面上部に予定の概要項目が表示されます。



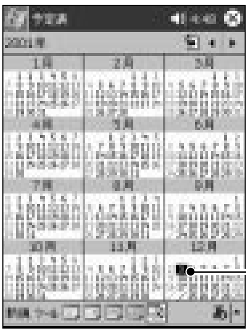
**予定の概要項目**
予定概要項目をタップすると、予定の概要画面が表示されます。

## 月間カレンダー



午前に予定があることを示します。
午後に予定があることを示します。
午前と午後に予定があることを示します。

## 年間カレンダー



今日の日付が反転表示されます。

# 2.「連絡先」の入力と編集

名前・電話番号・電子メールアドレス・住所などの各種情報を管理します。

## 新規に連絡先を入力する

**1 「スタート」から「連絡先」をタップする**

「連絡先」の一覧画面が表示されます。

**2 「新規」をタップする**

「連絡先」の入力画面が表示されます。



「姓」、「名」の欄にひらがなを入力して変換し確定すると、「フリガナ」の欄に自動的にフリガナが表示されます。

**3 入力したい項目をタップして入力する**

- 入力パネル（キーボードパネルなど）で入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンの「あ」（または「A」）をタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップするとメモ入力や音声入力ができます。入力のしかたは（参照 28ページ、100ページ）をご覧ください。

**4 ok をタップする**

入力した連絡先が保存され、「連絡先」の一覧画面に戻ります。

## 連絡先を変更する

### 1 「連絡先」の一覧画面で、変更したい連絡先の名前をタップする

「連絡先」の概要画面が表示されます。



メモを変更するときはここをタップします。
メモの入力画面が表示され､内容の変更ができます。

### 2 「編集」をタップする

項目内容の変更ができます。

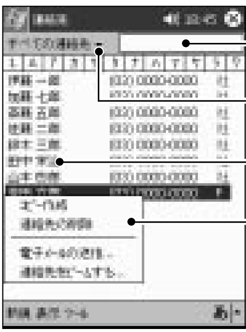
### 3 ok をタップする

変更した連絡先が保存され、「連絡先」の一覧画面に戻ります。

## 連絡先の一覧を表示する

### 1 「スタート」から「連絡先」をタップする

「連絡先」の一覧画面が表示されます。



ここに入力した文字が含まれる姓・名を探して表示します。

「すべての連絡先▼」をタップすると、分類（会社別、個人別など）を選べます。

人名をタップすると、「連絡先」の概要画面が表示されます。

人名をタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、コピー、削除などの操作ができます。

# 3.「仕事」の管理

仕事の進行状況や期限、優先度などの作業管理をします。

## 新規に仕事を入力する

### 1 「スタート」から「仕事」をタップする

「仕事」の一覧画面が表示されます。

### 2 「新規」をタップする

「仕事」の入力画面が表示されます。



件名欄をタップして仕事名を入力します。
▼をタップしてプルダウンメニューを開くと、登録してある仕事名の一覧から選べます。

メモを変更するときはここをタップします。
メモの入力画面が表示され､内容の変更ができます。

### 3 入力したい項目をタップして入力する

入力パネル（キーボードパネルなど）で入力項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンの「A」（または「あ」）をタップして、入力パネルを非表示にします。

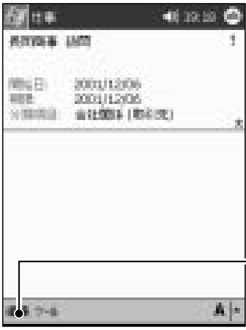
### 4 ok をタップする

入力した仕事名が保存され、「仕事」の一覧画面に戻ります。

## 入力済みの仕事を変更する

### 1 「仕事」の一覧画面で、変更したい仕事をタップする

「仕事」の概要画面が表示されます。



タップすると、「仕事」の入力画面が表示されます。

### 2 「編集」をタップする

- 項目内容の変更ができます。
- メモを変更するときは「メモ」タブをタップします。
  メモの入力画面が表示され、内容の変更ができます。

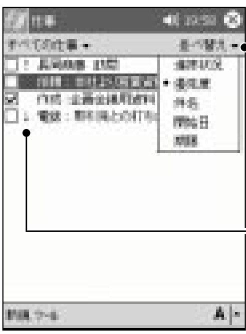
### 3 ok をタップする

変更した仕事が保存され、「仕事」の一覧画面に戻ります。

## 仕事の一覧を表示する

### 1 「スタート」から「仕事」をタップする

「仕事」の一覧画面が表示されます。



「優先度」をタップすると、仕事一覧の表示順を選べます。

- 「全ての仕事▼」をタップすると、分類（会社別、個人別など）を選べます。
- 「仕事」をタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、コピー、削除などの操作ができます。

····優先度「高」

····優先度「低」

····終了した仕事

# 4.「メモ」の作成と使いかた

文字や図をすばやく手書きしたり、「メモ」の中に音声を録音することもできます。

## メモを入力する

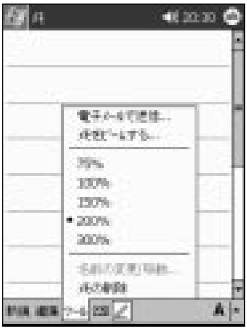
### 1 「スタート」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。

● メモが一つもないときは、新規のメモ入力画面が表示されます。

### 2 「新規」をタップする

「メモ」の入力画面が表示されます。



● 画面下の「ツール」をタップして、「ツール」のメニューを表示し、画面の表示サイズを切り替えることができます。

● 画面下の をタップすると「手書き入力モード」と「文字入力モード」が、交互に切り替わります。

### 3 スタイラスで、画面に直接手書き入力する

● 罫線に沿って手書きしたメモは、画面を「文字入力モード」に切り替えたときに、切取り／コピー／貼り付けの「編集」ができます。

● 罫線を3本以上またがったメモは、描画として認識され、その範囲が破線で示されます。




「手書き入力モード」画面は罫線が表示されます。

### 4 ⓞⓚをタップする

内容が保存され、「メモ」の一覧画面に戻ります。
メモのファイル名は「メモ1」、「メモ2」…と自動的に付けられます。

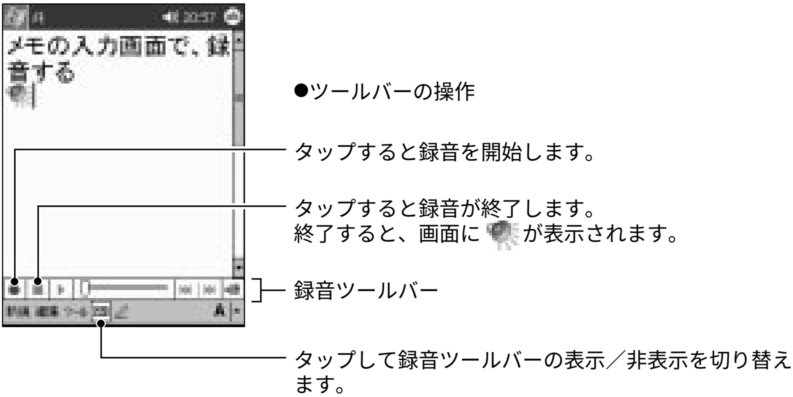
**お知らせ**

- 「メモ」では「手書き（フリーハンド）入力モード」と「文字入力モード」が選べます。「文字入力モード」については（28ページ）をご覧ください。

## 録音する

### 1 「メモ」の入力画面で をタップする

録音ツールバーが表示されます。




### 2 録音する

- 録音ツールバーの「●」をタップすると録音を開始します。
- 「■」をタップすると録音を終了し、画面に が表示されます。
- 録音した音声を再生するには、 をタップします。

### 3 ⓞⓚをタップする

音声が保存され、「メモ」の表示画面に戻ります。
録音のファイル名は「メモ1」、「メモ2」…と自動的に付けられます。

**お知らせ**

- 「メモ」の入力画面では、同じファイルにメモと録音ができます。
- 録音ツールバー以外でも、本体左側面の録音ボタンを使って録音できます。録音ボタンを押している間に録音が行われ、ボタンを離すと終了します。このときのファイル名は「録音1」、「録音2」…と自動的に付けられます。
- マイクの位置は本体上部にあります。（参照 2ページ）
録音するときは、マイクを音源に近づけてください。

第4章
4・「メモ」の作成と使いかた

## メモの一覧を表示する

### 1 「スタート」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。



メモファイルをタップすると「メモ」の内容が表示されます。表示した「メモ」の内容を変更できます。

タップして表示順を選択します。

音声ファイルをタップすると、音声が再生されます。

**お知らせ**

- 「メモ」の入力画面で録音した音声は、音声のみであっても（メモファイル）のアイコンで表示されます。
- 「メモ」の入力画面以外で録音した音声はのアイコンで表示されます。

## ファイル名を変更／ファイルを削除する

### 1 「スタート」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。

### 2 変更または削除したいファイル名をタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。



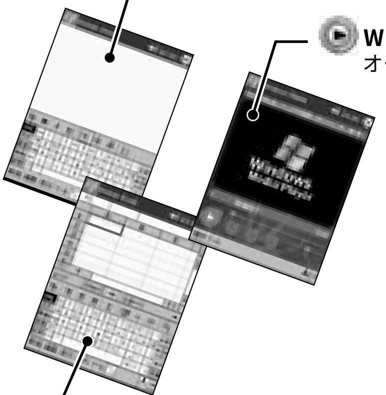
- ファイル名の変更は、メニューから「名前の変更／移動」をタップします。
- 削除するときは、メニューから削除をタップします。

変更と削除では操作方法が異なります。
それぞれ画面に従って操作してください。

# 第5章

# アプリケーションプログラム

**Word、Excel、メディアプレーヤー、辞書、トラベルナビゲータ、Acrobat Reader、IA Presenter、IA Screen Mirror、T-Timeのアプリケーションを付属しています。**



**Microsoft Pocket Word：**文書作成をします。

**Windows Media Player：**
オーディオやビデオを再生します。

**JRトラベルナビゲータ（＊）：**
鉄道や空港の乗り継ぎ経路を探索します。

**T-Time（＊）：**
電子本を表示できます。

**辞スパ（＊）：**
英和、和英、国語辞書があります。

**IA Presenter（＊）：**
Microsoft Power PointのスライドをPocket PCで表示します。

**IA Screen Mirror（＊）：**
Pocket PCの画面を外部のプロジェクタやモニタに表示できます。

**Acrobat Reader（＊）：**
PDFデータを表示できます。

**Microsoft Pocket Excel：**
表計算をします。

Word、Excelなどのデータは、パソコンとの間でデータの「同期」が行えます。

● 上記（＊）印のプログラムは、付属のコンパニオンCDに収められています。
インストール方法は、コンパニオンCDをご覧ください。

# 1. Microsoft Pocket Word

Pocket Wordを使って、文字のタイプ入力や手書き入力、描画、録音などができます。またActiveSyncを使って本体のPocket WordファイルをパソコンのWordで開いたり、パソコンのWordファイルやテキストファイルを本体のPocket Wordで開くことができます。

お知らせ

- ActiveSyncを使ってデータを送受信するときは、ActiveSyncの設定が必要です。
  ActiveSyncについては、（参照 37ページ）をご覧ください。
- 本章では、Pocket Wordの基本操作を説明します。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

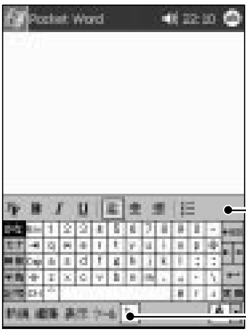
## 文書を作成する

**1 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Word」をタップする**

「Pocket Word」文書ファイルの一覧画面が表示されます。
文書ファイルが一つもないときは、新規の文書の入力画面が表示されます。
操作3へお進みください。

**2 画面の左下の「新規」をタップする**

文書の入力画面が表示されます。




ツールバー

入力パネル

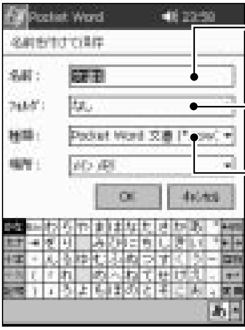
をタップするとツールバーの表示／非表示を切り替えられます。

**3 文書を入力する**

**4 画面下の「ツール」メニューから「文書に名前を付けて保存」をタップする**

「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

## 5 ファイル名やファイル形式などを入力する




新規のときは作成した文書の先頭の文字列が表示されます。

保存するフォルダを選びます。

ファイルの形式を選びます。

## 6 「OK」をタップする

作成した文書が保存され、文書の入力画面に戻ります。

**お知らせ**

- 電子メールで添付ファイルとして送信する場合は、送信先の環境に応じたファイル形式で保存してください。Pocket Word形式（.psw）で保存したファイルは、パソコン上のWordのバージョンによっては読み込めない場合があります。
- ファイルの一覧画面に表示されるファイルのアイコンは次のファイル形式を表わします。

····Pocket Word形式（.psw)、リッチテキスト形式（.rtf)、Word97/98J/2000/2002形式（.doc）Word6.0/95形式（.doc）

····テキスト形式（.txt）

····Word97/98J/2000/2002テンプレート形式（.dot)、Word6.0/95テンプレート形式（.dot）文書を変更する

## 文書を変更する

### 1 文書ファイルの一覧画面で、変更したいファイルをタップする




タップすると、ファイルの表示順を並び替えることができます。

● ファイルをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、様々な操作が行えます。

### 2 開いたファイルの内容を変更する

### 3 ⓞⓚ をタップする

同じファイル名に上書き保存されます。
ファイル名やファイル形式を変更したいときは、「ツール」メニューから「文書に名前を付けて保存」をタップして、保存します。

## 文書の作成・編集の入力モードについて

●「手書き」、「描画」、「入力」、「録音」の４つのモードがあります。
● 文書の入力画面で、「表示」メニューをタップして、入力モードを選びます。



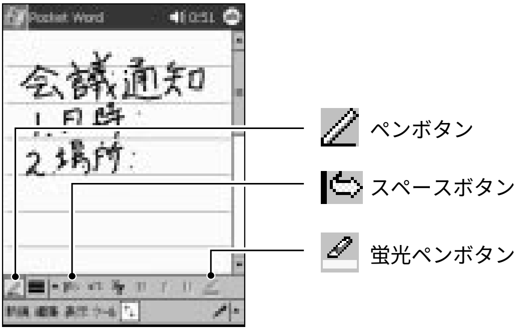

をタップするとツールバーの表示／非表示を切り替えられます。

## 手書きモードを使う

### 1 文書の入力画面で、「表示」メニューから「手書き」をタップする

手書き入力モード画面が表示されます。

### 2 手書き入力をする




- 画面左下の「ペンボタン」をタップして、「ペンボタン」の（枠あり）／（枠なし）を切り替えます。

（枠あり）･･･スタイラスを使って画面に手書きができます。罫線3列以上にまたがって手書きすると、図形として認識されます。図形は描画モードで編集します。

（枠なし）･･･手書き済みの文字をドラッグして選択（反転表示）できます。選択した文字は、ツールバーの各ボタンを使って書式を変更することができます。

- スペースボタンを使う
  画面上をドラッグして、手書き文字の間にスペースを入れたり削除したりできます。スペースボタンをタップして枠ありにしてから、スペースを入れたい場所をタップし、ドラッグします。ドラッグ方向に矢印が表示されますので、その長さでスペースの挿入量を確認してください。削除するときはスペースを入れたときと逆向きにドラッグします。

- 蛍光ペンボタンを使う
  手書きした文字をドラッグして反転させ、蛍光ペンボタンをタップすると、蛍光ペンでマークしたようになります。

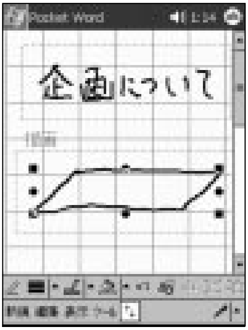
文書の作成・編集の入力モードについて（つづき）

## 描画モードを使う

### 1 文書の入力画面で、「表示」メニューから「描画」をタップする

描画モード画面に切り替わり、画面上に格子状のグリッドラインが表示されます。

### 2 図形を描く




画面下のペンボタンをタップして、次のように描画モードを切り替えます。

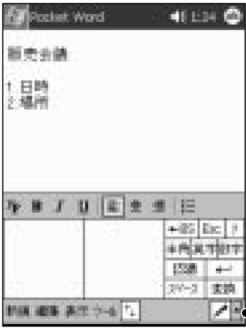
（枠あり）・・・スタイラスを使って画面に図形が描けます。

（枠なし）・・・タップして図形を選択できます。ドラッグすると複数の図形をまとめて選択できます。選択した図形は、「■」の部分をドラッグして変形させることができます。「●」の部分をドラッグすると回転します。図形の内側をドラッグすると移動します。

## 入力モードを使う

### 1 文書の入力画面で、「表示」メニューから「入力」をタップする

入力画面が表示されます。




▲をタップして入力モードを表示します。

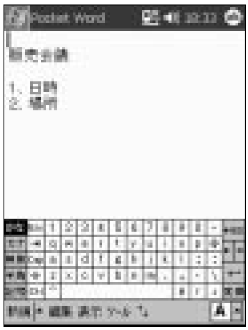
### 2 入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「入力」モードを選択する

「入力」モードには、「ひらがな／カタカナ」、「ローマ字／かな」、「手書き検索」、「手書き入力」の4つの入力方法があります。

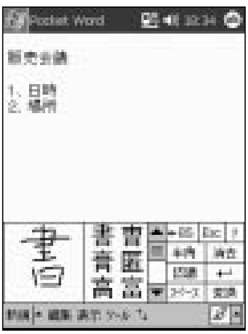
「ひらがな／カタカナ」



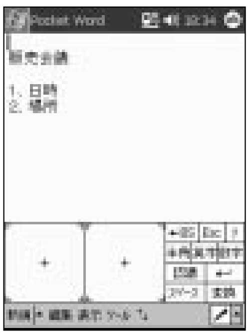

「ローマ字／かな」




「手書き検索」




「手書き入力」



文書の作成・編集の入力モードについて（つづき）

### 3 文字を入力する

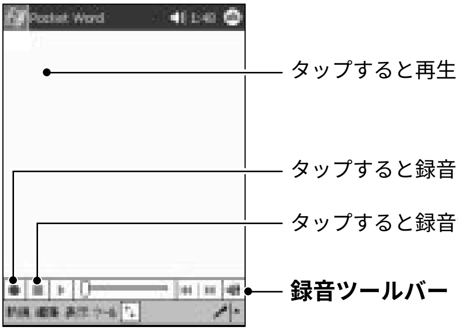
**お知らせ**

- 文字入力の詳細については、「文字の入力のしかた」（参照 28ページ）をご覧ください。

## 録音モードを使う

### 1 文書の入力画面で、「表示」メニューから「録音」をタップする

録音入力画面が表示されます。




### 2 録音する

- 録音ツールバーの「●」をタップすると録音を開始します。
- 「■」をタップすると録音を終了し、画面に（スピーカーアイコン）が表示されます。
- 録音した音声を再生するには、（スピーカーアイコン）をタップします。

## 文書ファイルを電子メールで送信する

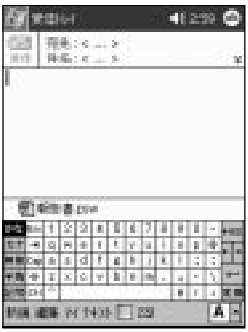
### 1 文書ファイル一覧画面で、送信したい文書ファイルをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。




### 2 ポップアップメニューの「電子メールで送信」をタップする

「受信トレイ」が起動して、選択した文書ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。



### 3 メッセージを完成させ、送信する

送信のしかたは「メールを送受信する」（83ページ）をご覧ください。

**お知らせ**

- 送信する相手の環境に応じたファイル形式で送信してください。

## パソコンとの間でのファイル交換について

本体とパソコンを接続し、ActiveSyncを使って、本体とパソコンとの間でファイルの交換ができます。
ファイルの交換によってファイル形式などが次のようになります。

- 本体からパソコンへ文書ファイルを転送すると、Pocket Word形式（.psw）からWord形式（.doc）に変換されます。
- パソコンから本体へ文書ファイルを転送すると、Word形式（.doc）からPocket Word形式（.psw）に変換されます。
  - ・ページ設定、脚注、罫線などの情報は削除されます。
  - ・文書に保存されているマクロやハイパーリンクは削除されます。
  - ・文書に挿入してあるExcelワークシートのオブジェクトは図に変換されます。

**お知らせ**

- 本体とパソコンとの接続のしかたは（36ページ）をご覧ください。
- 本体とパソコンとの間でのファイル交換について、詳しくはActiveSyncのヘルプをご覧ください。

# 2. Microsoft Pocket Excel

## 「Pocket Excel」ファイルを作成する

### 1 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Excel」をタップする

「Pocket Excel」のファイルの一覧画面が表示されます。
ファイル（ブック）が一つもないときは、新規の入力画面が表示されます。
操作3へお進みください。

### 2 「新規」をタップする

入力画面が表示されます。



### 3 入力する

- 入力するには入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、入力パネルを選択します。
- 入力パネルの表示／非表示は入力パネル表示ボタンの「A」（または「あ」）をタップします。

### 4 「ツール」メニューから「ブックに名前を付けて保存」をタップする

「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

「Pocket Excel」ファイルを作成する（つづき）

### 5 ファイル名やファイル形式などを入力する



ファイル名やファイル形式を入力します。

### 6 「OK」をタップする

作成したファイルが保存され、元の画面に戻ります。

**お知らせ**

- 電子メールで添付ファイルとして送信する場合は、送信先の環境に応じたファイル形式で保存してください。Pocket Excelブック形式（.pxl）で保存したファイルは、パソコン上のExcelのバージョンによっては読み込めない場合があります。
- ファイルの一覧画面に表示されるファイルのアイコンは以下のファイル形式を表わします。

････Pocket Excel形式（.pxl）、Excel97/2000/2002形式（.xls）、Excel5.0/95形式（.xls）

････Pocket Excelテンプレート形式（.pxt）、Excel97/2000/2002テンプレート形式（.xlt）、Excel5.0/95テンプレート形式（.xlt）

## ファイルを変更する

**1 ファイルの一覧画面で、変更したいファイルをタップする**

選んだファイルが開きます。

**2 内容を変更する**

**3 画面右上の ok をタップする**

同じファイル名に上書き保存されます。
ファイル名やファイル形式を変更したいときは、「ツール」メニューから、「ブックに名前を付けて保存」をタップして保存します。

## テンプレートを利用する

新規ファイルを作成するとき、あらかじめ用意されているテンプレートを利用すると便利です。

**1 ファイルの一覧画面で、「ツール」メニューから「オプション」をタップする**

「オプション」の画面が表示されます。

**2 「新しいブックのテンプレート」入力欄の▼をタップし、表示された一覧から使いたいテンプレートをタップする**




**3 ok をタップする**

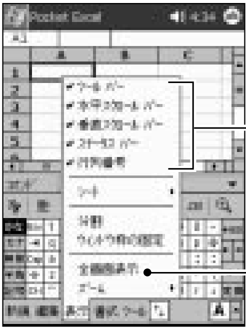
ファイルの一覧画面に戻ります。
これ以降「新規」をタップするたびに、選択されたテンプレートが開きます。

## 画面表示を設定する

入力画面で、入力しやすいように「ツールバー」や「スクロールバー」、「行列番号」の画面表示/非表示などを設定できます。

### 1 入力画面で「表示」メニューをタップする

「表示」のメニューが開きます。目的の項目をタップしてください。




## パスワードを設定する

他人に見られたくないファイルにはパスワードの設定ができます。

### 1 入力画面で「編集」メニューをタップする

「編集」メニューが開きます。

### 2 「パスワード」をタップする

「パスワードの設定／変更」の画面が表示されます。
現在、作成・編集中のファイルの「パスワード」を設定します。
パスワードが設定されているファイルは、開くときにパスワードの入力が必要になり、閲覧を制限できます。

### 3 パスワードを設定し、ok をタップする

**ご注意**

- パスワードを忘れると、ファイルが開けなくなりますので、ご注意ください。パスワードは忘れないように控えておいてください。

## ファイルを電子メールで送信する

### 1 ファイルの一覧画面で、送信したいファイルをタップアンドホールドする

選択したファイルのポップアップメニューが表示されます。

### 2 ポップアップメニューの「電子メールで送信」をタップする

「受信トレイ」が起動して、選択した文書ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。

### 3 メッセージを完成させ、送信する

送信のしかたは「メールを送受信する」（参照 83ページ）をご覧ください。

## パソコンとの間でのファイル交換について

本体とパソコンを接続し、ActiveSyncを使って、本体とパソコンとの間でファイルの交換ができます。
ファイルの交換によってファイル形式などが以下のようになります。

- 本体からパソコンへ文書ファイルを転送すると、Pocket Excel形式（.pxl）からExcel形式（.xls）に変換されます。
- パソコンから本体へ文書ファイルを転送すると、Excel形式（.xls）からPocket Excel形式（.pxl）に変換されます。
  - ・罫線はすべて１本線の罫線に変換されます。
  - ・グラフ、マクロシート、VBAモジュール、ダイアログシートは空白のワークシートに置き換えられます。
  - ・Pocket Excelがサポートしていない式は、値に変換されます。
  - ・次の情報は削除されます。
    アドイン､描画オブジェクト、OLEオブジェクト、グラフ、シート（ブック）の保護、オートフィルタ、ハイパーリンク

**お知らせ**

- 本体とパソコンとの接続のしかたは（参照 36ページ）をご覧ください。
- 本体とパソコンとの間でのファイル変換について、詳しくはActiveSyncのヘルプをご覧ください。

# 3. Windows Media Player

「Windows Media Player」では、ＭＰ3形式または「Windows Media Audio」形式のオーディオファイル（曲）や「Windows Media Video（WMV）」形式のビデオファイル（動画）を再生できます。
オーディオファイルやビデオファイルは、パソコンから本体やメモリカードに「ActiveSync」を使って転送します。転送先はMy Documentsフォルダです。メモリカードには、あらかじめMy Documentsフォルダを作成しておいてください。転送時にはパソコンにWindows Media Player 7以降のソフトをインストールしておく必要があります。

## プレーヤー画面の操作について

### 「スタート」から「Windows Media」をタップする

「Windows Media Player」のプレーヤー画面が表示されます。
再生の操作はこの画面から行います。




**お知らせ**

- 音楽配信サービスなどで利用されるSDメモリーカードの暗号化（CPRM）には対応していません。
- 再生中は、本体のオートパワーオフ機能は働きません。

## 再生リストを作成する

オーディオファイルやビデオファイルは、パソコンから本体やメモリカードに「ActiveSync」を使って転送します。
なお転送時にはパソコンにWindows Media Player 7以降のソフトをインストールしておく必要があります。

### 1 プレーヤー画面で「選択」メニューをタップする

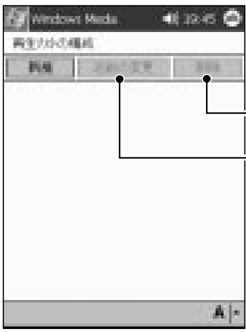
再生リストの選択画面が表示されます。




タップすると、再生リストの一覧が表示されます。

### 2 再生リストの一覧から「再生リストの構成」をタップする

再生リストの作成画面が表示されます。

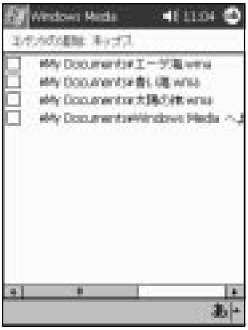



再生リストを削除します。

既存の再生リストの名前を変更します。

### 3 「新規」をタップし、作成する再生リストの名前を入力して、ok をタップする

ファイル一覧画面が表示されます。




### 4 再生リストに入れるファイルのボックスをチェックして、ok をタップする

再生リストの画面が表示されます。




**↑ ↓：選曲したファイルを上または下に移動します。**

**✕　：選択したファイルをリストから削除します。**

**＋　：ファイルを追加します。**

**再生したいファイルをタップして、▶をタップすると、そのファイルから再生が始まります。**

### 5 ok をタップする

プレーヤー画面に戻ります。

## 再生リストを使って再生する

### 1 プレーヤー画面で「選択」メニューをタップする

再生リストの選択画面が表示されます。



タップすると、再生リストの一覧が表示されます。

作成した再生リストが表示されます。
（作成していないときは表示されません。）

### 2 再生したいファイルをタップする



### 3 ok をタップする

プレーヤー画面に戻ります。

### 4 プレーヤー画面で▶をタップする

再生が始まります。
このあと他のプログラムに切り替えても再生は継続されます。
再生を停止する場合は、「ツール」メニューの「設定」から「オーディオとビデオ」をタップし、バックグラウンド再生を「一時停止」にします。

**お知らせ**

- パソコンで表示できる動画データでも、Windows Media Player for Pocket PCではそのまま再生できないデータがあります。この場合は、Microsoft社のホームページ（http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/）からデータ変換を行うプログラム、Windows Mediaエンコーダをパソコンにダウンロードして、パソコン上でデータを変換してください。（2002年4月現在）
- Windows Mediaエンコーダについては、Microsoft社にお問い合わせください。

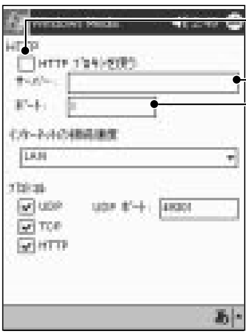
## ネットワーク上の動画ファイルを再生するには

ネットワーク上の動画ファイルを再生するには、以下の設定が必要です。

### 1 プレーヤー画面中「ツール」メニューから「設定」の「ネットワーク」をタップする

ネットワークの設定画面が表示されます。

### 2 「サーバー」と「ポート」を入力し、「HTTPプロキシを使う」をチェックする



ここをチェックすると、設定した内容でHTTPプロキシを使えます。

ご利用いただけるプロキシサーバー名を入力してください。

ご利用いただけるポート番号を入力してください。

- プロキシサーバーやポート番号については、ご加入のプロバイダにお問い合わせください。

### 3 ok をタップする

設定が保存され、プレーヤー画面に戻ります。

第5章

3・Windows Media Player

# 4. MSN Messenger

「MSN Messenger」はインスタントメッセージングプログラムで、次のような使いかたができます。

- 誰がオンラインで接続されているか見る。
- 登録したメンバでインスタントメッセージを送受信する。
- メンバのグループとインスタントメッセージで会話する。

MSN Messengerを使用するには、インターネットに接続しておく必要があります。詳細については、「インターネットの接続設定」（参照 70ページ）をご覧ください。
さらに、Microsoft Passportのアカウントか、Microsft Exchangeの電子メールアカウントが必要です。HotmailやMSNアカウントがある場合、Passportはすでに取得されています。

**お知らせ**

- Microsoft Passportのアカウントはhttp://www.passport.com/でサインアップします。Hotmailの無料電子メールアドレスは、http://www.hotmail.com/で取得できます。(2002年4月現在)

## MSN Messengerを起動するには

### 「スタート」の「プログラム」から「MSN Messenger」をタップする

「MSN Messenger」の画面が表示されます。




**サインイン画面**
タップするとサインインが始まります。

## MSN Messengerのセットアップ

接続する前に、PassportまたはExchangeのアカウント情報を入力する必要があります。

### アカウントを設定し、サインインするには

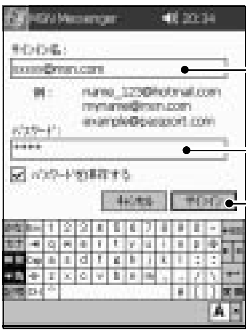
**1** **「ツール」メニューから「オプション」をタップする**

**2** **「アカウント」をタップし、PassportまたはExchangeのアカウント情報を入力し、ok をタップする**




電子メールアドレスとパスワードを入力し、okをタップするとサインイン画面に戻ります。

**3** **サインイン画面をタップして、「サインイン」をタップするとサインインが開始される**




アカウントを設定すると自動的に表示されます。

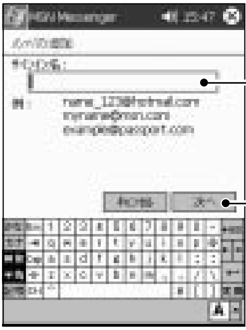
アカウントを設定すると自動的に表示されます。

サインインをタップします。

### メンバの追加

**1 サインイン画面の「ツール」メニューから「メンバの追加」をタップする**

チャットや電子メールメッセージを送りたいメンバの電子メールアドレスを入力します。



メンバの電子メールアドレスを入力する

次へをタップすると「メンバの操作」の画面が表示されます。

## メンバの操作

MSN Messengerウィンドウには、メッセンジャーのすべてのメンバが「オンライン」と「オフライン」の分類項目に分かれて、一目でわかるように表示されます。この表示で接続しながら、ポップアップメニューを使用してチャット、電子メールメッセージの送信、チャットの相手のブロック、一覧からのメンバの削除などを行うことができます。



メンバをタップしてチャットを開始します。

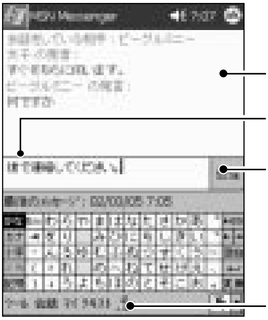
タップアンドホールドしてポップアップメニューを表示します。

**お知らせ**

- パソコンですでにMSN Messengerを使用している場合、メンバを追加しなくても、画面にメンバが表示されます。
- メンバを禁止した場合、禁止された側の一覧には、禁止した側の表示がオフラインとして残ります。メンバの禁止を解除するには、そのメンバをタップアンドホールドし、ポップアップメニューから「禁止の解除」をタップします。

## メンバとのチャット

メンバの名前をタップすると、チャットウィンドウが開きます。画面の下部にあるテキスト入力エリアにメッセージを入力(または「マイ テキスト」をタップして定義済みのメッセージを入力)し、「送信」をタップします。他のメンバをマルチユーザーチャットに招待するには、「ツール」メニューで「招待」をタップし、招待したいメンバをタップします。




**お知らせ**

- チャットを閉じずにメインウィンドウに戻るには、「コンタクト」ボタンをタップします。チャットウィンドウに戻るには、「会話」をタップし、チャットをしていた相手を選択します。

# 5. 電　卓

9桁の計算ができます。

## 計算する

### 1 「スタート」の「プログラム」から「電卓」をタップする

「電卓」の画面が表示されます。




### 2 画面をタップして、計算する

- 計算を実行するには、「=」をタップします。
- 入力パネルを使って数値を入力しても計算できます。
- 計算をクリアするには、「C」をタップします。
- 表示されている数値をクリアするには、「ＣＥ」をタップします。
- 複数桁の最後の桁をクリアするには、入力ボックスの右側矢印をタップします。

### 数値を保存する

数値を保存するには、入力ボックスの左側のボックスをタップして、「M」を表示させます。

- 表示されている数値をメモリ内の数値に加算するには、「Ｍ＋」をタップします。
- メモリ内の数値を表示するには、「ＭＲ」をタップします。
- メモリをクリアするには、「ＭＣ」をタップします。

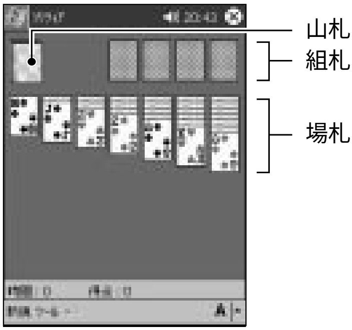
# 6. ソリティア

カードゲームです。すべてのカードを積み重ねたら勝ちです。

## ゲームで遊ぶ

**1 「スタート」の「プログラム」から「ゲーム」の「ソリティア」をタップする**

「ソリティア」画面が表示されます。




**2 山札をタップして、山札をめくる**

画面をタップすると時間がスタートします。

**3 数字が小さくなる並びで赤と黒が交互になるように、カードをドラッグして移動し、重ねる（例：赤4の上に黒3を重ねられます。）**

**4 組札のところにエースを移動し、同種類のキングまでを数字が大きくなる並びで積み重ねていく**

- 組札にすべてのカードを積み重ねたら勝ちです。
- カードを移動して、場札の一番上のカードが裏になったら、場札をタップしてめくります。
- キングは、場札の空の列に移動できます。
- 重ねたカードは、まとめて移動できます。
- 移動したカードを元に戻すには、をタップします。
- 移動するカードが無くなったら、また山札をめくります。
- 「新規」をタップすると、カードを配り直します。

### オプションを変更する

ゲームの遊び方の変更ができます。
「ツール」メニューから「オプション」をタップします。

- カード（山札）のめくり方を「1枚ずつ」か「3枚ずつ」に変更できます。
- 得点の付け方を「点数方式」か「金額方式」または「なし」に変更できます。得点の付け方は、オンラインヘルプをご覧ください。
- 時間制や得点表示ありのチェックをはずすと、時間や得点の表示は消えます。カードの模様を選べます。

# 7. ATI Presentation Pack

ATI Presentation Packは、IA PresenterおよびIA Screen Mirrorで構成されています。

### ■IA Presenter

Microsoft® PowerPoint®で作成したファイルを利用してプレゼンテーションを実行することができます。
付属の拡張パックをお使いになると、接続されたプロジェクタや外部モニタにプレゼンテーションを表示できます。

### ■IA　Screen Mirror

付属の拡張パックに接続されたプロジェクタや外部モニタに、Pocket PC画面を直接表示することができます。9つまでの画面を同時に外部出力できます。

## ATI Presentation Packのインストール

ATI Presentation Packのプログラムは次の手順によりインストールします。

1 本体とパソコンを接続する。

2 付属のコンパニオンCDからATI Presentation Packをインストールする。

IA PresenterとIA Screen Mirrorがインストールされます。

① 付属のコンパニオンCDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入します。
②「Pocket PCをさらに使いやすく」をクリックし、次の画面の左側のツールをクリックします。
③ ツール画面よりATI Presentation Packのインストールをクリックしインストールを開始します。
画面の指示にしたがってインストールをしてください。「ファイルのダウンロード」画面が表示されたら、「このプログラムを上記の場所から実行する(R)」を選択して ok をクリックしてください。「セキュリティ警告」の画面が表示されたら、［はい］をクリックしてください。
④ ライセンスの同意書に同意するをクリックし、インストールするフォルダーを選択してください。
⑤ Pocket PC本体の画面をチェックし、インストール完了に必要な追加ステップの確認をしてください。

3 オンラインヘルプ

詳細についてはオンラインヘルプをご参照ください。

IA Presenterを使用しているときは「ツール」の「ヘルプ」をタップしてください。

IA Screen Mirrorを使用しているときは、「スタート」の「ヘルプ」をタップしてください。
コンテクスト-ヘルプファイルもご利用になれます。もし、操作中にツールメニューが開けない場合はスタートメニューより「ヘルプ」をタップしてください。

4 ATI Presentation Packのバージョンアップについて
付属コンパニオンCDのプログラムは最新のものが収納されています。
アップデートする場合は
IA Style Webサイトへアクセスしてください。（www.iastyle.com）

## プログラムの起動

### ■IA Presenter

「スタート」の「プログラム」から「IA Presenter」をタップする。

### ■IA　Screen Mirror

「スタート」の「プログラム」から「IA　Screen Mirror」をタップする。

**お知らせ**

- プロジェクタや外部モニタに表示させる場合は、あらかじめ付属の拡張パックを本体に取り付け、拡張パックにプロジェクタや外部モニタを接続してください。

# IA Presenter

## ■はじめに

IA Presenterを起動すると最初に表示されるスクリーンはお使いの[My Documents]フォルダーに現在収められているすべての変換されたPowerPointプレゼンテーションを一覧表示します。見本のプレゼンテーションファイルもインストレーション対象に含まれますので、最初にIA Presenterを起動した時には少なくとも1つのファイルがスクリーン内に一覧表示されています。
お使いのPocket PCに赤外線通信により[My Documents]フォルダーにプレゼンテーションファイルを受信するには、スクリーンの左下の角にある[ツール]をタップし、次にメニューから[赤外線通信で受信...]を選択します。お使いのパソコンからPocket PCにPowerPointファイルをドラッグ＆ドロップするには、「IA Presenterのデスクトップコンバータを使用する」を参照してください。

## オプション

ツールメニューのオプションコマンド開くと全般、ファイル、ディスプレイ、およびＶＧＡ出力タブ画面が表示されます。タブの説明はオンラインヘルプに記載されています。オンラインヘルプはツールメニューのヘルプをタップするか、スタートメニューからヘルプを選択してください。

## ■IA Presenterのデスクトップコンバータを使用する

お使いのパソコンからPocket PCにPowerPointファイルをドラッグ＆ドロップする場合は、IA Presenterが提供するActiveSyncコンバータが、指定された解像度を自動的に使用して、お使いのパソコン上のPowerPointファイルをPocket PC用の特別なIA Presenterフォーマットに変換します。ファイルは、ドラッグ＆ドロップの宛先として選択したPocket PC上のフォルダーに置かれます。
ご注意：IA Presenterのデスクトップコンバータをご使用になるにはPowerPoint97または、PowerPoint2000（またはそれ以後）が必要となります。

IA Presenterの[ActiveSync変換オプションの設定]ダイアローグボックスを開くには２種類の方法があります。

**1** Windowsのスタートメニューから[ATI Presentation Pack] を選択してからサブメニューから[IA Presenter - ActiveSync変換オプションの設定]を選択する方法です。お使いのパソコン上でダイアローグボックスが開きます。必要ならば、サイズを選択して[次回このオプションダイアログボックスを表示]チェックボックスを選択することもできます。本チェックボックスをチェックしないと、お使いのパソコンからPocket PCにドラッグ＆ドロップしてもダイアローグボックスは開きません。替わりに、各変換中に指定されたサイズが自動的に使用されます。

2 お使いのパソコンからPocket PCにPowerPointファイルをドラッグ＆ドロップまたはコピー＆貼り付けする都度サイズを設定することもできます。[次回このオプションダイアログボックスを表示]チェックボックスがチェックされていないと、IA Presenterの[ActiveSync変換オプションの設定]ダイアローグボックスは、PowerPointファイルをドラッグ＆ドロップまたはコピー＆貼り付けする度に自動的に開きます。

## 変換したIA Presenterファイルのサイズを選択

変換フィルターはPPT及びPPSのPowerPointファイルの双方をサポートします。下記に変換オプションを示します。

Pocket PC LCDサイズー320 x 240：お使いのPocket PCのLCD画面にプレゼンテーションを表示したい時のみ、本オプションを選択します。

VGA画面またはビデオモニターにプレゼンテーションを投影するためにファイルを用意する場合は、下記オプションのいずれかを選択します。

・VGAー640 x 480
・SVGA ー800 x 600

・ユーザ指定：上記に一覧されている定義済みサイズを使用したくない場 合は、[ユーザ指定]オプションを選択し、フィールドに独自の値を入力します。

ご注意　XGAー1024 x 768 はサポートされていません。

## ■プレゼンテーションの開始と表示モードの使いかた

IA Presenterを起動すると最初に表示されるスクリーンはお使いの[My Documents]フォルダーに現在収められているすべての変換されたPowerPointプレゼンテーションを一覧表示します。ロードするファイルの名前をタップします。表示モードを次の中から選定します。

## ◎ノーマル

ノーマル表示では、下部サムネイル窓を使用した便利なスライドのナビゲーションを可能にしながら上部窓内に現スライドを表示することが出来ます。これら2つの窓の間にある「スプリッターバー」をタップおよびドラッグしてスプリッターの上下のスクリーンの配分を調整することができます。
ノーマル表示のアイコンはツールバーの一番左側に表示されています。

スタイラスを使用し、上部窓内のスライド画像をパンして下部窓により隠されている部分を表示することもできます。スプリッター位置は自動的に複数アプリケーションセッションをまたいで記憶され、再度スプリッター位置を調節する手間を省きます。

下部窓内で希望のサムネイルをタップするか、スライドタイトルバーを使うことで上部窓内に異なるスライドが表示できます。
（名前のないスライドはプルダウンリストに番号をつけて表示されています。）
ノーマル表示内の下部サムネイル窓はスライドナビゲーションを提供します。操作を切り換えるために複数のスライドを選択したい場合は、スライド短縮表示を選択します。

現在選択しているスライドをVGA画面に表示したい場合は、表示メニューからVGAスライド切り替えを表示メニューから選択するか、VGAスライド出力切り替えアイコン（ツールバーの右端にある）をタップしてください。表示を終了する時は、VGAスライド切り替えコマンドを再度選択して切り替えをOFFにしてください。

## ◎スライド短縮

スライド短縮表示は、表示メニュー上の大きいサムネイルおよび小さいサムネイルが活性か否かにより大きいまたは小さいサムネイルをアプリケーションスペース全体に表示します。下記に選択法を示します。

- 1つのスライドをタップして選択、または
- 複数の隣接スライド上でスタイラスをドラッグして選択、または
  編集メニュー上で複数選択モードを選択した場合は、別々の複数スライドをタップまたはドラッグ（またはこれらの操作を組み合わせて）選択することができます。

選択されたスライドは異なる境界色で強調表示されます。

個々のスライドをVGA画面に表示するには、表示メニューのVGAスライド切り替えコマンドを有効にするか、ツールバー上の右端にあるVGAスライド出力切り替えアイコンをタップします。

VGAスライド切り替えコマンドの機能は次の通りです。

- VGAスライド出力を有効に設定したときにスライドが1個しか選択されていない場合は、そのスライドはVGA画面に表示されます。
- 複数のスライドが選択されている場合は、その中で最初に選択したスライドがVGA画面に表示されます。

・スライドが何も選択されていない場合は、VGA画面はそのままの状態で何も変わりません。つまりVGA画面にすでに何らかの画像が表示されている場合は、LCD画面に表示するスライドを選択するまでその画像がそのまま表示されます。

スライドをPocket PCのLCD画面にのみ表示する、元のモードに戻すには、このコマンドを再度選択します（またはもう一度アイコンをタップします）。

## サムネイルの下の表示アイコン

各サムネイルの下に、スライドの状態/属性を示す次のような種々の小さなアイコンが表示されます。

### ートランジションアイコン

本アイコンは、スライドにトランジション効果が割り当てられたことを示します。本アイコンがある場合は、スライドの下の左端に表示されます。本アイコン上をタップすると、現サムネイルを使用して関連付けられたトランジション効果が提示されます。

### ー形状アイコン

本アイコンは、動画形状がスライドに含まれていることを示します。

### :05 ートランジション遅延時間

スライドの自動切り換えに対する特定の時間幅を設定すると、ここにその時間（編集 > スライドトランジション...スクリーンの[現在のスライドの後]フィールド内に指定された秒数）が表示されます。

### 1 ースライド番号

各スライドのスライド番号がサムネイルの右端に順に表示されます。スライドが非表示スライド（編集メニュー上のスライドを隠すコマンドによる）の場合は、スライド番号はクロスするラインを持つ赤い丸で囲まれます。

## ◎ノートページ

表示メニュー上の[ノートページ]およびツールバー上の[ノートページ表示]アイコンは現スライドの内容を上部窓に表示し、下部窓は元のPowerPointプレゼンテーションに対して入力またはIA Presenter内に入力/編集された発表者のノートを表示します。上部窓の動作は標準表示内における動作と同じです。下部窓はノート表示ウィンドウであり、同時に編集ウィンドウでもあります。
編集が終了したら、ok をタップし保存してください。

現在選択しているスライドをVGA画面に表示するには、表示メニューのVGAスライド切り替えコマンドを有効にするか、ツールバー上の右端にあるVGAスライド出力切り替えアイコンをタップします。スライドをPocket PCにのみ表示する元のモードに戻すには、このコマンドを再度選択します（またはもう一度アイコンをタップします）。

## ◎クイックメモ

表示メニュー上のクイックメモコマンドを実行すると（ツールバー上のクイックメモ表示アイコンをタップした場合も同じ）、スライド短縮表示モードのサムネイル画像とノートページ表示モードのメモ窓が同時に表示されます。

サムネイルをタップすると、それが枠で囲まれ現在選択されていることを示します。またPocket PCの上、下、左、右ボタンを使って別のサムネイルを選択することもできます（またはスライドタイトルバーを表示しているときにはこれを使って選択することもできます）。

画面の下部には、オリジナルのPower PointプレゼンテーションやIA Presenterで入力または編集した発表者のメモが表示されます。下の窓はメモウィンドウと編集用ウィンドウを兼ねます。下の窓をタップすると発表者のメモを編集することができます。編集機能はノートページ表示用のものと同じです。

[切り取り/コピー/貼り付け/クリア/元に戻す/すべて選択]コマンドがテキストの編集に必要な場合は、スタイラスをタップし続けるだけで編集メニューが表示されます。ノート編集作業は、編集メニューから複数の操作を元に戻すコマンドを選択すると元に戻すことができます。元に戻すコマンドは編集メニュー、ポップアップメニュー、またはツールバーにあります。

## ◎スライドショー

表示メニュー上の[スライドショー]コマンドは、Pocket PCのLCD画面上のフルスクリーンスライドショーをスタートします。（スライドショーをVGAに出力する時は、VGAスライドショーコマンドを使用してください。）「スライドショー」か「VGAスライドショー」を選択する前にスライドショーの動きをツールメニューの「ショーの設定」で設定してください。

ツール > オプション > 表示タブ内で[自動回転]オプションがチェックされると、選択された方角（左または右）に従ってスライドが自動的に回転します。

スライドトランジションダイアローグボックス内に指定されたスライドの切り換え設定によって、タップしてスライド（または次の動画オブジェクト）を切り換える、お使いのPocket PCのカーソルボタンを押してスライドを切り換えるまたは戻すことが可能であり、またはIA Presenterが設定された秒数（遅延時間）に基づいて自動的にスライドを切り換えます。割り当てによりサウンドエフェクトも再生できます。

## スライドショーモードのポップアップメニュー

ツール ＞ オプション ＞ ディスプレイタブ内で[ポップアップメニューボタンを表示する]オプションがチェックされると、小さな半透明アイコンがＬＣＤ画面の左上隅に表示されます。このオプションがチェックされていないとスライドショーモードの間にポップアップメニューを開く場合はスタイラスでタップアンドホールドをしてください。以下にメニューのコマンドについて説明します。

### 次へ

次のスライドまたは動画オブジェクトを表示します（動画化オブジェクトの表示が設計されていた場合）。非表示スライドは表示されません。

### 戻る

前のスライドまたは動画オブジェクトを表示します（動画化オブジェクトの表示が設計されていた場合）。非表示スライドは表示されません。

### ジャンプ先

[ジャンプ先]サブメニューにより、[最初のスライド]、[最後のスライド]、[最後に表示したスライド]にジャンプまたは[タイトルでナビゲート]を使用していずれかのスライドにジャンプすることができます。

### トリガー

[トリガー]モードが選択されると、ツール ＞ ショーの設定...コマンドまたは[ショーの設定]アイコンを使用して設定したモードに従ってスライドショーが切り替えられます。例えば、スライドをマニュアルで切り替えるように指定した場合は、スクリーン上をタップする毎にスライドが切り替わります。スライドショーの自動再生が設定されている場合は、ポップアップメニューで休止させたり即座に終了させることができます。既定値はトリガーモードです。

## ペン

[ペン]コマンドを選択してペン注釈モードに入ります。ペン注釈モード中は、スタイラスを使用してスクリーン上のプレゼンテーション要素をマークまたは強調表示することができます。ペン注釈モードを終了するには、ポップアップメニューからトリガー、VGAポインタ、またはVGAズームコマンドを選択してください。

ペンの色およびペンの幅のトピックもお読みください。

スクリーンサブメニューでブランクが選択されているときにペンモードが有効になっていると、黒い画面にデジタルペンで注釈を書き込むことができます。同様に黒板にメモを書き込むこともできます。（このサブメニューからは、最後のストロークを元に戻すや、すべてのストロークを削除コマンドを選択することもできます。）

## VGAポインタ

このモードはIA PresenterがVGAスライドショー表示に設定されていなければ使用できません。ポップアップメニューからVGAポインタモードを選択すると、VGAスライドショープレゼンテーションを再生しているときに、Pocket PCのLCD画面でのスタイラスの操作がVGA画面ではレーザーペンとして表示されます。
（VGAポインタモードを終了するには、ポップアップメニューからトリガー、ペンまたはVGAズームのいずれかを選択してください。）

## VGAズーム

このモードはIA PresenterがVGAスライドショー表示に設定されていなければ使用できません。VGAズームコマンドを選択すると、VGA画面に表示するスクリーンの一部を選択して、表示倍率を指定することができます（VGAズームモードを終了するには、ポップアップメニューからトリガー、ペンまたはVGAポインタのいずれかを選択してください）。

VGAズームモードを呼び出したときに表示されるメッセージは、VGAズームサイズサブメニューで選択した値により異なります。メッセージの内容としては、スタイラスをタップアンドドラッグしてユーザ自身でエリアを指定してください、というものか、スタイラスをタップしてあらかじめ設定されているサイズの中から選択してください、のどちらかになります。

ズーム倍率の設定は、スライドショーポップアップメニューのVGAズーム倍率サブメニューで行えます。

## ペンの色

[ペンの色]をタップすると適用可能な色を選択できるサブメニューが開きます。その内の１つの色を新しいペン色として選択するかリセットコマンドでペン色を標準の白にします。

## ペンの幅

[ペンの幅]をタップすると適用可能なペン幅のサブメニューが開きます。太さ設定の内の１つを、LCD画面上のペンストロークとして使用される新しいペン幅として選択してください。最も細かい幅は1ユニットです。値を高くするほど幅が太くなります。

## VGAズームサイズ

VGAズームサイズコマンドを選択すると、[ズームエリア]オプションのサブメニューが開きます。ポップアップメニューからVGAズームモードを選択すると、VGAズームサイズサブメニューの現在の設定が有効になります。

サブメニューから極大、大、普通、小、極小を選択すると、あらかじめ定義されたサイズでエリアが表示されます。たとえば極大を選択した場合は、LCD画面をタップすると極大サイズでエリアが表示されます（タップした場所が中心となります)。

ズームエリアはVGA画面にすでに表示されているスライド全体の一番上に表示されます。

矩形のズームエリアが表示されたら、それを画面上の任意の位置にドラッグしてください。また、LCD画面をタップすると開くポップアップメニューのVGAズームサイズサブメニューから別の値を選択して、サイズを変えることもできます。新しく選択したサイズにより、既存のエリアのサイズも変更されます。

サブメニューから「ドラッグ選択」を選択すると、LCD画面上でスタイラスをドラッグすることによりズームエリアを自在に設定することができます。エリアを設定したら、画面上の任意の場所にドラッグしてください。また、エリアの角をドラッグするとサイズを変えることができます。
ズームエリアのズーム倍率を指定するには、次に説明するVGAズーム倍率コマンドを実行します。

## VGAズーム倍率

VGAズーム倍率コマンドを実行すると、あらかじめ定義されている[ズーム倍率]オプションのサブメニューが開きます。ポップアップメニューからVGAズームモードを選択すると、VGAズーム倍率サブメニューの現在の設定が有効になります。

## スクリーン

スクリーンサブメニューには次のようなコマンドがあります。

- 「オートプレイを休止」 . . . . . . .スライドショーを休止する。
- 「ブランク」. . . . . . . . . . . . . . . . .ブラックスクリーンを表示する。
- 「最後に使用したペンを削除」 . .最後に実行した操作を元に戻す。
- 「すべてのペンを削除」 . . . . . . .すべてのペン注釈を削除する。

## オートプレイを休止

スライドショーを指定した間隔で自動的に再生するときには（ツールメニューのショーの設定...コマンドを選択するか、ツールバー上の「ショーの設定」アイコンをクリックします）、オートプレイを休止コマンドを選択するとスライドショーを一時休止することができます。スライドショーを再開するには、「オートプレイを再開」を選択します。

## ブランク

ブランクコマンドを選択すると、LCD画面は完全に黒になり、同時にVGA画面も黒くなります（ブランクを選択すると、このコマンド名は復元に変わります。復元をクリックすると、最後に表示されていたスライドに戻ります）。

## ペンモードで「ブランク」オプションを使用するとき

ブランクオプションが有効になっており、さらにIA Presenterがペンモードに設定されているときには、デジタルペン機能を使用することができます。またデジタルペン入力をVGA画面に表示することも可能です。この機能を電子黒板として使用すると、プレゼンテーションを発表するときに非常に便利です。ブランクモードを終了すると、空の画面に入力したペン操作はすべて消去されます。一度消去された操作内容を元に戻すことはできません。

IA PresenterがVGAズームモードかVGAポインタモードに設定されているときには（[スライドショー]ポップアップメニューで確認できます）、ブランクオプションは無効となります。

## 最後に使用したペンを削除

最後に実行したペン入力を1つずつ削除します。このコマンドは、現在のスライドにペン入力がなくなるまで繰り返し適用できます。

### すべてのペンを削除

現在のスライドのすべてのペン入力を削除します。

### 発表者のノート

本コマンドは、ポップアップウィンドウ内に現スライドのノートテキスト（ある場合）を上部に表示されているスライド番号と共に表示します。ノートウィンドウが開いている時にスライドまたはオブジェクトを切り換えるには、隠れているスライド上をタップします。スライドが再生中の間は発表者のノートウィンドウは開いたままで、関連スライドのメモが表示されます。発表者のノートウィンドウを閉じるには、右上隅の“ メモ ”をクリックします。

### ショーの終わり

本コマンドはスライドショー再生モードを終了し、スライドショーモードに入る前に使用していたモードに戻ります。お使いのPocket PC上の[操作]ボタンを使用してスライドショーモードから抜けることもできます。

### ◎VGAスライドショー

VGAスライドショーモードは、下記の動作上の相違点を除いてはスライドショーモードとほとんど同じ働きをします。

・ツール > オプション…コマンド内のVGA出力タブを使用してVGA出力関連のオプションを設定しなければなりません。また、スライドを表示色の少ない（２５６色表示などの）外部ＶＧＡ画面に出力する時はIA Presenterのディザタリング機能をつかうことができます。

・VGAスライドモードでは、プレゼンテーションはPocket PCのLCD画面と外部の接続VGAデバイスまたはPocket PCの双方に出力されます。Pocket PCは常に縮小サイズ版を表示し、VGA/Pocket PCはActiveSyncの変換中に設定された元の整合サイズを表示します。または、現プレゼンテーションの指定サイズが選択した出力サイズと全く同じでない場合は、IA Presenterは自動的にスライドのサイズを変更して出力サイズに合わせます。

・ペン注釈はVGAデバイスおよびPocket PCの双方に投影されます。

・ポップアップメニューのＶＧＡズームコマンドを選択すると、ＶＧＡスライドショーで表示中のスライド上で拡大したい部分を自由に指定できます。指定された部分はＶＧＡズームサイズコマンドで設定された範囲内を、表示中のＶＧＡ画面に拡大して表示することができます。

ＶＧＡズームサイズコマンドではプルダウンメニューよりズーム範囲を指定するか「ドラッグ選択」モードを選択して、ＬＣＤ画面上をスタイラスでドラッグすることでスライドの任意の範囲をズーム範囲に指定できます。

ＶＧＡズーム倍率コマンドによりズーム表示したい範囲のズーム倍率を設定できます。

ズーム範囲のウィンドウが表示された後、ウィンドウをドラッグしてＬＣＤ画面のスライドの他の部分を拡大表示することができます。

VGAポインタモードでは（ポップアップメニューから選択できます）、LCD画面上でのスタイラスの動きは同時にVGA画面にレーザーペンとして表示されます。
また、スライド上にペン注釈を描いたり、黒板スクリーンにペン注釈で文字や図形を書くことができます。ペン注釈を使う場合は、まずペンモードをポップアップメニューで選択しておいてください。また、ＶＧＡスライドショーをＶＧＡ画面に表示する前にツールのオプションの設定を完了してください。タブの「全般」、「ファイル」、「ディスプレイ」、「ＶＧＡ出力」の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

## ■トランジション効果の設定

オリジナルのPowerPointのファイルに設定されているトランジション効果はＰｏｃｋｅｔＰＣの　“．ｉａｐ”ファイルにIA Presenterで変換されても、そのままトランジション効果は移行されます。
また、IA Presenterでも効果的なトランジション効果を“．ｉａｐ”ファイルに付加することができます。スライド毎でもファイル全体にでも付加できます。
スライドを１枚か複数選んだ後、「編集」の「スライドトランジション」かツールバーのアイコン をタップしてください。
スライドトランジションスクリーンが表示されます。その画面でトランジションの効果、スピード、方法と関連する音声を選べます

## ■プレゼンテーションの複合

２つのプレゼンテーションを１つのファイルに結合することができます。表示中のマスタースライドに新しいファイルが挿入されます。したがって最初にマスタースライドを選択してください。　次にツールメニューよりオプションを選択してファイルタブを開いてください。そして ok をタップし設定をセーブしタブを閉じてください。
タブの「全般」、「ファイル」、「ディスプレイ」、「ＶＧＡ出力」の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

# IA Screen Mirror

IA Screen MirrorはPocket PCの画面と同じ画面を付属の拡張パックに接続されているＶＧＡ画面に表示することができます。
また、IA Screen Mirrorにより複数のLCD画面をVGA画面に同時出力できます。まず、表示したい部分の画面を“フリーズ”し次に表示中の画面として保持してください。
フレキシブルな出力制御のオプションにより表示画面の方向、解像度、色の最適化/ディザ処理等を設定できます。

## 起動

プログラムグループ上のIA Screen Mirrorのアイコンをタップして、IA Screen Mirrorを起動してください。

1. 「レイアウト」タブ画面で画面を表示する表示ポートを設定します。
2. 「切り替え」タブ画面で画面の切り替えに使用する切り替えボタンを設定します。
3. 「最新の情報に更新」タブで他の設定項目を設定します。
4. ok をタップしLCD画面を表示ポート表示します。
5. 表示したいアプリケーションを起動し操作します。
6. 設定の変更を行う場合は、まず表示ポートとして設定している表示ポートをフリーズにして、次にIA Screen Mirrorの設定画面で設定を変更します。ok をタップし表示を再開します。
7. 「プログラムを終了」ボタンをタップし、IA Screen Mirrorを停止と、VGA画面への表示を終了します。

詳細はオンラインヘルプを参照してください。

本取扱説明書ではATI Presentation Packに関する記載をATI社から承諾を受け日本語化して記載しています。著作権に関する扱いは以下のとおりです。



First Edition　March 2002

Web sites:　http://www.iastyle.com

# 8. ユーザー登録と便利なソフトウェア

お使いのパソコンからお客様登録をオンラインで行うことができます。付属のコンパニオンＣＤに収められている「東芝パソコンお客様登録」より登録していただくのが簡単です。ぜひご利用ください。
また、付属コンパニオンＣＤには、Pocket PCをさらに使いやすくするために次のソフトウェアが収録されています。また、収録されていないプログラムについては、ダウンロード可能なWebサイトへのリンクが用意されています。Pocket PCをさらに便利なツールとして使用できるようにカスタマイズしてください。次の操作手順によりインストールをしてください。

## 付属ソフトのインストール方法

コンパニオンCDに収められているソフトウェアを使うためには、次の操作手順でインストールをしてください。

### 1 本体とパソコンを接続する

（参照 16、36ページ）

### 2 コンパニオンCDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する

メインメニュー画面が表示されます。

### 3 お客様登録をする

1 「その他の参考資料」をクリックし、開いた画面の左側にある「ＴＯＳＨＩＢＡ」をクリックしてください。
2 「東芝パソコンお客様登録のインストール」をクリックして「東芝PCお客様登録」をお使いのパソコンにインストールしてください。
3 「東芝PCお客様登録」をクリックして実行してください。
画面の指示にしたがって以後の作業を進めてください。

### 4 「Pocket PCをさらに使いやすく」を選んで、左側のカテゴリを選んで、インストールしたいソフトをクリックする

画面の指示にしたがってインストールをしてください。「ファイルのダウンロード」画面が表示されたら、「このプログラムを上記の場所から実行する(R)」を選択して ok をクリックしてください。「セキュリティ警告」の画面が表示されたら、［はい］をクリックしてください。

**お知らせ**

- コンパニオンCDの自動起動画面には、Flash形式の画像が使われています。
このためお使いのInternet Explorerに、Macromedia Flashがプラグインされていないと、Macromedia Flashをインストールするための接続確認画面が表示されます。

Flash形式の画像を表示したい場合は、インターネットに接続できる環境にして、再接続を選択し、Macromedia Flashをインストールしてください。
Flash形式の画像が非表示で構わない場合は、オフラインを選択してください。なおオフラインを選択後、メインメニュー表示まで数秒かかります。この間は、パソコンの操作を行わないでください。

## 収録ソフト

### モバイル性

#### ■ JRトラベルナビゲータ for Pocket PC 2002

「ＪＲトラベルナビゲータ」は、交通機関の出発地と目的地を入力して、最適乗継ルートを探索するシステムです。
時刻表データはJR急行以上、航空路線、主要私鉄有料急行以上に対応していますが、経路探索の方法は、平均所要時間を用いた「平均経路探索」となります。

### エンターテイメント

#### ■ 電子本ビュワー「T-Time for PPC2002 ver.3.2.3 」

BOOK、TXT、HTML対応の電子本ビュワー。インターネットから電子本データをGET！文庫本を読むような気安さで電子的な読書を愉しむことができるようになります。HTMLやBOOKに含まれているＪＰＥＧとＪＰＮ形式の画像ファイルも表示できます。　ページ縮尺、行間調整、書体変更、縦書き／横書き表示、付箋などの機能があります。

### ツール

#### ■ 辞スパ for Pocket PC

電車の中や、出張先などその場で使える「辞スパ」は、学研の英和・和英・国語辞書を統合的に扱うことができるPocket PC 用の辞書アプリケーションで、シンプルで軽快な操作性をもっています。
英和、和英、国語の3つの辞書が収納されており、英和　65,000語、和英36,000語、国語41,000語を収録しています。
プログラムをインストール後、[詳細]で辞書データをインストールしてください。

収録ソフト（つづき）

## ■ ATI Presentation Pack

ATI Presentation Pack は、IA Presenter および IA Screen Mirror で構成されています。IA Presenter は、Microsoft® PowerPoint® で作成したファイルを利用し、Pocket PC を使用してプレゼンテーションを実行することができます。IA Screen Mirror は、プロジェクタや外部モニタに Pocket PC の画面を出力することができます。これによってパソコンを使用せず、プレゼンテーションが可能になります。

## ■ Adobe® Acrobat® Reader® for Pocket PC

Adobe Acrobat Reader for Pocket PC をお使いになると、Pocket PC 上で PDF(Portable Document Format) ファイルを閲覧することができます。

# 第6章

# 無線LANによるネットワークとの接続

ご注意

この章は無線LANモデル（Pocket PC e740W）についてのみ記載しております。

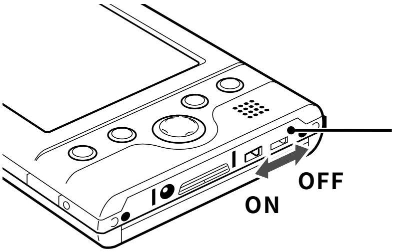
無線LANモデルは、ＩＥＥＥ802.11bに準拠しています。
またWiFi（Wireless Ethernet Compatibility Alliance ）に対応しているので, WiFiに対応した他の無線LAN製品と通信が可能です。

無線LANへの不正なアクセスを防止するため、WEP（Wired Equivalent Privacy）と呼ばれるセキュリティサービスをサポートしています。この設定を行って無線LANを使用することをお勧めします。

無線LANの詳細については、第7章もご覧ください。

# 1. ご利用の準備

### 1 ワイヤレスコミュニケーションスイッチをONにする




### 2 ネットワークアダプタを設定する

ネットワークアダプタの設定画面が自動的に表示されますので、情報を設定します。
詳細は「ネットワークアダプタの設定」（参照 150ページ）を参照してください。

### 3 無線LANの接続モード等の設定を行う

この設定は、無線LANユーティリティで設定します。
詳細は「無線LANユーティリティの設定」（参照 152ページ）を参照してください。

# 2. 無線LAN省電力の機能について

本製品にはバッテリのパワーセーブのため、無線LAN省電力ユーティリティが入っています。無線LANの未使用の時間が一定時間を超えると、無線LANは自動的にOFFになります。
無線LANのON/OFFのステータスは、ナビゲーション上にアイコンで表示されます。ナビゲーションバーのアイコンをタップすると、無線LANのON/OFFを切り替えることができます。



ONをタップし無線LANをONにする。
（無線LANを終了する時はOFFをタップする。）

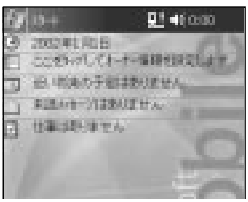
**ご注意**

- 無線LANユーティリティの「アドバンス」タブで「省電力制御を行う」を無効に設定している場合は、このアイコンは表示されません。

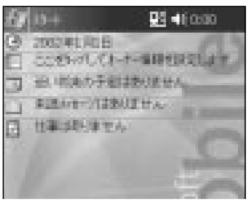
## ステータスアイコンの表示

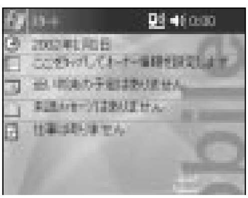
無線LANの設定状態をステータスアイコンの違いで表示しています。
また、設定が不足している場合にはプロンプトを表示してお知らせします。

ワイヤレスコミュニケーション
スイッチがOFFの時



ワイヤレスコミュニケーション
スイッチがONで
無線LANがOFFの時





ワイヤレスコミュニケーションスイッチがONで
無線LANもONの時（無線LANが使用できるとき）

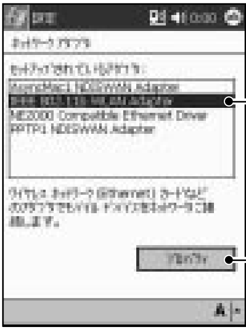
# 3. 無線LANの設定

無線LANのネットワークアダプタの設定と、無線LANの接続モードの設定等を行います。

## ネットワークアダプタの設定

### 1 「スタート」の「設定」から「接続」タブの「ネットワークアダプタ」をタップする

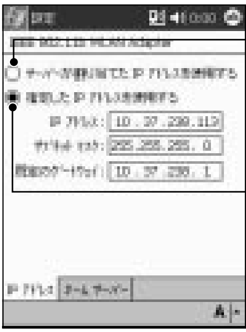
「ネットワークアダプタ」の設定画面が表示されます。




ここをタップし「IEEE802.11b WLANAdapter」を選択します。

ここをタップし「IPアドレス」の設定をします。

### 2 「プロパティ」をタップしIPアドレスの設定をする

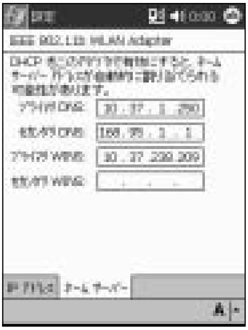


DHCPサーバにより自動的にIPアドレスが割り当てられる場合はこちらをタップします。

指定されたIPアドレスを使用する場合はこちらをタップします。

（詳細はネットワーク管理者に情報を確認し設定します。）

### 3 「ネームサーバ」のタブをタップしDNS、WINSを設定する



DHCPが有効の場合はネームサーバの情報は自動的に設定されます。

ネットワーク管理者に情報を確認し設定します。

### 4 設定を終了したら ok をタップする

「アダプタ」についてのプロンプトが表示されます。



ok をタップします。

「ネットワークアダプタ」の画面に戻るので ok をタップして「接続」タブの画面に戻ります。

## 無線LANの接続モード等の設定

無線LANユーティリティで設定します。

### 1 「スタート」の「設定」から「システム」タブをタップする

「システム」タブの画面が表示されますので「無線LANユーティリティ」のアイコンをタップします。





「設定」「アドバンス」「リンク」「スキャン」「情報」の５つのタブがあります。
各タブの画面を表示するには選択するタブをタップしてください。

### 2 タブの設定が終わったらok をタップする

「システム」の画面に戻ります。

## 「設定」の画面



ここをタップしモードを選択し設定します。
既定値は「インフラストラクチャ」です。

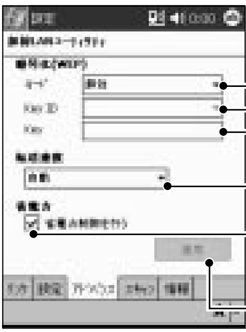
接続する無線LANネットワークの名前を選択します。
既定値は「ANY」です。

**お知らせ**

- 「インフラストラクチャ」はアクセスポイントとアクセスポイントに接続されたネットワークに接続できます。
- ＳSIDは無線LANネットワークを構成するグループにつける名前で32文字以内の半角英数字と記号が使えます。　既定値「ANY」では自動的にスキャンできた中で、もっともパフォーマンスの高いアクセスポイントに接続します。

## 「アドバンス」の画面

ＷＥＰ暗号化、省電力、転送速度、情報の設定と表示ができます。



ここをタップしWEP暗号化の設定をします。既定値は「無効」です。

ここをタップしKey1-Key4を選択します。
WEP暗号化を選択した場合に有効になります。

Keyは選択したWEPに対応したASCIIの文字や記号を入力します。

プルダウンメニュより使用する転送速度を選択します。

省電力制御を行う場合はここをタップしチェックします。

すべての設定が終了したらここをタップします。

無線LANユーティリティーの設定（つづき）

**お知らせ**

● WEP暗号化：
＊既定値の「無効」では暗号化には対応していませんが、転送速度は速くなります。
＊64ビット（ASCII）
アクセスポイントとの接続やアドホック接続で設定でき、5桁のASCIIの文字や記号がkeyに入力できます。
＊128ビット（ASCII）
アクセスポイントとの接続やアドホック接続で設定でき、13桁のASCIIの文字や記号がkeyに入力できます。
＊64ビット（HEX）
アクセスポイントとの接続やアドホック接続で設定でき、16進法で10桁数字がKeyに入力できます。入力できる数字/文字は0ー9、A（a）ーF（f）です。
＊128ビット（HEX）
アクセスポイントとの接続やアドホック接続で設定でき、16進法で26桁数字がKeyに入力できます。入力できる数字/文字は0ー9、A（a）ーF（f）です。

● key ID：
WEP暗号化選択した場合に有効になり、「64ビット（ASCII）」「128ビット（ASCII）」「64ビット（HEX）」「128ビット（HEX）」と「無効」から設定するモードを選択し設定します。　既定値は「無効」です。ここをタップしKey1ーKey4を選択します。

● key：
選択したWEPに対応したASCIIの文字や記号を入力します。選択したモードにより入力できる文字が違います。前のWEP暗号化を参照してください。
「64ビット（ASCII）」「128ビット（ASCII）」を選択した場合に制限を越えた文字数の入力はブロックされます。「64ビット（HEX）」「128ビット（HEX）」を選択した場合は、入力できる数字/文字以外を入力すると注意のプロンプトが表示されます。

● 転送速度：
プルダウンメニューより使用する転送速度を次のものより選択します。「自動」を設定すると自動的にアダプタは最適な転送速度に調整されます。
＊自動
＊11Mbps固定
＊5.5Mbps固定
＊1または2Mbpsの自動選択
＊2Mbps固定
＊1Mbps固定

● 省電力：
チェックボックスをタップしチェックすると省電力の制御を行います。

## 「リンク」の画面



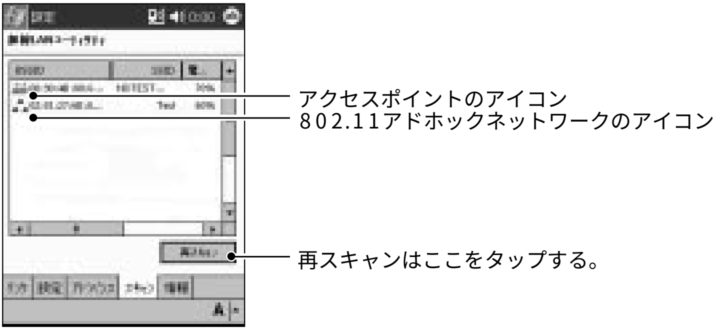
**お知らせ**

- SSID：
  アクセスポイントまたは802.11アドホックネットワークで現在接続中のSSIDが表示されます。
- チャンネル：
  アクセスポイントまたは802.11アドホックネットワークで使われているチャンネルの番号です。
- Tx Rate：
  使用されている転送速度が表示されます。
- BSSID：
  アクセスポイントまたは802.11アドホックネットワークで設定されているBSSIDが表示されます。
- IPアドレス：
  設定されているIPアドレスが表示されます。
- サブネットマスク：
  使用中のサブネットワークのマスクが表示されます。
- ゲートウェイ：
  使用中のゲートウェイのIPアドレスが表示されます。

無線LANユーティリティーの設定（つづき）

## 「スキャン」の画面

使用できるアクセスポイントと、802.11アドホックネットワークが表示されます。




お知らせ

- 再スキャン：
  表示されるはずのネットワークが表示されていない時は「再スキャン」ボタンをタップしてください。
- ネットワークの選択：
  各ネットワークのBSSIDとSSIDが表示されています。接続したいネットワークのBSSIDを2回つづけてすばやくタップすると選択できます。
- 電波状態：
  ネットワークの電波状態を表示します。
- チャンネル：
  ネットワークが使用しているチャンネルを表示します。
- 暗号化：
  ネットワークがWEP暗号化を有効にしているか無効にしているかを表示します。

## 「情報」の画面



MACアドレス、ユーティリティのバージョン、ドライバのバージョンおよびファームウェアのバージョンを表示します。

**お知らせ**

- MACアドレス：
  ネットワークでホストを識別するために設定されるハードウェアアドレスで、48ビットの識別符号が付けられます。このアドレスは変更できません。

# 第7章
# 困ったときは

この章には次の項目が記載されています。
Pocket PCの動作がおかしいと思われたときは、まずこの章をチェックしてください。

- 困ったときは
- リセットと初期化
- 無線LANで困ったときは
- 無線LANのQ&A

# 1. 困ったときは

故障かなとお思いのときは、次の点をお調べください。

| 現　象 | 原　因 | 対　処 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 電源スイッチを押しても電源が入らない | バッテリパックの充電量がなくなっています。 | 充電を行ってください。 | 8 |
| | バッテリパックか大容量バッテリパック（オプション）がセットされていない。 | バッテリパックか大容量バッテリパック（オプション）をセットしてください。(ACアダプタだけでは使用できません。) | 10 |
| | バッテリパックロックがリリース側にセットされている。 | バッテリパックロックを押しあげロック側にセットしてください。 | 10 |
| 急に電源が切れた | バッテリの充電量を使いきりました。 | 充電を行ってください。 | 8 |
| | 自動サスペンドが働きました。 | 電源を切るまでの時間を変えるときは、「スタート」の「設定」の「システム」タブから「パワーマネージメント」を選び、設定してください。 | 51 |
| 充電してもすぐに充電量がなくなる | バッテリパックの寿命です。 | 新しいバッテリパックに交換してください。 | 10 |
| 画面をタップしても正しく応答しない | タッチスクリーンの設定が正しく調節されていません。 | 「スタート」の「設定」の「システム」タブから「画面」を選び、タッチスクリーンの補正を行ってください。 | — |
| 操作の反応が遅い | メモリが不足しています。 | メモリを確保してください。使っていないアプリケーションを終了させてください。 | 24 |
| | 何らかの異常です。 | リセットを行ってください。リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください。（ただしデータは消去されます。） | 162 |
| 画面をタップしても応答しない。操作ボタンも受け付けない | 何らかの異常です。 | リセットを行ってください。リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください。（ただしデータは消去されます。） | 162 |
| 画面が暗い | フロントライトがOFFになっています。 | 電源スイッチを長く押してONにしてください。 | — |
| 画面が見にくい | 明るさの設定が合っていません。 | 「スタート」の「設定」の「システム」タブから「フロントライト」を選び、画面が見やすいように明るさの調整をしてください。 | 50 |

| 現　象 | 原　因 | 対　処 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| パソコンに接続できない | ー | ActiveSyncのヘルプをご覧ください。 | ー |
| クレードルを使って、パソコンとの間でActiveSyncが動作しない | パソコン側のUSBドライバが未対応の可能性があります。 | ドライバを再インストールしてください。 | ー |
| インターネット接続ができない | CFカードモデム接続ケーブルによって正しく接続されていません。 | CFカードモデム接続ケーブルを使って正しく接続されているか確認してください。 | ー |
| | 接続したCFカードモデム電話の電波状態が悪くなっています。 | 電波状態が良い場所で通信を行ってください。 | ー |
| | メール接続設定に間違いがあります。 | 正しく設定してください。 | ー |

# 2. リセットと初期化

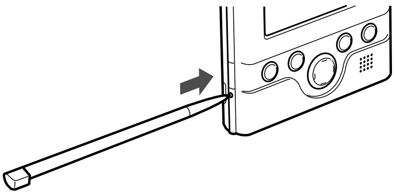
## リセットする

リセットはパソコンの「再起動」に相当します。ボタンやタップが働かなくなったなどの異常が発生した場合にリセットを行ってください。

**ご注意**

- リセットした場合、保存されていない作業中のデータは消去されます。すでに保存したデータは、消去されません。

### 1 電源を入れた状態で、リセットスイッチをスタイラスで押して離す



「Today」画面が表示されます。

**お知らせ**

- リセットを行っても、正常な状態に戻らない場合は、初期化を行ってください。

## 初期化する

初期化すると、ご購入時の状態に戻ります。リセットを行っても正常に戻らない場合に行ってください。

**ご注意**

- 初期化した場合、本体内メモリに保存したすべてのデータが消去されます。最初から内蔵されているプログラムなどは消去されません。
- 初期化する前にメモリカードは抜いてください。

### 1 電源スイッチを指で押しながら、リセットスイッチをスタイラスで押す

### 2 画面が表示されたら、リセットスイッチからスタイラスを離す

初期化が終了すると、「ようこそ」の画面が表示されます。はじめて起動したときと同じように画面に従って初期セットアップを行ってください。（参照 12ページ）

# 3. 無線LANで困ったときは

無線LANが正しく使えないときは、次の点をお調べください。

| 現　象 | 対　処 |
|---|---|
| ネットワークに接続できない | ●ワイヤレスコミュニケーションスイッチがONになっているか確認してください。<br>●無線LAN省電力機能により、無線LANがOFFになっている可能性があります。ステータスアイコンを確認し、ONに設定してください。<br>●SSIDが正しいかチェックしてください。<br>●リンク状態を確認してください。<br>もしリンク状態が悪ければ再スキャンか、別のアクセスポイントへ接続してください。<br>●モード設定が正しいか確認してください。<br>第6章の「無線LANユーティリティの設定」を参照してください。<br>●WEP Keyの入力が正しいか確認してください。<br>●アクセスポイントの到達圏内であることを確認してください。<br>●チャンネルは1～11の間にセットされていることを確認してください。 |
| ホストコンピュータと無線で接続できない | ●ホストコンピュータとPocket PC e740Wの接続が正しく設定されているか確認してください。<br>●ネットワークの到達圏内であることを確認してください。<br>●WINSサーバであるホストコンピュータのIPアドレスがPocket PC e740Wに入力されているか確認してください。<br>●TCP/IP設定を有効にするために、パソコンと Pocket PC e740Wを再起動およびリセットしてください。<br>●SSID、WEP key、チャンネルはネットワーク内は同じ値に設定されているか確認してください。<br>●チャンネルは1～11の間にセットされているか確認してください。 |
| インフラストラクチャモードでチャンネルが変更できない | ●インフラストラクチャモードではチャンネルはアクセスポイント側で決定されます。 |

# 4. 無線LANのQ&A

## 他の無線装置との接続について

### 1 他のIEEE802.11b準拠の機器と通信できますか？

本製品はWiFiに対応しています。他の機器についてもWiFi対応のものとは通信が可能です。

### 2 Bluetoothを搭載した機器と通信できますか？

Bluetoothは規格が異なるためBluetoothを搭載した機器とは通信できません。また無線LANはBluetoothと同じ周波数帯を使用しているため互いに干渉することがあります。干渉しない距離まで離れて使うか、どちらかを切断する必要があります。

## 無線LANの接続に関して

### 1 無線のネットワークはどのように構築しますか？

無線LANアクセスポイントを使用するインフラストラクチャモードか、または無線LANアクセスポイントを使用しないアドホックモードで構築します。規定値はインフラストラクチャモードです。
（参照 152ページ）

### 2 どのようにして既存の無線のネットワークに接続しますか？

近くにある接続可能な無線のネットワークを探します。無線LANユーテリティの「スキャン」を実行すると表示されます。表示されるはずのネットワークが表示されないときは「再スキャン」を行ないます。表示後、目的のネットワークを選択します。
（参照 156ページ）

### 3 アドホックモードとは何ですか？

無線LANアクセスポイントを使用しないで、一時的なネットワークを構築する方法です。ピア・ツー・ピアで接続することで、小規模なネットワークを構築できます。

無線LANの接続に関して（つづき）

### 4 インフラストラクチャモードとは何ですか？

無線LANアクセスポイントを使用し、バックボーンとなるネットワークに接続する方法です。無線LANアクセスポイントの設定については無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

### 5 アクセスポイントに接続しているかどうかわかりますか？

1 BSSID を確認してください。
接続している場合、使用中のアクセスポイントの基本サービスセットIDがリンク画面の中のBSSID 欄に表示されます。接続していない場合は、「Non-associated」がBSSID 欄に表示されます。
（参照 155ページ）
2 リンク状態を確認してください。
アクセスポイントから明瞭に信号を受信しているかどうかが設定画面の中のリンク状態に表示されます。
状態が悪い場合は、明瞭に信号を受信できる別なアクセスポイントを再スキャンして見つけるか、またはアクセスポイントの位置を変えてみてください。
（参照 155ページ）

## アプリケーションの利用について

### 1 無線LAN経由でActiveSyncを使用するためにはどうすれば良いですか？

1. あらかじめUSB接続でホストコンピュータとパートナーシップを設定してください。（参照 37ページ）
2. ホストコンピュータのActiveSyncの「接続の設定」で「ネットワーク（Ethernet）とリモートアクセスサービス（RAS）サーバの接続をこのＰＣで有効にする」にチェックが入っていることを確認してください。
3. ホストコンピュータからPocket PC e740Wに無線LANで接続してください。（ネットワーク中すべての機器のSSID、WEPキーおよびチャンネルは同じものであることを確認。）
4. Pocket PC e740Wに、WINS serverとしてホストコンピュータのIPアドレスが入力されていることを確認してください。
5. Pocket PC e740Wをリセット後、ActiveSync を利用できます。

### 2 無線LANでインターネットに接続するにはどうすれば良いですか？

無線LANネットワーク経由でPocket Internet Explorerを使ってホームページを閲覧できます。
詳しくは、第3章を参照してください。（参照 70ページ）

### 3 無線のネットLANでメールを使用するにはどうすればいいですか？

無線ＬＡＮネットワーク経由で、Microsoft Pocket Outlookの「受信トイレ」を使ってメールの送受信が行えます。

1. まず、ＵＳＢ経由でActiveSyncが利用できるか確認し、次に、ActiveSyncを利用してメールの送受信ができることを確認してください。
   社内メールの場合は、必要な設定についてネットワーク管理者に確認してください。
2. Pocket PC e740Wに、WINS serverとしてホストコンピュータのIPアドレスが入力されていることを確認してください。
3. Pocket PC e740Wをリセット後、ActiveSyncを使用してメールの送受信が行えます。POP3/IMAP4など使用して送受信する場合は、第3章を参照してください。

## 設定について

### 1 SSID とは何ですか?　何を入力すれば良いですか?

SSID はサービスセットID のことです。SSID には32 文字以内の半角英数字と記号が使えます。既定値は｢ANY｣で近接する無線LANネットワークを自動的にスキャンし表示することができます。ほかに接続したいネットワーク名を手動で設定することもできます。

### 2 なぜインフラストラクチャモードでは、チャンネルを設定できないのですか?

インフラストラクチャモードでは、チャンネルはアクセスポイントによって決められるためです。

### 3 どのようなときIP アドレス、サブネットマスク、既定のゲートウェイの設定をしますか?

無線ネットワークにDHCP サーバがあるときは自動的に設定されますが、ないときはIP アドレス、サブネットマスク、既定のゲートウェイをネットワーク管理者に確認し、入力してください。（参照 150ページ）

## セキュリティについて

### 1 無線LANのセキュリティとは何ですか？

無線LANは電波を使用しているため第三者による盗聴や情報漏洩など、不正なアクセスを受ける可能性があります。このためセキュリティ機能を生かして不正アクセスを防止する必要があります。

### 2 WEP と何ですか?

WEP とはWired Equivalent Privacy 、セキュリティサービスのことで、IEEE802.11b規格で規定されています。データを暗号化することで不正なアクセスを防止するものです。

### 3 どのようにWEP 暗号化を設定するのですか?

接続する無線ネットワークのWEP Key モード、WEP Key ID およびKey の値をネットワーク管理者に確認し、同一のものを設定してください。（参照 153ページ）

## パフォーマンスについて

### 1 無線LANの通信範囲について教えてください。

転送速度と環境によります。高い転送速度では通信範囲は短くなります。またアンテナの近くに金属面や高密度の個体があったときや、無線信号の伝送路上に無線信号への障害物があったとき、通信範囲に影響を及ぼすことがあります。

### 2 データの転送速度はどれを選べばよいですか？

6 種類の転送速度より1 つを選定できます。
どの転送速度が適するかわからない場合は「自動」を選択してください。（参照 154ページ）

### 3 無線LANの消費電力が大きいのですが？

無線LAN省電力ユーティリティをご利用ください。（参照 149ページ）

# 付録

# ローマ字入力一覧表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| あ | い | う | え | お |
| A | I | U | E | O |
| か | き | く | け | こ |
| KA | KI | KU | KE | KO |
| さ | し | す | せ | そ |
| SA | SI<br>SHI | SU | SE | SO |
| た | ち | つ | て | と |
| TA | TI<br>CHI | TU<br>TSU | TE | TO |
| な | に | ぬ | ね | の |
| NA | NI | NU | NE | NO |
| は | ひ | ふ | へ | ほ |
| HA | HI | HU<br>FU | HE | HO |
| ま | み | む | め | も |
| MA | MI | MU | ME | MO |
| や | | ゆ | いぇ | よ |
| YA | | YU | YE | YO |
| ら | り | る | れ | ろ |
| RA | RI | RU | RE | RO |
| わ | うぃ | | うぇ | を |
| WA | WI | | WE | WO |
| ん | | | | |
| NN<br>N の次に子音、続けて母音<br>（例）SANKOU→さんこう | | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| が | ぎ | ぐ | げ | ご |
| GA | GI | GU | GE | GO |
| ざ | じ | ず | ぜ | ぞ |
| ZA | ZI<br>JI | ZU | ZE | ZO |
| だ | ぢ | づ | で | ど |
| DA | DI | DU | DE | DO |
| ば | び | ぶ | べ | ぼ |
| BA | BI | BU | BE | BO |
| ぱ | ぴ | ぷ | ぺ | ぽ |
| PA | PI | PU | PE | PO |

### 小文字

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ぁ | ぃ | ぅ | ぇ | ぉ |
| LA<br>XA | LI<br>XI<br>LYI | LU<br>XU | LE<br>XE<br>LYE | LO<br>XO |
| っ | | | | |
| LTU<br>XTU<br>子音を重ねて母音<br>（例）KAKKO→かっこ | | | | |
| ゃ | | ゅ | | ょ |
| LYA<br>XYA | | LYU<br>XYU | | LYO<br>XYO |
| ゎ | | | | |
| LWA<br>XWA | | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| きゃ | きぃ | きゅ | きぇ | きょ |
| KYA | KYI | KYU | KYE | KYO |
| しゃ | しぃ | しゅ | しぇ | しょ |
| SYA<br>SHA | SYI | SYU<br>SHU | SYE<br>SHE | SYO<br>SHO |
| ちゃ | ちぃ | ちゅ | ちぇ | ちょ |
| CHA<br>CYA<br>TYA | CYI<br>TYI | CHU<br>CYU<br>TYU | CHE<br>CYE<br>TYE | CHO<br>CYO<br>TYO |
| にゃ | にぃ | にゅ | にぇ | にょ |
| NYA | NYI | NYU | NYE | NYO |
| ひゃ | ひぃ | ひゅ | ひぇ | ひょ |
| HYA | HYI | HYU | HYE | HYO |
| みゃ | みぃ | みゅ | みぇ | みょ |
| MYA | MYI | MYU | MYE | MYO |
| りゃ | りぃ | りゅ | りぇ | りょ |
| RYA | RYI | RYU | RYE | RYO |
| ぎゃ | ぎぃ | ぎゅ | ぎぇ | ぎょ |
| GYA | GYI | GYU | GYE | GYO |
| じゃ | じぃ | じゅ | じぇ | じょ |
| JA<br>JYA<br>ZYA | JYI<br>ZYI | JU<br>JYU<br>ZYU | JE<br>JYE<br>ZYE | JO<br>JYO<br>ZYO |
| ぢゃ | ぢぃ | ぢゅ | ぢぇ | ぢょ |
| DYA | DYI | DYU | DYE | DYO |
| びゃ | びぃ | びゅ | びぇ | びょ |
| BYA | BYI | BYU | BYE | BYO |
| ぴゃ | ぴぃ | ぴゅ | ぴぇ | ぴょ |
| PYA | PYI | PYU | PYE | PYO |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| くぁ | | | | くぉ |
| KWA | | | | QWO<br>QO |
| くゃ | くぃ | くゅ | くぇ | くょ |
| QYA | QYI | QYU | QYE | QYO |
| つぁ | つぃ | | つぇ | つぉ |
| TSA | TSI | | TSE | TSO |
| ふぁ | ふぃ | | ふぇ | ふぉ |
| FA | FI<br>FYI | | FE<br>FYE | FO |
| ふゃ | | ふゅ | | ふょ |
| FYA | | FYU | | FYO |
| ぐゎ | ぐぃ | ぐぅ | ぐぇ | ぐぉ |
| GWA | GWI | GWU | GWE | GWO |
| てゃ | てぃ | てゅ | てぇ | てょ |
| THA | THI | THU | THE | THO |
| でゃ | でぃ | でゅ | でぇ | でょ |
| DHA | DHI | DHU | DHE | DHO |
| ヴぁ | ヴぃ | ヴ | ヴぇ | ヴぉ |
| VA | VI | VU | VE | VO |

# 索引

## な



## は



## ま



## や



## ら

# 主な仕様

本製品の仕様は、日本国内向けになっています。
海外でのご使用は考慮しておりません。

| | |
|---|---|
| 外形寸法 | 縦125×横80×厚さ16mm（突起部を除く） |
| 周囲環境条件 | 動作時　温度 0～40℃、湿度30～80%RH<br>・充電可能温度　約5～35℃（動作状態によっては、35℃以下でも充電を停止することがあります。） |
| 内蔵電池<br>種類 | <br>リチウムイオン充電池 |
| プロセッサ | Intel® PXA250 |
| 動作クロック | 400MHz |
| メモリ | 64MB　SDRAM |
| ディスプレイ | 反射型カラーTFT<br>240X320ピクセル、65,536色 |
| インタフェース<br>CFカードスロット<br><br><br>SDカードスロット<br><br><br><br>赤外線ポート<br>ヘッドホン出力端子<br>クレードル接続ポート<br>電源コネクタ | <br>コンパクトフラッシュメモリカードまたはCF+カードが挿入可<br>Type Ⅰ／Type Ⅱの3.3Vのみ対応<br>SDメモリカードまたはSDI/Oカードが挿入可<br>注：SDメモリカードのセキュリティ機能は利用できません。SDメモリカードのセキュリティ機能に対応した機器で暗号化されたデータは使用できません。<br>IrDA Ver. 1.2準拠、データ転送速度　最大115kbps<br>φ3.5mm ステレオミニプラグに対応 |
| ACアダプタ | 入力電源条件　AC100V、50／60Hz、24VA<br>定格出力　DC5V　2A |
| 拡張パック<br>外形寸法<br>インタフェース | <br>縦25×横80×厚さ16mm<br>USBコネクタ、RGBコネクタ、接続ポート、<br>電源コネクタ |
| 無線LAN<br>（e740Wのみ） | 規格　IEEE802.11b<br>無線周波数帯　2.4GHz（1-11チャンネル）<br>データレート　11M/5.5M/2M/1M（bps） |

ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に非点灯、常時点灯などの点が存在することがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。

# 付録のCD-ROMについて

本製品には、CD-ROMが1枚付属しています。

| CD-ROM名 | 内蔵ソフトウェア |
|---|---|
| コンパニオンCD | Microsoft® ActiveSync® 3.5 |
| | Microsoft® Outlook®2002 |
| | JRトラベルナビゲータ for Pocket PC 2002 |
| | ATI Presentation Pack |
| | T-Time for PPC2002 ver.3.2.3 |
| | 辞スパ for Pocket PC |
| | Adobe® Acrobat® Reader® for Pocket PC |

**Pocket PC e740/e740W**

2002年07月　第1版発行

発行　株式会社 東芝 デジタルメディアネットワーク社

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1